２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書

講座情報をクリックすると該当ページにジャンプします。

主催	講座名	開講キャンパス	開講期間	曜日	時限	コーディネーター	ページ
法	人権って何？築くちから，気づくこころ	駿	春	金	4	江島　晶子	2
	グローバル化と人権	駿	秋	金	4	江島　晶子	4
	東京土地家屋調査士会寄付講座「土地と建物の登記に関する講座」	駿	秋	火	4	亀田　浩一郎	6
	明治大学の歴史Ⅱ	駿	秋	金	4	村上 一博	8
商	株式会社シーアールイー寄付講座「アート・オブ・物流」	駿	春	金	4	町田 一兵/菊地 一夫	10
	労働講座企画委員会寄付講座「職場のリアルから働き方を考える講座」	駿	秋	木	4	久保　隆光	12
	明治大学の歴史Ⅰ　※メディア授業科目	和	春	金	4	李　英美	14
政	環境と政治・経済・社会Ⅰ	駿	春	木	5	大森　正之	16
	環境と政治・経済・社会Ⅱ	駿	秋	木	5	大森　正之	18
	アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖	駿	春	火	2	須藤 功	20
	コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門	和	秋	火	3	勝　悦子	22
	明治大学の歴史Ⅰ　※メディア授業科目	中	春	金	4	冨澤　成實	24
	コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門	中	春	火	3	勝　悦子	26
	ASEAN諸国の政治と経済 ―タイとベトナムを中心に―　※メディア授業科目	―	秋	―	―	武田　巧	28
文	大学博物館の現場を実見する	駿	秋	月	2	駒見　和夫	30
	登戸研究所から考える戦争と平和	駿	秋	木	2	山田　朗	32
	シェイクスピアの現代的魅力	和	春	金	5	井上　優	34
	登戸研究所から考える戦争と平和	生	春	木	2	山田　朗	36
	明治大学の歴史Ⅰ　※メディア授業科目	生	春	金	4	高田　幸男	38
理	ローカル・スタンダードをデザインする（環境人文学Ⅰ）	駿	春	水	4	鞍田　崇	40
	インティマシーをデザインする（環境人文学Ⅱ）	駿	秋	水	4	鞍田　崇	42
	先端医療概論	生	秋	水	5	工藤　寛之	44
	データサイエンスAI概論　※メディア授業科目	―	秋	―	―	崎濱　栄治	46
営	日本企業・産業のレジリエンスとイノベーション	駿	秋	木	3	藤江　昌嗣	48
	広告と言葉の役割 ～変わりゆく社会でのコミュニケーションを考える～	駿	秋	金	2	戸村 佳代	50
	中国の民営企業に生きる「日本的生産方式」～原田式マネジメントの形成と伝承～　※メディア授業科目	―	春	水	5	カク　燕書	53
国	ダイバーシティ＆インクルージョンと日本社会	中	春	火	3	山脇　啓造	56
総	データサイエンスAI概論　※メディア授業科目	―	春	―	―	中村　和幸	58

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
人権って何？築くちから、気づくこころ	法学部・江島晶子

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

実際の自分の生活に密接に関連しうる問題として、生命・医療、ジェンダー、宗教、地域社会、多文化共生、移民などをテーマにとりあげ、具体的な問題を通して人権について考えます。一方通行の講義ではなく、質疑応答、ディスカッション、ロールプレイング、リアクションペーパー等を通じて「考えるプロセス」に参加する機会を設けます。それによって、人権について多様な視点から具体的に考える機会を通じて、人権に関する問題を発見する能力、問題に取り組む力を滋養することが到達目標です。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月12日	ガイダンス （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
第1回では、講義の概要や成績評価方法等を説明した後、講座全体のイントロダクションを行います。人権について知識がなくても、これまであまり考えたことがなくても、第2回以降の講義にスムーズに入っていけるように、入門的素材を使いながら知的好奇心を揺さぶります。				
2	4月19日	ジェンダーと人権①	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏　名	平川景子
〈家庭と学校におけるジェンダー〉「男の子は泣いてはいけない」「女の子なんだから手伝いなさい」というように、家庭での子育てにおいて、男女で異なる言葉を聞いたことはありませんか。また、学校は性に中立なはずですが「大学の理系の学部は男子が多く、文系は女子が多い」のはなぜでしょうか。家庭や学校において子どもたちが無意識に学び取り、再生産しているジェンダーについて考えます。				
3	4月26日	ジェンダーと人権②	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏　名	平川景子
〈女性が働き続けることと男性が子育てすること〉働く女性が妊娠すると会社でマタニティ・ハラスメント（マタハラ）を受けたり、ワンオペ育児といわれる孤立した子育てに耐えられずに、退職に追い込まれることがあります。一方で、「男の産休」を取ったり、子育てにかかわる地域活動を楽しんだりする男性たちの生き方も生まれています。男女が共に担う社会とは、具体的にどのようにして創られるのでしょうか。				
4	5月10日	ジェンダーと人権③	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏　名	平川景子
〈スポーツにおけるジェンダー〉オリンピックでは、例えば「マラソンは女性の生殖機能に影響するなどの理由で長く女子の参加が認められず、1984年のロサンゼルスオリンピックから認められました。学校教育では、体育が苦手な男子生徒がいじめられたり、部活に女子の野球部・サッカー部がない時代が続きました。生涯にわたってスポーツを楽しむ社会では、性別の違いはどのようにとらえらることができるか、考えます。				
5	5月17日	移民と人権①	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏　名	田中雅子
メディアには「外国人労働者」や「不法滞在者」といった表現が登場しますが、国際規範では、彼ら・彼女らはどのように呼ばれているのでしょうか。この授業は「人の移動」に関する国際規範の形成の流れを振り返り、日本における「多文化共生」の取り組みは、「移民」や「難民」の人権保障は十分なのかを考えます。入管の収容制度や技能実習制度に関するニュースを読み解くための基礎知識を身につけましょう。				
6	5月24日	移民と人権②	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏　名	田中雅子
技能実習生や留学生の一部は、日本に家族を連れてくることが認められていません。「妊娠したら帰国させる」などと妊娠や出産が制限されている人がいます。なぜ、彼女たちは、「子どもを産むか、産まないか、産むとしたらいつ産むか」を自分で決めることが認められていないのでしょうか。日本で暮らす移民女性のリプロダクティブ・ライツ（性と生殖に関する権利）について考えます。				
7	5月31日	移民と人権③	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏　名	田中雅子
「外国にルーツをもつ子ども」の教育というと、言葉の壁をなくすための日本語指導の必要性だけに関心が集まりがちです。しかし、日本で安定して暮らすことができる在留資格がない人もいます。やむを得ない事情で出身国に戻ったときに学校教育を受けるのに十分な母語や継承語を彼らはどこで、誰から、学ぶのでしょうか。日本政府が批准している子どもの権利条約などを手がかりに、日本と出身国を往来する移民の子どもの教育について考えます。				
8	6月7日	イスラーム教徒たちの人権問題①	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	山岸智子
ノーベル平和賞を受けた西南アジア出身の3人の女性、マラーラ・ユースフザイ（パキスタン国籍パシュトゥン人）、シーリーン・エバーディー（イラン国籍）、ナーディア・ムラード（イラク国籍ヤズィード教徒）がどのような活動をしてきたのか、ノーベル平和賞の選考では何が評価されたのかを考察します。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月14日	イスラーム教徒たちの人権問題②	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	山岸智子
イスラームとジェンダー、というテーマで問題となるいくつかのトピックをとりあげて説明します。そのなかでも、20世紀末から台頭してきた「イスラーム主義」が従来の世界観や伝統的なイスラーム法学と女性の社会参加をどのように折り合わせようとしているかをとりあげます。「男女は異なるもの」を前提に、男女に全く同じ権利を認めるよりも、それぞれの条件にあわせて全体として均衡のとれる公平性をもとめる、と考える例を示し、「男女隔離」や「男は外に、女は家に」という価値観やライフスタイルの違いを、私たちはどのように捉えるべきか、一緒に考えてゆきたいと思います。				
10	6月21日	イスラーム教徒たちの人権問題③	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	山岸智子
間違ってグアンタナモ収容所にいれられた人物の手記『グアンタナモ収容所　地獄からの手記』（モハメドゥ・ウルド・スラヒ著）は、いったんテロリストと疑われると～それもきちんとした証拠もなしに～人権をはく奪される現状を訴えています。「爆発物製造」や「ハイジャック計画」として、被告人の人権も考慮しながらきちんと立件すべきものを、「テロリスト」という、明確な定義がない、インパクトだけは大きい枠組みがまかりとおっているために隠されている不正義について、考える機会を提供します。				
11	6月28日	生命・医療と人権①	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター医学原論研究部門・准教授
			氏　名	齋藤有紀子
誕生をめぐる人権について取り上げます。新しい技術の進展が“家族”形成のあり方に影響を与えています。技術の利用を認められる人／認められない人、技術を使う人／使われる人など、決められたルールによって新しく生じている問題を、映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
12	7月5日	生命・医療と人権②	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター医学原論研究部門・准教授
			氏　名	齋藤有紀子
人生の最終段階における人権について取り上げます。人が最期まで尊厳を保つために必要な医療ケアは何か。海外で合法化が進む「安楽死／医師による自殺幇助」、国内で行われている「終末期鎮静（セデーション）」などについて、映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
13	7月12日	生命・医療と人権③	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター医学原論研究部門・准教授
			氏　名	齋藤有紀子
病気や障害のある人たちに対する私たちの“まなざし”について取り上げます。私たちは、どのような人間観を持ち、どのような人と生きる社会を目指しているのか／いたのか。過去と現在で変わらないこと／変わったこと、変わるべきこと／変わってはいけないことなど、映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
14	7月19日	総括	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
第2回から第13回において検討してきた多様な人権問題を受けて、最終回では、もう一度出発点に立ち返って、「人権」という視点の必要性、実現可能性・有効性を確認します。				

3　履修上の注意

秋学期に設置されている総合講座「グローバル化と人権」は、本講座の関連講座です。これを受講すると、人権に対する知識・理解をさらに発展させることができます。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回において様々なテーマをいろいろな視点から扱います。これらについて授業の中で考えたり、議論したりすることを通じて、人権を抽象的にではなく、具体的に考えることを目的とするので、自分の疑問を大切にし、自分の疑問に主体的に向き合う姿勢を大切にしてください。

5　教科書

各回の授業の際にレジュメや資料等を配布します。

6　参考書

ヒューマン・ライツ・ナウ『人権で世界を変える30の方法』、申惠丰『国際人権入門』

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o! Meijiシステム等を利用してフィードバックを実施します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

レポート（70%）、平常点（30%）
出席回数が5回未満の場合は成績評価の対象としません。

9　その他

本講座は、人権全学共通総合講座運営委員会によってコーディネートされています。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
グローバル化と人権			法学部・江島晶子	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

本講座の目的は、地球レベルで人権について考える機会を通して、グローバル化の進む地球において、問題を発見し、問題に取組む力を養うこと、および、国境を越え自らが地球の構成メンバーであるという国際的視野を身につけることです。人権は、人が人であるがゆえに持っている権利であり、人であれば誰もが享受できる権利だと説明されますが、地球を見回してみると、すさまじい貧困、絶えることのない戦争・内戦、進展する環境破壊等、本当に誰でもが人権を持っているといえるのか疑いたくなる現状があります。学部や文系・理系の枠を越え、実際の自分の生活と国際社会・地球が密接に関連する問題を素材に、人権について多様な視点から具体的に考えます。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月20日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
第1回では、本講義の概要や成績評価の方法を説明した後、本講座全体のイントロダクションを行います。人権という視点から、「グローバル化」が人々の生活に及ぼす影響について概観します。第2回以降の講義にスムーズに入っていけるように、入門的素材を使いながら、自分と世界のつながりを新たな視点から見る糸口を作ることが目的です。				
2	9月27日	グローバル化と人権①難民	所属・役職	認定NPO法人難民支援協会・事務局長
			氏　名	石川えり
難民を保護する国連機関であるUNHCRの統計によると移動を余儀なくされている状況にある人は6850万人います。本講義では迫害をおそれて故郷を逃れ、他の国へ保護を求める人たち「難民」の定義、置かれている状況や課題を理解します。さらに、日本に逃れてきた難民の現状を知ることで、彼らが逃れざるを得なかった出身国の人権状況、そして日本における状況を理解することで人権について考えます。				
3	10月4日	グローバル化と人権②環境	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	石山徳子
本講義では、1990年代以降に主にアメリカ合衆国で着目されてきた「環境正義」の視点から、環境問題と人権問題の関連について考えます。特に、原子力政策の歴史を振り返り、マンハッタン計画、ウラン開発、核実験の現場や、放射性廃棄物処分施設の建設候補地付近に居住する人びとの経験に関する報告を行います。安全保障や経済開発に関わる国策のもと、環境破壊の前線に置かれた弱者の人権が侵害されてきた実態について紹介します。				
4	10月11日	グローバル化と人権③自然科学	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	勝田忠広
AI、ロボットなど、人間に対して重大な影響をもたらす新たな科学技術が次々と誕生していますが、私たちはこうした科学技術のことをどれだけ理解しているでしょうか。また、世界では高度な科学技術の便益を受けて快適・安全な生活を享受できる人々がいる一方で、こうした発展にアクセスできない人々もいます。科学技術が人間の社会に及ぼす影響を知ると同時に、それに対してどう向き合うべきか、どのように向き合えるかを考えます。				
5	10月18日	戦争・内戦と人権①戦争・内戦・民族虐殺はなぜ起きるのか	所属・役職	国際協力機構・国際協力専門員
			氏　名	橋本敬市
冷戦終結後の紛争、民族虐殺（ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、ルワンダ、ネパール、ミャンマー、コソヴォ、ウクライナ等）をとりあげながら、紛争の構図、構造要因等を検証します。特にボスニア紛争における「民族浄化」や、約80万人の被害者を出したルワンダの大量虐殺など大規模な人権侵害を何故防げなかったのか、何が暴力を引き起こしたのか等について具体的に考えます。参考文献：高木徹著『ドキュメント戦争広告代理店』（講談社文庫）				
6	10月25日	戦争・内戦と人権②平和構築	所属・役職	国際協力機構・国際協力専門員
			氏　名	橋本敬市
国際社会は従来、発生した紛争に対し「対症療法」的に対応して来ましたが、ここ10年余、深刻な人権侵害を予め防ぐ手段として、紛争予防の重要性が強調されてきました。特に構造的に紛争要因が存在する国・社会に対して、これらの要因を取り除く努力を支援する様々な試みがなされています。この講義では、紛争影響国に対して日本が実施している民主化支援を紹介しながら、その有効性を検証します。				
7	11月8日	戦争・内戦と人権③国際刑事裁判所	所属・役職	神戸女学院大学・教授
			氏　名	米川正子
戦争と内乱に対する国際社会の重要な手段としあげられるルワンダ国際刑事裁判所（ICTR）および国際刑事裁判所（ICC）をとりあげます。国際刑事裁判のシステムは大規模な人権被害の予防や救済においてどのような役割を果たすことができるのか。国際刑事裁判所の実際の事件も参考にしながら、その可能性や課題などを考えます。さらに、これらの検討の中で国際法と国際政治の葛藤についても考えます。				
8	11月15日	国際ネットワークと人権①インターネットを使いこなす	所属・役職	インターネット協会・研究員
			氏　名	石徹白未亜
生活を豊かに、便利にしてくれるインターネットですが、一方でインターネットは非常に身近な存在になったため、炎上、誹謗中傷、ネットいじめなど、人権にまつわるトラブルの発生源ともなっています。スマホを持ちたての中学生や、スマホに不慣れな高齢者がスマホに絡んだトラブルに巻き込まれることも少なくありませんし、また、被害者ではなく加害者になってしまうケースも見られます。トラブルの事例から、対処方法や予防策、各事業者、行政の取り組みについて考えていきます。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月22日	国際ネットワークと人権②国連・企業	所属･役職	法政大学法学部・教授
			氏　名	金子匡良
現在の企業は、その社会的責任（CSR）を重視し、国際機関、NGO、政府、取引先等と連携して、社内、地域社会、国際社会における人権の促進に取り組む事例が増えています。第9回では、国連グローバル・コンパクトや国連ビジネスと人権に関する指導原則を中心に、こうした取組を具体的に取り上げて、人権や平等の実現に果たす企業の役割について検討します。参考文献：菅原絵美(編)『「ビジネスと人権」における国際人権法の発展』（日本評論社、2024年刊行予定）、江橋崇(編著)『企業の社会的責任経営』（法政大学出版局、2009年）				
10	11月29日	国際ネットワークと人権③市民社会、NGO、大学	所属･役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
今日、市民社会の役割を無視して世界の人権を語ることはできなくなっています。たとえば、人権擁護の担い手としてますます大きな力を発揮するようになっているNGOとはどのような存在でしょうか。また、大学はどのような役割をグローバル化する地球において、果たすことができるのか考えてみましょう。				
11	12月6日	自然科学と人権①地球の一部としての人間	所属･役職	明治大学商学部・教授
			氏　名	森永由紀
「公害が起こって差別が起こるんじゃなくて、やっぱり差別があるところに公害が起こるんだな」とは水俣病研究者の原田正純医師が遺した言葉です。足尾鉱毒事件、四大公害、アスベスト、原発事故や、現在途上国で激化している公害問題を例に、環境汚染と人権問題のつながりについて考えます。				
12	12月13日	自然科学と人権②人類と核－放射性廃棄物処理の歴史	所属･役職	日本大学商学部・教授
			氏　名	小島智恵子
放射性廃棄物から放出される放射線は、人体を脅かすものであり、放射性廃棄物処理の問題は、人権問題の一つであると考えられます。本講義では、世界の放射性廃棄物処理の歴史を概観した上で、世界で最も放射性廃棄物処理が進んでいると言われているフランスとフィンランドの事例を取り上げます。そしてフランスとフィンランドの放射性廃棄物処理場の視察を基に、両国の比較を行い日本への影響を検討します。				
13	12月20日	自然科学と人権③生物多様性	所属･役職	明治大学大学院理工学研究科・客員
			氏　名	三輪哲也
地球上の生物は、その進化の過程で様々な生物を発生させ、その系を安定化させるために生態系の多様性、種の多様性、遺伝的多様性を構築してきました。自然災害などはこれまで破壊や絶滅を生物や生態系に与えてきましたが、グローバル化した 現在社会は、私たちの手によって急速な環境変化と、個々の生物が持つ移動能力を超えた拡散をもたらしています。緩衝力と回復力をはからずにグローバル化していないかを検証し、併せて極限環境に生きる生物のしたたかさを紹介します。				
14	1月10日	総括―つなぐ主体としての地球市民	所属･役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	江島晶子
最終回では、「グローバル化と人権」という全体テーマについて、これまで取り扱ってきた4つのテーマを振り返りながら、全体のまとめを行います。				

3　履修上の注意

春学期に設置されている総合講座「人権って何？」は、本講座の関連講座です。春学期の講座を受講してから、本講座を受講すると人権に対する知識・理解をさらに発展させることができます。なお、春学期の講座を受講していなくても、本講座を受講する上では全く支障はありません。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回において様々なテーマをいろいろな視点から扱います。これらについて授業の中で考えたり、議論したりすることを通じて、人権を抽象的にではなく、具体的に考えることを目的とするので、自分の疑問を大切にし、自分の疑問に主体的に向き合う姿勢を大切にしてください。

5　教科書

各回の授業の際にレジュメや資料等を配布します。

6　参考書

ヒューマン・ライツ・ナウ『人権で世界を変える30の方法』、申惠丰『国際人権入門』

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o! Meijiシステム等を利用してフィードバックを実施します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

レポート（70%）、平常点（30%）
出席回数が5回未満の場合は成績評価の対象としません。

9　その他

本講座は、人権全学共通総合講座運営委員会によってコーディネートされています。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
東京土地家屋調査士会寄附講座 「土地と建物の登記に関する講座」	法学部・亀田浩一郎

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	火	4

1　授業の概要・到達目標

国家資格「土地家屋調査士」とは何か？
　わたしたちが何気なく住居を置いている土地には、「所有者」と言われる「土地を持っている人」がいます。では、その土地は、「どこからどこまで」が、どのようにして「その人のものである」と、決めることができるのでしょうか。土地家屋調査士が活躍している分野は、まさに、その点であると言えます。
　土地家屋調査士を定義づける法律・制度の概要の説明を分かりやすく行いながら、土地家屋調査士の仕事とは何か、わたしたちの生活にどのように関わっているのか、という視点から学びます。
★１級建築士・２級建築士や測量士・測量士補等の資格取得者は、土地家屋調査士試験の一部が免除されます。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月24日	a ：イントロダクション b ：概論	所属・役職	a ：明治大学法学部・准教授 b ：東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏　名	a ：亀田浩一郎 b ：味田昌也
a ：イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明） b ：概論 （土地家屋調査士制度の概論（制度の紹介と歴史、土地家屋調査士の業務と日常）、土地家屋調査士法の解説（土地家屋調査士になるために求められるもの）、実取引での登記（土地・建物の登記））				
2	10月1日	建物の表示に関する登記１～表示に関する登記の概論～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	上野博邦
建物の表示に関する登記１～表示に関する登記の概論～ （表示に関する登記の概論（不動産登記制度、表示登記制度、表題部登記事項の説明、建物の表示に関する登記）				
3	10月8日	建物の表示に関する登記２～建物とは～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	岩切秀仁
建物の表示に関する登記２～建物とは～ （建物の認定（登記できる建物、所有権の認定、建物の個数）、建物に関する登記の種類（報告的登記と形成的登記））				
4	10月15日	建物の表示に関する登記３ ～建物の表示に関する登記について～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	力石洋平
建物の表示に関する登記３～建物の表示に関する登記について～ （表題登記～普通建物～（建物表題登記、建物表題部変更登記、建物表題部更正登記、建物分割登記、建物合併登記、合体による建物の表題登記等、建物滅失登記））				
5	10月22日	建物の表示に関する登記４ ～区分建物の表示に関する登記について～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	齋藤浩之
建物の表示に関する登記４～区分建物の表示に関する登記について～ （マンションってなに？、区分所有法の変遷とマンションの歴史、表題登記（区分建物表題登記）、区分所有建物の特異性、区分建物の実取引）、敷地権等について（敷地権とは（敷地権ってなに？）、敷地権の種類）				
6	10月29日	土地の表示に関する登記１～土地とは～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	山口功
土地の表示に関する登記１～土地とは～ （土地とは（法令による不動産の定義、登記の対象となる土地についての判例））				
7	11月12日	土地の表示に関する登記２ ～土地に関する登記の意義～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	平泉早紀
土地の表示に関する登記２～土地に関する登記の意義～ （表示に関する登記の意義（不動産登記制度の沿革））				
8	11月19日	土地の表示に関する登記３ ～土地に関する登記の種類～	所属・役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	加々見光
土地の表示に関する登記３～土地に関する登記の種類～				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月26日	土地の表示に関する登記４～地図作成～	所属･役職	東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士
			氏　名	石瀬正毅
土地の表示に関する登記４～地図作成～ （地図について（法務局に備え付ける地図の定義、地図の成り立ちと現状、地図の持つ役割、土地家屋調査士と地図）） 10　12月3日　測量に関する理論と実務　所属･役職　東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士　氏　名　新隆博 測量に関する理論と実務 （土地の測量実務（測量機器と測量方法、位置の求め方、測量誤差について、座標系について）、表示に関する登記と測量（土地：地図、地積測量図、建物：建物所在図、建物図面、各階平面図）、地図・地積測量図の作成に係る測量の規定（地図、地積測量図）） 11　12月10日　境界論～土地の制度と歴史～　所属･役職　東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士　氏　名　山本憲一 境界論～土地の制度と歴史～ （土地の制度と歴史的沿革（土地の所有権の歴史、近代的所有権の成立、地租改正事業、徴税と権利公示の制度、まとめ）、筆界と所有権界（公法上の境界と私法上の境界、土地の境界、土地の境界と登記制度）、登記実務での筆界認定（筆界認定と登記官、土地家屋調査士の調査・測量、隣接土地所有者による認識確認・立会）） 12　12月17日　境界論～境界紛争の解決手段～　所属･役職　東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士　氏　名　山本憲一 境界論～境界紛争の解決手段～ （筆界特定制度（筆界特定制度とは、手続きの流れ、土地家屋調査士の関与）、境界確定訴訟と所有権の範囲の確認訴訟（境界確定訴訟とは、所有権の範囲の確認訴訟とは、登記手続きとの関係）、土地家屋調査士会ＡＤＲ（土地家屋調査士会ＡＤＲとは、認定土地家屋調査士、土地家屋調査士会ＡＤＲと他の制度との関係）） 13　1月14日　総括　所属･役職　東京土地家屋調査士会　土地家屋調査士　氏　名　塩野麻里 これまでの授業内容の総括 14　1月21日　ａ：試験 ｂ：講座全体のまとめ等　所属･役職　明治大学法学部・准教授　氏　名　亀田浩一郎 ａ：試験 ｂ：講座全体のまとめ等			

３　履修上の注意

特にありません。

４　準備学習（予習・復習等）の内容

第１回講義に、補助テキスト等を配付します。各自で予習・復習してください。
（各講義で補助テキストの該当ページをご案内します。）

５　教科書

特になし。各回の授業で資料等を配付する予定です。

６　参考書

「４　準備学習（予習・復習等）の内容」欄のとおりです。

７　課題に対するフィードバックの方法

最終授業日に期末試験を実施し、同日に解説の時間を設けます。

８　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末試験：65％、平常点（授業への参加度等）：35％

９　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
明治大学の歴史Ⅱ			法学部・村上一博	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

講義は、職員がこれまでのキャリアのなかで培ってきた専門分野を中心に、その歴史と現状について講義する。①野球を中心とする明大スポーツ、②図書館の歴史とマンガ図書館構想、③明大校歌の誕生とその効果、④博物館の誕生と広報活動などについて、学術的側面と実務的側面の双方から、多角的な検討を行う。これにより、受講学生たちが、自己が所属する明大の特徴を正しく理解し、帰属意識の覚醒を図ることを目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月20日	イントロダクション	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	村上一博
講座の目標と概要、各回の講義テーマと担当者の紹介を行い、また成績評価方法について説明する。				
2	9月27日	明大スポーツと校歌の誕生	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	村上一博
第3回～第6回の講義の大まかな内容と特徴について講義するとともに、大学スポーツをめぐる諸問題と大学における校歌の意味について、総論的に解説する。				
3	10月4日	島岡吉郎と星野仙一	所属・役職	学術・社会連携部長
			氏　名	関谷俊郎
人間力野球生みの親でもある島岡吉郎監督とプロ野球界でもカリスマ指導者として活躍した星野仙一監督の人柄や各種エピソードなどを紹介し、明治大学野球部の代名詞となった人間力野球について詳しく紹介したい。				
4	10月11日	アスリートからの挑戦	所属・役職	学術・社会連携部長
			氏　名	関谷俊郎
アスリートとして本学に入学した学生が卒業後にはそれぞれの道を歩くことになるが、この30年でこの歩み方に大きな変化が起きている。明治大学野球部の事例を挙げながら詳しく紹介したい。				
5	10月18日	明治大学校歌（生まれてきた理由）	所属・役職	法学部事務長
			氏　名	福岡英朗
今から約100年前に作られた明治大学校歌。人は何故歌うのか、何故応援するのか。その当時の学生が何を想って歌を必要としたのか、発注を受けた作り手は、どういった発想で歌詞と楽曲を作り上げたのかを、今の学生が想像できる形で探っていく。原譜では、現在のラップに近い歌詞も残っており、１００年前の音楽事情（外来と在来）も考察しつつ、歌詞や楽曲の成り立ち、そして、歌というものへ対する想いを２回にわたって講義する。				
6	10月25日	明治大学校歌（成り立ちの経緯）	所属・役職	法学部事務長
			氏　名	福岡英朗
同上				
7	11月8日	図書館・博物館の活動と大学広報	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	村上一博
第8回～第11回の講義の大まかな内容と特徴について講義するとともに、大学の社会貢献のあり方について、総論的に解説する。				
8	11月15日	図書館の歴史	所属・役職	図書館総務事務長
			氏　名	折戸晶子
図書館の成り立ちを説明し、明治大学図書館のあゆみを紹介すると共に、その使命や役割、課題について共有する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月22日	図書館の所蔵資料	所属･役職	図書館総務事務長
			氏　名	折戸晶子
各キャンパスの図書館に所蔵している資料の特徴を示すとともに、普段目にすることが出来ない貴重な資料や特別な資料について紹介する。				
10	11月29日	明治大学博物館を観て博物館を知る	所属･役職	博物館事務長
			氏　名	市川園子
博物館について知るために、レクチャーにより明治大学博物館はじめ大学博物館を紹介し、世界のミュージアムの歴史、日本の博物館の成り立ちと課題を共有する。アカデミーコモンの博物館展示施設（商品・刑事・考古の3部門、大学史展示室、阿久悠記念館）を見学し、最後に明治大学博物館展示施設へのアンケートを行う。				
11	12月6日	明治大学のイメージの変遷を知り広報活動を考える	所属･役職	博物館事務長
			氏　名	市川園子
学生募集において選ばれるために、各大学ではブランド戦略に力を入れている。母校・明治大学のイメージの変遷を確認し、大学のブランド力向上における広報活動の重要性をレクチャーする。具体的事例として、博物館の広報活動への取組みを紹介し、最後にワークとして、博物館への広報プランの提案を行う。				
12	12月13日	理事会の役割と理事長の歴史	所属･役職	学校法人明治大学理事
			氏　名	（予定）
明治大学の教育を担うのが学長を中心とする教員組織であるのに対して、その経営を担うのは、理事長を中心とする理事会である。歴代理事長にはどのような人物が就任してきたのか、理事会はどのような役割を果たしてきたのかについて講義する。				
13	12月20日	キャンパスの移り変わりと将来構想	所属･役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	村上一博
明治大学は、現在、駿河台・和泉・生田・中野の4キャンパスで構成されているが、それぞれのキャンパスはどのようにして成立したのか、将来的なキャンパス構想はどうあるべきか、などの問題について講義する。				
14	1月10日	総括と試験	所属･役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	村上一博
全12回の講義を振り返り、筆記試験を実施する。				

3　履修上の注意

出席を重視する。学期末には筆記試験を行う（配付資料のみ持ち込み可）。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』（DTP出版、2017年）を読んでおくことが望ましい。

5　教科書

特になし。

6　参考書

図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈　法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『同　アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同　法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『私学の誕生―明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、同編『明治大学小史人物編』（学文社、2011年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。

7　課題に対するフィードバックの方法

採点結果とその講評は、Oh-o!Meijiを通じて回答・発信する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

定期試験５０％、平常点５０％

9　その他

この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。この講義とあわせて、「明治大学の歴史Ⅰ」（和泉・生田・中野・春学期開講）を受講することが望ましい。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
株式会社シーアールイー寄付講座「アート・オブ・物流」	町田　一兵/菊池　一夫

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

本講義は各業種に経験豊富なエキスパートたちを中心に、毎回異なる視点における物流の仕組み、特徴及び概況を説明し、本学既存の商業流通関連カリキュラムを学ぶ意欲の促進及び物流産業全体の実像に対する理解の深化をねらいとする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月12日	イントロダクション （講座の概要，成績評価方法等の説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	町田　一兵

講座の開講にあたり、交通・物流が産業における重要性を始め、講座の概要及び各講座のスピーカーによることなる産業での切り口のポイントなどの紹介を行い、成績評価方法などを説明する。

2	4月19日	高付加価値の物流 （Art of Logistics）	所属・役職	千疋屋総本店
			氏　名	大島　博

高付加価値貨物に代表される高級フルーツ、その高付加価値を維持するための一連のモノの流れを企業の取り組み事例として紹介し、物流が価値創造するための重要な役割という切り口で物流機能の大切さを説明する。

3	4月26日	美術品の物流（Art of Logistics）	所属・役職	日本通運株式会社　美術品事業部　課長
			氏　名	大木　康代

美術品の輸送は高度な専門知識及び長年の経験を要する。この業界で豊富な経験を持つスピーカーから、職人の世界の物流技術を紹介すると同時に、物流が必要とする卓越した技術を説明する。

4	5月10日	リコール品の流れを含む静脈物流（再生できる社会を目指して）	所属・役職	千葉商科大学専任講師
			氏　名	大下　剛

BtoC物流が増える中、返品の流れが極めて大きくなってきた。消費者権益を守る上で当然な措置だが、その効率的な対応が求めらる。さらにメーカーから消費者までの従来の物流の流れと逆に、廃棄物流を含む循環物流の整備・構築について説明する。

5	5月17日	MaaS（Mobility as a Service）を物流に（輸送のシェアリング）	所属・役職	NEXT Logistics Japan （ネクストロジスティクスジャパン）社
			氏　名	梅村　幸生

自動車輸送業界で長年苦しめてきた環境問題や労働力不足などの課題を克服するため、トラックの運び方に新たな仕組みを加えられる。アウトプットである輸送サービスを維持しながら、いかに環境・労働力不足の対応など、これからのトラック輸送に新たな取り組みを紹介する。

6	5月24日	進化するAIと物流（世界的ガリバー企業の取り組み）	所属・役職	株式会社　ダイフク
			氏　名	細川　誠

高度化した物流の仕組みを支える機器産業は大きな進化を遂げるなか、様々なハイテク産業の礎となる。世界屈指の物流機器メーカーの視点から、今日のサプライ・チェーンの在り方について説明する。

7	5月31日	物流のプラットフォームと中小事業者の活性化	所属・役職	Cbcloud株式会社
			氏　名	松本　隆一

ECの急成長のなか、消費者がいる末端まで配達することが急速に増え、大手物流事業者だけでは対応しきれない。自らプラットフォーム会社を立ち上げ、自社のアプリを用いて、個人事業主を含む中小運送事業者をいかに効率的に組織し、サービスレベルを向上させることで新たな市場の担い手になる仕組みを説明する。

8	6月7日	ファッションと物流（確かな品質を消費者に届く工夫）	所属・役職	㈱ビームスホールディングス ロジスティクス本部 副部長
			氏　名	竹川　誠

ファッション関連のアパレルを取り扱う方法は他の消費財の流れに比べ、かなりユニークである。アパレルの保管や仕分けにRFIDが使われており、多頻度小口での対応や輸送先の建物に合わせた車両の導入など、アパレル業界にかかわる物流の仕組みをわかりやすく説明する。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月14日	アパレルの物流（ファッションビジネスと物流の位置付け）	所属･役職	有限会社　ディマンドワークス　代表 明治大学商学部特別招聘教授
			氏　名	齊藤 孝浩
アパレルOEM生産、輸出入の仕組みやファッション流通の在庫最適化を図る手法など、ファッション企業のサプライチェーン・ロジスティクスの現状及び店頭・EC販売、在庫管理業務の再構築など、アパレルグローバルサプライチェーンやオペレーションの最新事情を説明する。				
10	6月21日	New Reality に対応した日本での物流網の構築	所属･役職	ネスレ日本株式会社 サプライ・チェーン・マネジメント本部 デマンド アンド サプライプランニング部 課長
			氏　名	上野　剛
グローバル企業として、「共通価値の創造」を実現するため、物流の面において、「モーダルシフト」活動の展開、IoTを活用した集荷車両の効率化など、グループをあけての物流効率化、環境への貢献などの取り組みを紹介する。				
11	6月28日	パレット単位で動く国際物流	所属･役職	コストコジャパン株式会社
			氏　名	相川　庸介
商品数を減らし、ケース単位で販売するなどの手法で成功したアメリカの流通事業者が文化背景の異なる日本でどのよう展開し、その背後に支える物流をどのように展開しているを説明する。				
12	7月5日	物流の不動産業って（物流産業のユニークビジネス）	所属･役職	株式会社シーアールイー 取締役執行役員 経営戦略部門 部門長
			氏　名	後藤　信秀
物流にかかわる不動産業は物流産業の急速な発展や物流事業者側の意識変化などで今日では大きな産業になっている。普段の不動産と全く違うイメージでのビジネス展開や今後の需要拡大で業界の大いなる可能性について説明する。				
13	7月12日	災害からの物流ネットワークのレジリエンス	所属･役職	防衛大学校　防衛学教育学群 戦略教育室　准教授　２等海佐
			氏　名	中澤　信一
天災や人災が絶えない日本にとって、物流はライフラインであり、どのような状況でもきちんとその供給を止めない。そのような役割をきちんと果たしていくため、とりわけ有事の対応が極めて重要、国家や自治体が非常時に物流の流れの確保に対する考え方や事例を紹介する。				
14	7月19日	複数の流通チャネル（オムニチャネル）に効果的な物流を	所属･役職	明治大学教授
			氏　名	菊池一夫
消費者の購買方法が多種多様になるなか、流通チャンネルが複雑化となり、アマゾンを始めとするネットプラットフォーム企業が店舗とネットでの販売など、顧客と複数の接点を持つためのモノの流れ、BtoCの最新状況を踏まえて、流通チャネルにおける物流の在り方を説明する。				

3　履修上の注意

事前に登壇される講演者が所属する企業のビジネス内容を確認した上、授業に参加することが望ましい。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

毎回授業前にOh-o! Meijiシステムにて資料をアップし、講義資料を予習する。
テーマに合わせ、事前に関連新聞記事や関連する業界の概要などを調べる。

5　教科書

同友館「アート・オブ・物流」（2024年3月刊行予定）

6　参考書

特に指定しない。

7　課題に対するフィードバックの方法

毎回レポートの提出（80%）、期末レポート（20%）を総合して評価する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

毎回レポートの提出（80%）、期末レポート（20%）を総合して評価する。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
労働講座企画委員会寄付講座「職場のリアルから働き方を考える講座」			商学部　久保隆光	
	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	4

1　授業の概要・到達目標

本授業は4構成で展開する。第一に「これまでの人事労務管理の意義や役割」を議論する。そして新しい働き方や労働環境の多様化を把握するために、第二に「職場改革（マイノリティーの人々の働き方）」、第三に「働きロの多様化（仕事に求める目的意識の変化、やりがいの変化）」、第四に「仕事の社会的役割・意義の変化（エッセンシャル・ワーク）」について議論する。これまでの日本企業の人事労務管理の意義を理解しながら、他方で従来の働き方の限界、制度疲労を把握する。そして新たな働き方の出現、働くことに関する意識の変化、多様化等について議論する。こうした目的のために、現場で働く実務家の方々が講義し、実際の社会（組織）で起きている現象（課題）について取り上げる。受講生それぞれが、これまで得てきた専門分野に関する知識を活かして、これらを応用する能力及びより実践的な知識・技能を身に着けることを到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	明治大学商学部・専任講師
			氏　名	久保　隆光
イントロダクションでは、講座全体の概要を紹介し、講義の進め方と履修上の注意点、成績評価等について説明する。次に、日本の労働の現場で今何が起きているのか、どのような変化が起きているのかなど、現在の日本の労働市場について紹介する。また、必要に応じてグループワークを行う可能性がある。				
2	10月3日	「OB・OGの働く現場」	所属・役職	連合東京中央南部ブロック地域協議会事務局次長
			氏　名	吉松龍一
組合員から労働相談を受けている労働組合の専門家から、働き方や職場で遭遇した問題について紹介、講義を行う。特に近年、問題になっている長時間労働や仕事と育児の両立について学ぶ。				
3	10月10日	「人事労務管理の現場～人事部マネジャーが語る職場のリアル」	所属・役職	運輸業界人事総務部マネージャー
			氏　名	神谷篤史
現役の人事部マネジャーをゲストに迎え、職場のリアルについてお話しいただく。日本企業で働くとはどのようなことなのか。人事部は就活生のどこをみて採用を決めているのか。入社後のキャリアはどのように定めているのか。社員のどこをみて賃金や昇進を決めているのだろうか。これらについて紹介・解説しながら、日本企業の雇用慣行についてリアルな姿を学ぶ。				
4	10月17日	「賃金交渉」のイオンリテール労組	所属・役職	イオンリテールワーカーズユニオン中央執行政策局長
			氏　名	中川紀子
イオングループ主要労組のイオンリテールワーカーズユニオンは、23年の春闘（賃上げ交渉）において、正社員組合員の平均賃金1万5,061円（5.03%）増、短時間組合員であるパートタイム労働者の時給71.9円（7.0%）増という大幅な賃上げを達成し、業界全体に大きなインパクトを与えた。このような賃上げは、なぜ、どのようにして実現したのであろうか？労働組合の賃金交渉を中心テーマとしながら、労働組合の活動について学ぶ。				
5	10月24日	「長時間労働の解決事例」	所属・役職	JAM副書記長
			氏　名	川野英樹
職場における長時間労働やさまざまな問題の解決に向けた労働組合の活動について紹介する。企業別・産業別に組織された労働組合は、解決への大きな役割を担っている。産業別労働組合「JAM」には、機械・金属産業を中心に大企業や中小企業で働く労働者35万人が結集する。同組合で長年にわたり活動をしてきた講師が、働く現場で蔓延する長時間労働の解決事例について具体的に紹介する。				
6	11月7日	「マイノリティの人々：LGBTQ」	所属・役職	プレカリアートユニオン委員長
			氏　名	清水直子
プレカリアートユニオンは2015年からLGBTQ労働相談に対応してきた。「SOGIハラ」による休職を余儀なくされた労働者の復職を実現し、労災申請のサポートを行って「SOGIハラ」による労災認定をかちとり、「アウティング」問題を当事者とともに解決してきた。また、「労働相談応援ライブ」を開催し、その様子をユーチューブで流すことで社会的普及に努めている。こうした事例等について紹介する。				
7	11月14日	「マイノリティの人々：外国人労働者」	所属・役職	NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク事務局次長
			氏　名	安藤真起子
外国人が働きながら技術を学ぶ「技能実習制度」は、外国人労働者の受入れ拡大を行ってきた。しかし2023年に公表された政府の有識者会議の報告書では、長時間労働や賃金の未払いなどのトラブルのほか、職場での暴力といった人権侵害の訴えが絶えないとの実態を明らかにしている。長年にわたりこの問題に取り組んできた講師が、外国人労働者に関する最新の実態について紹介する。				
8	11月21日	ワークショップ・ディスカッション	所属・役職	沖縄大学・専任教授/明治大学経営学部・専任准教授/明治大学商学部・専任講師
			氏　名	石川公彦/早川佐知子/久保隆光
前半（第２回から第７回）の講義内容をもとにテーマを設定し、いくつかのグループに分かれることを想定しワークショップ・ディスカッションを行う。各受講生がこれまで習得してきた専門知識を活かしながら、ワークショップ・ディスカッションを通じて、労働の現場での課題の把握とそれに対する課題解決を検討し、実践的な知識・技能を身に着けることを目指す。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月28日	「多様な働き方：フリーランス」	所属･役職	早稲田リーガルコモンズ 法律事務所/弁護士
			氏　名	川上資人
クラウドワークやフリーランスなど雇用によらない働き方について取り上げる。世界ではライドシェアやシェアリング・エコノミーが拡大し、その代表的な企業としてウーバーやリフトなどが有名である。自分らしく自由で、育児や介護と両立する働き方というイメージが先行するなか、労働の現場から浮上する労働災害などの問題と使用者責任について考える。				
10	12月5日	「社会問題に取り組む働き方（NPO/NGO）」	所属･役職	NPO団体はたらくしろくま代表
			氏　名	青木久美子
香川県を拠点として活動するNPO団体「はたらくしろくま」は、「はたらく」ことに焦点を合わせながら、個人・企業・地域がともに豊かになる社会を目指して、講演会や各種ワークショップ、読書と対話の会、さまざまな支援活動を展開している。そのユニークな活動をご紹介いただきながら、社会問題に取り組む働き方について考える。				
11	12月12日	「エッセンシャルワーク～貧困」	所属･役職	熊本市役所西区役所保健福祉部保護課（熊本市役所職員組合）
			氏　名	吉弘恵莉子
すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する―憲法第25条は、中学生や高校生の間でも最も有名な法規定のひとつである。憲法で定められた生存権を保障するための「生活保護」制度は、様々な社会保障給付を含め、その利用し得る資産や能力、その他あらゆるものを活用してもなお、生活に困窮する方を対象としているため、社会保障の最後のセーフティネットといわれている。しかし、昨今、不正受給の問題等から、「生活保護」という言葉が独り歩きし、ときには全くの「悪」であるかのように取り扱われることがある。景気回復とともに、生活保護者数は減少傾向にあるといっても、まだまだ多くの課題が残された生活保護制度の現状と実態について、一現場職員の視点を交え伝えたい。				
12	12月19日	「エッセンシャルワーク～地域住民の命を守る」	所属･役職	函館市北消防署指揮係
			氏　名	長谷川亜純
消防職員は地方自治体の職員として市民の安心・安全を守るため、24時間勤務で働いている。火災・救急・救助の現場活動はもちろん、近年大規模・複雑多様化している地震、風水害等の自然災害にも対応している。訓練も危険と隣合わせの仕事であり、装備や設備が十分でなければ、職員の安全さえも危うくなる。また、チームワークで業務にあたることから、職場の雰囲気づくりも大切であり、職員が団結し、現場の声を行政に反映させる必要があるが、日本の消防職員には労働組合権がすべて認められていない。その現状を打開するために設立された全国消防職員協議会の役割と、消防職の特性から労働組合の必要性を考察する。また、女性消防職員がまだまだ少ない消防職場の中でのハラスメントや、男女が共に働くことの難しさや意義、消防職を通じて感じた命の大切さを伝える。				
13	1月9日	「震災とゼロからの街づくり」	所属･役職	福島県大熊町役場（大熊町職員労働組合）
			氏　名	愛場学
東日本大震災、福島原発事故によって世界的にも経験のない課題、矛盾が、次々と明らかになっている。特に、安全神話のもと、原子力災害への対応は無策・無防備に等しく、住民、自治体そして職員も翻弄されている。国の意思決定が自治体を住民から乖離させ、民主主義さえも否定されかねない一方、原発立地住民にとっては、未だ脱原発を唱えることが難しい側面もある。このような中で、自治体機能の回復、住民の生活再建に取り組んでいる自治体の現状を通じ、民主主義、行政、自治体とは何か考える。				
14	1月16日	ワークショップ・ディスカッション	所属･役職	沖縄大学・専任教授/明治大学経営学部・専任准教授/明治大学商学部・専任
			氏　名	石川公彦/早川佐知子/久保隆光
後半（第８回から第１３回）の講義内容をもとにテーマを設定し、いくつかのグループに分かれることを想定しワークショップ・ディスカッションを行う。各受講生がこれまで習得してきた専門知識を活かしながら、ワークショップ・ディスカッションを通じて、労働の現場での課題の把握とそれに対する課題解決を検討し、実践的な知識・技能を身に着けることを目指す。				

３　履修上の注意

本授業では、ワークショップ・ディスカッション・グループワークを行う。そのため、授業に出席の上、質問や議論に積極的に参加すること。

４　準備学習（予習・復習等）の内容

毎回の講義テーマに関する新聞記事や経済雑誌等で、現状を事前に把握すること。また、授業後は、働く環境や職場の問題点など各講義のポイントについて整理すること。

５　教科書

教科書は特に使用しない。ただし、毎講義ごとにレジュメ・各資料等を配布する。

６　参考書

特に使用しない。

７　課題に対するフィードバックの方法

フィードバックは、必要に応じて次週以降の授業内で全体に対して行う。

８　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

リアクションペーパー（５６点＝各４点×１４回）および学期末レポート（４４点）によって成績評価する。

９　その他

ワークショップ・ディスカッションの円滑な運営のために、履修者を100名以内とする（抽選方式）。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
明治大学の歴史Ⅰ〔メディア授業〕	商学部・李英美

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
和泉	2	春学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月12日	イントロダクション	所属・役職	商学部教授
			氏　名	李英美
【対面】講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月19日	明治大学の創立者	所属・役職	文学部准教授
			氏　名	野尻泰弘
【オンライン】明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
3	4月26日	明治大学の歴史・学部の歴史（明治・大正・昭和戦前）	所属・役職	法学部教授
			氏　名	村上一博
【オンライン】明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
4	5月10日	明治大学の歴史・学部の歴史（昭和戦後・平成・令和）	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
【オンライン】昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
5	5月17日	明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
【オンライン】1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				
6	5月24日	映画界と校友たち	所属・役職	農学部教授
			氏　名	松下浩幸
【オンライン】映画界で活躍した（または現在活躍する）明治大学の卒業生を監督・俳優を中心に紹介し、その業績を考察する。				
7	5月31日	校友山脈	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
【オンライン】明治大学は卒業生を校友と称した最初の学校といわれている。特に経営面から大学を支え続けている校友会の歴史を講義するとともに、今日活躍する校友を紹介する。				
8	6月7日	キャンパスライフ	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
【オンライン】学生たちの姿や視点から、明治大学の歴史について講義する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月14日	阿久悠と阿久悠記念館	所属･役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
【オンライン】明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
10	6月21日	明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属･役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
【オンライン】生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
11	6月28日	留学生とグローバル化（１）	所属･役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
【オンライン】1回目は台湾からの留学生を中心に講義する。あわせて、今日の国際化の問題について講義する。				
12	7月5日	留学生とグローバル化（２）	所属･役職	商学部教授
			氏　名	三田剛史
【オンライン】2回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
13	7月12日	留学生とグローバル化（３）	所属･役職	商学部教授
			氏　名	李英美
【オンライン】3回目は韓国からの留学生を中心に講義する。				
14	7月19日	総括と試験	所属･役職	商学部教授
			氏　名	李英美
【対面】全12回の講義を振り返り、対面による筆記試験を実施する。				

3　履修上の注意

第2回から第13回目のオンライン授業については、毎回小レポートの作成・提出を課す。学期末には対面方式での筆記試験を行う（ただし、教科書のみ持ち込みを認める）。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前に教科書を読んでおくこと。

5　教科書

明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』（DTP出版、2017年）

6　参考書

図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈　法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『同　アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同　法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『私学の誕生―明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、同編『明治大学小史人物編』（学文社、2011年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。

7　課題に対するフィードバックの方法

採点結果とその講評は、Oh-o!Meijiを通じて回答・発信する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

定期試験５０％、平常点５０％

9　その他

この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。この講義とあわせて、「明治大学の歴史Ⅱ」（駿河台・秋学期開講）を受講することが望ましい。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
環境と政治・経済・社会Ⅰ	政治経済学部・大森正之

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	木	5

1　授業の概要・到達目標

地域規模から地球規模にいたる公害・環境問題について、明大の大学教員による国際的な視野に立った講義以外に、環境問題に取り組んでいるNPOや基幹産業や新興企業のビジネス・パーソンから、直接「今そこにある環境問題」とその解決への実践を学ぶ機会を提供する。主に3－4年生からなる環境問題に関心のある受講生にとっては、環境問題と政治･経済･社会の接点の情報に多面的にアクセスするチャンスを広げ、進路選択に大きく役立つとともに、環境配慮的な市民かつ職業人への自己形成の知的な基礎を提供することができる。環境政策のプロシューマー（生産･消費者）になる基礎作りを受講生の到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月11日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属･役職	政治経済学部　教授
			氏　名	大森正之
本講座の構成コンセプト、各講座の概要と講師について説明すると共に、受講上の注事項、成績評価の方法について概説する。				
2	4月18日	人類への問い「水俣病」：その過去・現在・未来	所属･役職	水俣フォーラム・理事長
			氏　名	実川悠太
「公害の原点」といわれる水俣病事件は、地球規模の環境問題にとってもまた「原点」というべき存在である。その一方で、発生確認より半世紀以上が経過した今日に至ってもこの事件は政治的社会的事件としての終息を見ず、メディアへの露出がつづいている。それでも、環境を媒介として数万を超す沿岸住民の生命と健康をうばったこの事件の基本的事実さえ解明には至っておらず、一般の水俣病認識は実体とかけ離れたものとなっているのである。 講義では、まずこの事件の発生地域、原因企業、原因物質、被害者などの基本的事実について、研究成果を概説した上で、50年･100年におよぶ事件史を概観。これをもとに日本と世界におけるこの問題の今日の姿を浮かび上がらせる。さらに、21世紀を生きる私たち人類にとっての、「問い」としてこの事件の内実を描くことを試みる。				
3	4月25日	放射能汚染の実態把握とその対策：環境番組作りの現場から	所属･役職	NHK仙台拠点放送局シニア・ディレクター
			氏　名	藤川正浩
世界最悪レベルの放射能汚染を引き起こした東京電力福島第一原子力発電所の事故。いつ、どれだけの量の放射性物質が放出され、飲料水や食料はどれぐらい汚染されたのか。そして住民はどれぐらい被ばくしてしまったのか。事故から８年が経過したいまも、解明に向けた調査・研究が進められている。その過程で見えてきたのは、自然界のシステムの複雑さと放射性物質の動態を捉えることの難しさ、そして日本の放射能汚染事故対策の手薄さだった。事故で放出された放射性物質による社会的影響は現在も続いている。映像も交えて解説する。				
4	5月9日	アメリカの環境正義	所属･役職	政治経済学部　教授
			氏　名	石山徳子
本講義は、アメリカ合衆国で発展を続ける環境正義運動について、その思想と歴史を紹介する。環境正義とは、人種、階級、国籍、ジェンダーなどを理由に弱い立場にある人々が、生活、労働、学習の場で、より大きなリスクを負担してきた不平等や差別を是正し、みなが安全に暮らせる環境と、それを可能にする社会を追求する概念である。この運動の担い手は、国内の問題だけでなく、多国籍企業による石油開発や森林伐採を引き起こす環境破壊と向き合う途上国の人々、兵器の実験場や軍事施設の付近や、戦場に生きることを強いられる様々な国の市民たちにも目を向けてきた。民族や国を超えて広がる連帯を紹介し、環境問題を考えるための一つの視座を提供したい。				
5	5月16日	欧州の農業環境問題―歴史と現状－	所属･役職	農学部　教授
			氏　名	市田知子
欧州、特にドイツを中心とした農業環境問題について概説する.畜産廃棄物問題、グリフォサートなどの農薬の規制、動物福祉、有機農業の普及や環境保全型農業への補助金制度などに言及する。				
6	5月23日	ワンヘルスの概念から感染症と環境を考える	所属･役職	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
			氏　名	芳賀　猛
ワンヘルス（One Health）とは、３つの健康、すなわち人・動物・環境　の健康な状態は相互に密接な関係があり、真の健康とは、それらを総合的に良い状態にすること、という概念である。新型コロナウイルス感染症は人に甚大な被害をもたらしているが、その病原体は動物由来と言われる。今世紀、人口・食料・感染症は、人類共通の課題として、地球規模で学際的なアプローチが求められている。ワンヘルスの概念を念頭に、人間活動が環境や生態系に与える影響や人と動物との関係を、感染症の視点から振り返り、将来を展望したい。				
7	5月30日	顔の見える電力と気候変動・サステナビリティ	所属･役職	株式会社再生可能エネルギー推進機構 代表取締役社長
			氏　名	三宅成也
概要：電力業界は2016年の電力完全自由化と共に、企業や消費者が電気を選ぶ時代になりつつある。みんな電力は、生産者の「顔の見える電力」という新しい電力サービスを展開している。また、気候変動対策の重要性が高まる中で、企業が事業活動で消費する電力を全て再生可能エネルギーにシフトする「RE100」というイニシアティブが拡大している。講義では、企業や消費者が電気を選ぶことによりどのように社会に影響をもたらすのか実際の電力ビジネスの観点から考察する。				
8	6月6日	モンゴルにおける環境問題と対策	所属･役職	商学部　教授
			氏　名	森永由紀
モンゴル高原では寒冷で乾燥した気候下で遊牧が３千年にわたって営まれてきた。1990年台初頭の資本主義体制への移行により、大きな変化が起こり、環境問題もその影響を強く受けている。　近年の主要な環境問題、①都市への人口集中のよる大気汚染・廃棄物問題②環境対策が不十分な中での経済成長による産業公害、③基幹産業である遊牧にとって重要な資源である草原の荒廃・頻発する干ばつ・ゾド（家畜が大量死する寒雪害）が混在している。講義では、自然環境の概略を述べ、現場をスライドと観測データを示して解説し対策について考察する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月13日	静脈産業の歴史と資源循環の未来	所属・役職	株式会社JEMS（旧エジソン）　経営戦略室　室長
			氏　名	粟井洋和

「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から、環境への負荷の少ない「循環型社会」へ。近年、日本のみならず世界全体で環境規制強化の動きがあり、環境市場は今後も大きく成長を続けていくと予測されます。その環境市場約100兆円の内、約4割を占めるのが「廃棄物処理・資源有効利用」領域であり、今この領域で大転換が進みつつあります。
　講義では、静脈産業の発展の歴史と、そこに存在する法規制についてわかりやすく説明します。また、廃プラスチック規制等、現在世界レベルで進む「廃棄物処理」から「資源循環」への転換の流れを、SDGs/ESGなどの社会背景を踏まえ解説します。併せて、「環境×IT」をキーワードに環境問題に挑むエジソンの最新の取組事例を紹介します。

10	6月20日	アメリカの自然思想：ソローとミューア	所属・役職	政治経済学部　教授
			氏　名	柴﨑文一

ヨーロッパに原生林が失われていった一方で、アメリカには広大な自然環境が残されていた。新大陸の大自然と対峙した文学者や思想家は、その「自然」をどう捉えようとしたのだろうか。本時の講義では、フロントカントリー（里山的自然）とバックカントリー（野生の世界）という一対の自然観をもとに、『森の生活』を著したソローと「国立公園」の制定に尽力したミューアの足跡を辿って行く。アメリカの自然思想を語る時、エマソンの果たした役割が大きく取り上げられることが多いが、その認識が誤りであることを明示する。

11	6月27日	中国における環境問題と対策	所属・役職	国立環境研究所　上級主幹研究員
			氏　名	一ノ瀬俊明

急速な経済成長に伴い、エネルギー問題、大気汚染及び水質汚染を始め、中国における様々な環境問題が深刻化しており、環境対策に関する中国の取組姿勢が注目されている。これまで産業先進国が経験してきた”資源開発ー経済発展ー環境破壊”というパターンと異なり、中国では経済成長と環境破壊が同時に進んでいる。さらに、産業構造や経済状況などは、地域間に大きな格差があるため、環境問題の解決がより一層複雑化している。
　講義では、経済開発を起因とする汚染問題、土地利用問題、エネルギー問題の現状を実際のデータに基づき説明すると同時に、中国にとって今後の環境対策のあり方について解説する。特に、膨大な人口を抱えている中国では、如何にして経済成長と環境保全を両立させるか、その可能なアプローチは何か、具体的に考察する。

12	7月4日	韓国・台湾における環境問題と環境運動	所属・役職	明治大学名誉教授（文学部元教授）
			氏　名	寺田良一

日本、韓国、台湾は、欧米の先進工業国をモデルとして急速な工業化をめざした。国家による強権的な工業化の推進、その副産物としての環境問題（深刻な産業公害）とその被害者運動、社会の民主化と並行した環境運動の成長など、多くの共通点を持っている。韓国･台湾は、1980年代末以降の民主化の進展の中でそれらの環境問題が一斉に問題化した。それらを背景として、環境運動の成長が、民主化や市民社会の成熟を促した側面も特徴的である。講義の中では、被害構造、環境正義(公正)、問題構築といった環境社会学の観点を交えて説明していきたい。

13	7月11日	気候変動の激化と流域治水	所属・役職	愛国学園大学　人間文化学部　教授
			氏　名	梶原健嗣

日本、韓国、台湾は、欧米の先進工業国をモデルとして急速な工業化をめざした。国家による強権的な工業化の推進、その副産物としての環境問題（深刻な産業公害）とその被害者運動、社会の民主化と並行した環境運動の成長など、多くの共通点を持っている。韓国･台湾は、1980年代末以降の民主化の進展の中でそれらの環境問題が一斉に問題化した。それらを背景として、環境運動の成長が、民主化や市民社会の成熟を促した側面も特徴的である。講義の中では、被害構造、環境正義(公正)、問題構築といった環境社会学の観点を交えて説明していきたい。

14	7月18日	総括と試験	所属・役職	政治経済学部　教授
			氏　名	大森正之

全13回の講義を振り返り全体を総括する。そののち筆記試験を実施する。

3　履修上の注意

最低限、７割５分の出席と参加を必要とする。そのため、各回、TAが出席表とリアクションペーパを配布回収する。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各講師・企業・団体の環境問題への取り組みについてあらかじめウェブサイトなどで情報を収集しておく。各講義時に講師が案内した資料や論文などについて、参照し復習する。

5　教科書

なし

6　参考書

適宜、授業中に案内する。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回のリアクションペーパーについて、次回以降の講義の前後にフィードバックを行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

期末試験の成績で主に評価する。各講義の後半での質疑内容、終了時に提出してもらうリアクションペーパを試験の成績に加味する。7割5部以下の出席率の受講者は、大幅な減点、単位未認定の対象となる。

9　その他

第10回の参考文献：尾崎和彦著『ディープ・エコロジーの源郷』（東海大学出版会2006）；『環境哲学序説―G.H.フォン・ヴィリークトにおけるヒューマニズムと環境危機』（金子･尾崎編『環境の思想と倫理』人間の科学社2005）

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
環境と政治・経済・社会Ⅱ			政治経済学部・大森正之	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	5

1　授業の概要・到達目標

公害環境問題は、教科書や様々な文献で学習できるが、教員による講義以外に、環境問題に取り組んでいる多様な実務家、例えば弁護士、政治家、行政マン、そして特に、企業の「社会環境部」などに所属するビジネス・パーソンから、直接「今ここにある環境問題」とその解決への実践を学ぶ機会は少ない。そこで、この講座は、環境問題の実務家による12講座を準備する。ビジネス・パーソンが所属する分野は、金融、製造、輸送、小売り、電気ガス、人材派遣など横断的に構成する。主に3－4年生からなる環境問題に関心のある受講生にとって、特に本講座群は、進路選択に大きく役立つものと思われる。そして環境ビジネスの分野における専門家を志向する受講生の育成を到達目標としたい。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	大森正之
本講座の構成コンセプト、各講座の概要と講師について説明すると共に、受講上の注事項、成績評価の方法について概説する。				
2	10月3日	環境問題と法曹：過去・現在・未来（福島原発事故の今）	所属・役職	弁護士
			氏　名	保田行雄
我が国の環境問題は「公害」問題として現れた。戦後の高度経済成長政策にともなう環境汚染は、水俣病・イタイタイ病、四日市ぜんそく等の大規模公害事件を各地で引き起こした。そして2011年3月11日、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所のメルトダウン事故により放射能による究極の環境汚染事故が発生した。放射能汚染による住民の大量避難、社会的・経済的困難、避難を苦にした自死など深刻な問題が発生している。今後、被曝に伴う健康被害も考えられる状況で、かつての四大公害裁判等の教訓をもとに原発事故の解決における法曹の役割を考える。				
3	10月10日	日本の基幹産業における持続可能な社会への貢献	所属・役職	日本製鉄株式会社 環境政策企画部
			氏　名	小杉健
鉄は私たちの暮らしや、社会を支えています。日本製鉄は、鉄づくりを通して、広く社会の基盤を支えるという重要な役割を担っています。また、素材としての鉄の優位性を活かし、今後も世界で伸びゆく鉄の需要に応えながら、良好な地域生活環境の維持向上、廃棄物削減・リサイクルの促進、地球温暖化問題、さらには生物多様性の維持など、地域から地球規模に至るさまざまな環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。本講座では、鉄の魅力、鉄鋼業の役割、そしてこの日本製鉄の環境経営について紹介します。				
4	10月17日	地球温暖化対策の進展：国際、国内の取組	所属・役職	元・環境省大臣審議官
			氏　名	小川晃範
地球温暖化問題は最大の環境問題とされているが、対策の合意、実施に多大な困難がある。これは、温暖化は化石燃料の利用が主要な原因であり、その対策にはエネルギー構造の見直しなどの大規模な取組が必要であるため、経済への影響、国際的な公平性などが問題となるためである。本講義では、気候変動枠組条約からパリ協定に至る国際的約束の進展、我が国における対策の進展について、主として環境省の観点から概観する。				
5	10月24日	地球をよくする金融、そのビジネスと貢献	所属・役職	三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社 フェロー（サステナビリティ）
			氏　名	吉高まり
１．　環境金融ビジネスとは？　２．　環境金融からＥＳＧ投資へ　３．　ＥＳＧ投資と気候変動 環境金融の背景とビジネス、及び昨今のESG投資の動向とそれに関わる気候変動について解説する。				
6	11月7日	日本の環境ビジネス市場と雇用の動向	所属・役職	EcoJob　代表取締役
			氏　名	根岸弥之
環境ビジネスの定義や分類は国によって少し異なるが、日本の環境省定義での環境ビジネス市場と雇用規模の最新推計（2016年度）では、各104 兆円、260 万人超と過去最大で、今後も拡大傾向と言う。ただこの推計は広義の環境ビジネスの定義が基で、建築リフォームや電子機器リースまで算入、狭義な環境ビジネスの定義での市場雇用推計や環境事業者の実情とは異なる所もある。 この講義では、環境ビジネスの定義と分類の基本から、日本の環境ビジネス各分野の市場及び雇用の動向、また政策に翻弄される再生可能エネルギー業界の現状等をお伝えする。				
7	11月14日	リコーグループの脱炭素社会に向けての企業の行動	所属・役職	合同会社SECA 代表
			氏　名	則武祐二
２０１６年のパリ協定発効以後、気候変動対策は大きく変化した。目指す社会も低炭素社会から脱炭素社会へと変化し、政府だけでなく、自治体、投資家の行動も大きく変わった。リコーは２００３年から環境経営を掲げて行動してきたが、企業は自らの環境負荷低減だけではなく、事業構造の変革も含めて社会課題解決に向けて行動することが必要になっている。世界から見て、日本の企業の現状も踏まえて考えていく必要があると考える。				
8	11月21日	運び方改革による環境負荷低減とCSRの取組み	所属・役職	佐川急便株式会社　CSR推進部CSR推進課
			氏　名	竹下博士
1997年に開催された気候変動枠組条約締約国会議（COP3）をきっかけに環境経営をスタートさせた佐川急便が、これまで取り組んできた物流改革による環境負荷軽減やCSR活動を紹介します。学識経験者・行政・企業による連携はこれまでも行われてきました。しかし、抜本的な環境対策のためには、消費者との連携がより重要となります。物流事業者と企業・行政の連携だけでは物流分野の環境保全対策は不十分であること、消費者の関心なくしては対策が進まないことを認識させ、消費者がどのようなことができるのか、併せて考察してもらいます。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月28日	エネルギー、環境問題と自動車産業の在り方：Hondaの事例	所属・役職	元・本田技研工業　経営企画統括部 環境企画部長 兼 安全企画部長
			氏　名	篠原道雄
自動車業界の環境取り組みは、大気汚染と排ガス対策に端を発しているが、当時と今の問題は本質的に異なる。当時は大気汚染という地域性の高いものが問題になっていた。現在の環境問題は、co2排出量の爆発的増加による気候変動という全球的な問題を解決に導くという大きな課題である。本講座では自動車産業の環境対策と未来について、本田技研工業の事例を中心に①自動車の持続可能な発展のための課題②co2排出量の大幅削減を実現するには③次世代自動車戦略の軸となる電動化改革④自足可能なモビリティーを目指して、という課題に言及する。				
10	12月5日	ファミリーマートの環境マネジメントシステム	所属・役職	株式会社ファミリーマート サステナビリティ推進部　環境推進グループ
			氏　名	高橋哲
ファミリーマートは国内のコンビニエンスストア業界では最も古く、1973年9月に開店した実験店からスタートしました。その後日本全国、さらには海外へと歩みを進め、常にお客さまの暮らしを支える身近な存在として、「便利さ」の提供を求めて事業革新を続けてきました。生活が便利になることは、一方で環境へ影響を与えることも事実です。「便利さ」と「環境配慮」を両立させる為にこれまで取り組んできた「環境マネジメントシステム」をご紹介し、皆さんが今後社会人として生活する上でのヒントとして、少しでもお役に立てればと思います。				
11	12月12日	建設会社の環境活動	所属・役職	前田建設工業株式会社ＣＳＲ・環境部
			氏　名	大竹利幸
前田建設は経営計画にCSV経営No.1を掲げ、社会的環境課題である「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を構築するため、社会とともに持続可能な発展をめざしています。ZEB（ネット・ゼロエネルギービル）の建設、建設副産物のリサイクル、国産材の利用を通じた森林の保全、インフラの運営や再生可能エネルギー事業への参画事例と併せ、官民をあげて取り組んでいる建設業界の環境活動について紹介します。				
12	12月19日	日本のエネルギー(電力)と環境問題	所属・役職	東京電力ホールディングス株式会社 経営企画ユニットＥＳＧ推進室　副室長(環境担当部長)
			氏　名	東内正春
私たちの日本という島国における、電力というエネルギー供給のあり方について、現在から未来まで皆さんと一緒に考えていくために必要な事項を紹介します。　化石燃料使用による、資源・地球温暖化問題、自然エネルギーの長所短所、マイクログリッドと系統安定化技術、原子力発電をどうしていくべきか、電力システム改革などなど我々の未来を考える機会にしたいと考えます。				
13	1月9日	国内外の環境エネルギー情勢と天然ガス	所属・役職	日本ガス協会企画・政策ユニット　国際グループ
			氏　名	吉田聡
液化天然ガス(LNG)が日本に輸入されて2019年で半世紀となる。今やLNGは世界の基幹エネルギーとなった。この半世紀、国内外のエネルギー、環境事情は大きく変貌している。特に昨今の気候変動問題は人類に課せられた大きな課題である。クリーンなエネルギーとして導入が進められてきた天然ガスが次の半世紀に向け てどのような役割を果たしていくのか、また、日本の持つ環境エネルギー技術が、 世界のエネルギー需要の太宗の伸びが見込まれるアジア地域においてどのように貢献できるかについてお話をさせていただく。				
14	1月16日	総括と試験	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	大森正之

全13回の講義を振り返り全体を総括する。そののち筆記試験を実施する。

3　履修上の注意

最低限、７割５分の出席と参加を必要とする。そのため、各回、TAが出席表とリアクションペーパを配布回収する。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各講師・企業・団体の環境問題への取り組みについてあらかじめウェブサイトなどで情報を収集しておく。各講義時に講師が案内した資料や論文などについて、参照し復習する。

5　教科書

なし

6　参考書

適宜、授業中に案内する。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回のリアクションペーパーについて、次回以降の講義の前後にフィードバックを行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末試験の成績で主に評価する。各講義の後半での質疑内容、終了時に提出してもらうリアクションペーパを試験の成績に加味する。7割5部以下の出席率の受講者は、大幅な減点、単位未認定の対象となる。

9　その他

第10回の参考文献：尾崎和彦著『ディープ・エコロジーの源郷』（東海大学出版会2006）；『環境哲学序説―G.H.フォン・ヴィリークトにおけるヒューマニズムと環境危機』（金子･尾崎編『環境の思想と倫理』人間の科学社2005）

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖			政治経済学部・須藤功	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	火	2

1　授業の概要・到達目標

19世紀のイギリス産業革命に端を発した世界の工業化において技術移転が大きな役割を果たしてきたことは周知の事実であるが、ほぼ同時期に始まった世界の軍事化において武器移転が及ぼしてきた影響についてはほとんど理解されていない。第二次世界大戦以降、武器取引は急速に拡大し複雑化し、現在、世界の武器貿易は冷戦後最大規模に達している。軍縮・軍備管理の実現には、武器移転とその世界的な負の連鎖についての理解が不可欠であるにもかかわらず、この分野に関するわれわれの知識はきわめて乏しい。

この講義では、冷戦期に米ソ二大超大国が展開した経済援助と軍事援助がアジア諸国の兵器産業や防衛政策にどのような影響を及ぼしたかに注目して、軍事援助と武器移転、開発援助と技術移転、総力戦と軍需生産動員、兵器国産化と軍民転換、移民と頭脳流出など多岐にわたって議論を展開する。また、冷戦後の世界では国家間の戦争に加えて、政府と反政府勢力の間の内戦、あるいは非国家主体同士の紛争も拡大した。本講義では、そのような非国家主体間の「紛争の連鎖」をも視野に入れて、戦後アジア国際秩序の軍事再編を「武器移転の連鎖」と言う視点から考察し、軍縮と軍備管理を取り巻く現代世界の諸課題に対する歴史的・国際的な視座を養っていく。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月16日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	須藤 功
本講座では、両大戦間期から現代までの軍事援助と武器移転の歴史を、軍産複合体と地域経済・国民経済との連携に着目して考察する。とりわけ、戦後アメリカによる武器輸出、冷戦期における米ソの軍事援助とアジアにおける兵器国産化、さらには核兵器の拡散、そして、一方における軍縮世論と他方における武器移転の拡大。この講座ではこうした国際社会の現実を直視し、国際社会が安定と平和の道を切り拓いていくための方途を受講生諸君と共に講義を通して追究していく。				
2	4月23日	冷戦期の経済援助と軍事援助-「米ソの思惑」と「インドの思惑」-	所属・役職	研究・知財戦略機構 研究推進員(客員研究員)
			氏　名	横井勝彦
第二次大戦後の冷戦構造の中で、米ソの両超大国は途上国に対して各種の経済援助とともに大規模な軍事援助も展開した。なかでも非同盟中立のインドは、独立直後より厳しい経済状況のもとでアメリカから大規模な経済援助を受けるとともに、中印国境紛争での敗北を契機として、ソ連からの軍事援助にも大きく依存することとなった。この講義では、このような戦後の構図の中で、米ソ印３国のそれぞれの冷戦外交の思惑とその成果について考察する。				
3	4月30日	途上国の軍事的自立化 -世界最大の武器輸入国インドの場合-	所属・役職	研究・知財戦略機構 研究推進員(客員研究員)
			氏　名	横井勝彦
途上国が目指す軍事的自立化とはどのようなものであろうか。現在、インドは世界最大の武器輸入国であり、その７割がロシアからの輸入に依存している。だとすれば、インドは軍事的自立化を放棄していると考えるべきであろうか。この講義では、こうした問題を念頭に置いて、一般の国民経済とは遊離したところで展開されたインドにおける軍事主導型重工業化と軍産学連携の構造について検討し、今日の途上国の経済発展にとって、軍事的自立化がどのような意味を持っているかを考察する。				
4	5月7日	国際経済秩序の変容①-超大国化するアメリカを支えた移民政策-	所属・役職	政治経済学部・専任講師
			氏　名	下斗米秀之
アメリカがイギリスに代わり政治・経済・軍事のあらゆる面で超大国化へと変貌していく大戦間期にあって、特にアメリカ経済を押し上げていく決定的な理由のひとつに、アメリカ固有の移民政策の展開があった。20世紀初頭まで、アメリカは事実上無制限に移民労働者を受け入れ、この潤沢な労働力が大量生産体制を支えた。しかし第一次大戦を経てアメリカを取り巻く社会経済的状況は一変し、1924年移民法の成立をもって移民制限時代への移行は決定的となる。本講義では経済史及び労働経済における移民研究の成果を踏まえて移民政策の歴史を振り返り、アメリカ経済にとって移民とは何かを考察する。				
5	5月14日	国際経済秩序の変容②-高度技能移民受入政策の目的と成果をめぐって-	所属・役職	政治経済学部・専任講師
			氏　名	下斗米秀之
1920年代の移民法成立以後、アメリカは1930-40年代における世界の政治秩序及び国際政治の先導役を果たした。特に高度技能移民の存在は大きく、彼らは優れた民需生産を支え、それが第二次世界大戦（WWⅡ）開始前後において、アメリカが「世界の兵器工場」としての地位を獲得し、武器輸出大国化していく素地となった。こうして第二次世界大戦から始まる世界の軍事秩序まで形成する結果へと繋がっていったのである。本講義では、WWⅡ以後の世界経済秩序の実態をも視野に入れながら、アメリカのパワーの源泉としての高度技能移民の存在を改めて問うていく。				
6	5月21日	1920年代における仏英独から日本への航空技術移転	所属・役職	文学部・兼任講師
			氏　名	西尾　隆志
史上初の国家総力戦となった第一次世界大戦では、ヨーロッパにおいて航空機が初めて本格的に軍事利用され、欧米の主要参戦国では新兵器である航空機の大量生産を可能とする航空機産業が戦時期に確立された。一方、同大戦を「非総力戦」として経験した日本では、大戦終結時点で航空機産業基盤は未確立であったが、1920年代を通じて日本の陸海軍および民間航空機製造企業は、欧米から積極的に最新航空技術の導入を図り、日本航空機産業・航空戦力の基礎確立に邁進した。本講義では、20年代における仏英独から日本への航空技術移転を当時の国際関係を踏まえて論じ、技術移転と航空機国産化との関係から戦間期「軍縮下の軍拡」の具体的諸相を明らかにしていく。				
7	5月28日	戦後アメリカの軍事援助と経済援助-軍産複合体と対外軍備輸出-	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏　名	須藤 功
第二次世界大戦後アメリカの対外援助は、米英金融協定を経てマーシャル援助によって本格的に開始され、東西冷戦体制の形成とともに軍事援助と経済援助とが渾然一体となって拡大した。アイゼンハワー政権は、安全保障援助の枠組みの中で対外援助を開発途上世界にシフトさせる一方で、アイゼンハワー自身が退任演説で「巨大な防衛産業と軍事組織の結合」を特徴とする軍産複合体への警戒を喚起した。本講義では、経済援助と軍事援助との関係、そして軍需企業と議会・国務省の対外軍備売却支援の役割を検証する。				
8	6月4日	戦前期日本の武器輸出と武器移転：対ロシア・中国への武器輸出の史的展開	所属・役職	研究・知財戦略機構 研究推進員(客員研究員)
			氏　名	纐纈　厚
1914年から開始された第一次世界世界大戦から第二次世界大戦の間に日本は対ロシア・対中国への武器輸出を積極的に行った。その実態は従来余り着目されて来なかったが、本講義では当該期における武器移転の歴史を軍拡と軍縮の政治過程から論じる。そこにおける軍拡と軍縮とは、決して二項対立としてあったのではなく、言わば軍拡と軍縮とが同時に併存しながら展開された歴史事実が把握可能である。まさしく「軍縮の時代の軍拡」が軍の合理化・近代化を口実として展開されたことを資料を踏まえながら解説していく。そこに軍拡の論理を読み取ることで、現代に続く「軍縮という名の軍拡」の実態に迫る。同時に本講義では現代の課題に繋がる安全保障問題の視点を射程に据えて論じていく。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月11日	1960年代日本の防衛産業と安全保障政策：MSA協定によるアメリカの軍事支援と日米同盟	所属・役職	研究・知財戦略機構 研究推進員(客員研究員)
			氏　名	纐纈　厚
戦後日本は敗北により軍需産業は解体され、武器生産が不可能となったが、アメリカは日本の反共防波堤国家化を目途として軍事支援を行った。同時に日本も防衛産業の名称で軍需産業の復活と自立への道を模索する。日本の戦後における武器生産と武器輸出は、アメリカによる抑制と国際世論という二つの壁に向き合いがらも従属と自立の間で葛藤を続ける。日本の経済成長と東アジア地域の変容のなかで、アメリカからの抑制が緩和され、事実上の日米同盟が強化されることと比例して、日本の安全保障政策自体も「専守防衛」戦略を採りながらも、自衛隊の装備強化が進められていく本稿儀では、1960年代までの日本の安全保障政策を中心に論じるが、今日の日本の安全保障政策の新展開についても言及していく。				
10	6月18日	第二次世界大戦とアフリカの関係	所属・役職	国際日本学部・教授
			氏　名	溝辺 泰雄
第二次世界大戦は文字通り世界中の人々を巻き込む大戦争であり、アフリカの人々もその例外ではなかった。アフリカの人々は、「イギリス軍」や「フランス軍」の一員として前線に動員されただけでなく、軍需物資の生産など銃後で働くことも求められた。そして、自ら望むことなく「連合国」の一員とされたアフリカ人兵士はインド=ビルマ(ミャンマー)戦線にも派遣され、「枢軸国」の日本軍との戦いに参加することになった。この回では、こうした第二次世界大戦期における日本とアフリカの「意図せざる戦い」の一端について学びを深めたい。				
11	6月25日	20世紀後半のアフリカにおける反核運動	所属・役職	国際日本学部・教授
			氏　名	溝辺 泰雄
アフリカが脱植民地化期を迎えた20世紀半ばは、東西冷戦が深刻化した時期でもあった。米ソを中心とする核軍拡競争の過熱化に伴い、核兵器の脅威は脱植民地化期のアフリカにも及んだ。国際社会の反対にもかかわらず強行された1960年のフランスによるサハラ砂漠での原爆実験は、核兵器廃絶に対するアフリカ諸国の決意をより強固なものにした。この回ではサハラ以南アフリカで最初の独立を果たした西アフリカ・ガーナの政治指導者クワメ・ンクルマの活動に着目し、彼が中心メンバーの一人として関わったパンアフリカニズムと非同盟運動を通して、20世紀のアフリカがどのように植民地主義の撲滅と核なき世界の実現に向けて取り組んできたのかを学ぶ。				
12	7月2日	現代の戦争、その形態と傾向	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏　名	佐原 徹哉
統計的手法を用いて現代の戦争のトレンドを概説する。第二次世界大戦以降、国家間の戦争は殆ど起こらなくなり、代わって、内戦が激増したが、内戦の形態も国家権力の争奪が焦点だった冷戦期から、現代では領域支配を巡る争いが顕著となり、非国家主体の役割も重要性を増している。これが非戦闘員の被害の拡大と難民の増加をもたらしている。				
13	7月9日	米軍はなぜアフガニスタンから撤退したのか	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏　名	佐原 徹哉
アメリカは20年間、アフガニスタンに駐留したがなんの成果も上げずに撤退した。本講義では、米国のアフガン占領政策はなぜ失敗したのかを、イラク占領政策と比較しながら、考察する。特に、特殊部隊による「ゲリラ掃討戦」が住民の無差別殺戮を引き起こし、抵抗運動を激化させた問題に焦点を当てる。				
14	7月16日	本講座の纏めーQ&Aと併せてー	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	須藤 功
全体を通しての質疑応答の時間とする。この場での質問や意見表明の準備を毎回の授業のなかで可能な限り進めておくこと。各講師への質問があれば、後日回答をお願いする予定。				

3　履修上の注意

受講生の関心を喚起する講義内容とするが、内容自体は決して易しいものではない。国際社会の極めて流動的かつ複雑な様相を独自のアプローチから肉迫する講義内容は受講生諸君には衝撃的かも知れない。同時に知的刺激に溢れた講座となろう。それだけに能動的主体的な姿勢で講義に臨んで欲しい。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

可能な限り次週のプリントを配布するので目を通してから受講することを期待したい。講師毎にミニレポートの提出を求める。

5　教科書

特に指定しない。

6　参考書

＊横井勝彦編『冷戦期アジアの軍事と援助』（日本経済評論社、2021年）
纐纈 厚著『ロシアのウクライナ侵略と日本の安全保障』（日本機関紙出版センター、2022年）
横井勝彦著『国際武器移転の社会経済史』（日本経済評論社、2022年）
榎本珠良編『国際政治史における軍縮と軍備管理』（日本経済評論社、2017年）

7　課題に対するフィードバックの方法

授業時間中、または後日クラスウェッブを利用して行う。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

授業への貢献度３０％、提出物７０％を踏まえ、総合的に評価する。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門	政治経済学部・勝悦子

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
和泉	2	秋学期	火	3

1　授業の概要・到達目標

アジア、ヨーロッパ、アメリカで広く行われているカードゲーム「コントラクトブリッジ」の考察を通して、論理的な思考法など数理科学の基礎部分が理解できるようになる。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月24日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	勝 悦子
（講義と実習）トリックテイキングの基本的なルールを説明し、ソリッドアナーの価値を理解させる。 実習を通じて、カードプレイに慣れる。				
2	10月1日	ダミーの存在意義.オークションの実習とスコア比較による最終コントラクトの評価練習	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	清水　映樹
（講義と実習）オークションのルールとスコア体系について説明し、ゲームの目的を理解させる。 実習を通じて、ダミーの存在意義を実感させる。				
3	10月8日	ゲームの見通し.ミニブリッジによるハンドの価値の評価練習。その近似法	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	清水　映樹
（講義と実習）ハンド価値の近似法とキーナンバーについて説明し、HCPによる評価を理解させる。 実習を通じて、ハンド価値の近似法に慣れる。				
4	10月15日	スートエスタブリッシュの確率.トリックテイクの練習（ノートランプ・プレイ）	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	清水　映樹
（講義と実習）アナーの昇格やエスタブリッシュについて説明し、ウィナーの作り方を理解させる。 実習を通じて、ダミーと合わせて考えるトリックのとり方を実感させる。				
5	10月22日	トランプドローイングの確率.トリックテイクおよびコミュニケーションの練習（トランププレイ）	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	並木　亮
（講義と実習）ラフやドロートランプについて説明し、ルーザーの消し方を理解させる。 実習を通じて、ダミーとのコミュニケーションを実感させる。				
6	10月29日	カードロケーションの確率.ミニブリッジによるテクニック（フィネス）	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	並木　亮
（講義と実習）カードコンビネーションについて説明し、位置関係の意味を理解させる。 実習を通じて、リードするカードやカードを出す順番の大切さを実感させる。				
7	11月12日	HCPの分布。ブリッジのビッドとプレイの進め方.ビディングシステムの必要性	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	並木　亮
（講義と実習）ビディングシステムの成り立ちを説明し、ゲームの有無とトランプフィットの探し方を理解させる。 実習を通じて、インビテーションの判断やゲームビッドを実感させる。				
8	11月19日	ハンドパターンの確率.１スータハンドのビディングとプレイ	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	柳澤　彰子
（講義と実習）1スータハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。 実習を通じて、レスポンダーの判断と決断の必要性を実感させる。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月26日	スートフィットの期待値.バランスドハンドのビディングとプレイ	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	柳澤　彰子
（講義と実習）バランスハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。 実習を通じて、1NTオープンとステイマンの役割を実感させる。				
10	12月3日	最終コントラクトメイキングの確率.２スータハンドのビディングとプレイ	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	柳澤　彰子
（講義と実習）2スータハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。 実習を通じて、レスポンダーのリビッド以降のコミュニケーションを実感させる。				
11	12月10日	競り合いのビディング.売るか買うかの判断と確率計算。論理的な推論の練習	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	滝澤　淳
（講義と実習）オーバーコールとプリエンプトを説明し、コンペティティブなビッドを理解させる。 実習を通じて、競り合いとスコアの関係を実感させる。				
12	12月17日	ディフェンスの考え方.コミュニケーション.確率計算と論理的な推論の練習	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	滝澤　淳
（講義と実習）ディフェンスの約束事とセオリーを説明し、意味と役割を理解させる。 実習を通じて、ディフェンスにおけるコミュニケーションの大切さと効果を実感させる。				
13	1月14日	高級なプレイの説明.確率計算および推論.試合と分析	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	滝澤　淳
（講義と実習）スラムアプローチをについて説明し、高得点の狙い方を理解させる。 ホールドアップやアボイダンスなどについて解説し、実習を通じて、高等テクニックの威力を実感させる。				
14	1月21日	総括	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	勝 悦子
（実習）競技会形式の実習を行い、成長を実感させる。 ハンドレビューを通じて実戦の結果を振り返り、総合的な理解と知識の定着を図る。 これからもブリッジが学べる環境を紹介する。				

3　履修上の注意

コントラクトブリッジの基礎の習得を目指し、1チーム4人で一緒に学んでいく。内容は「積み重ね」であるから、欠席すると以降の授業についていけなくなり、他の受講者にも迷惑がかかる。
やむを得ず休む場合は、その前の回の授業までに必ず相談すること。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

毎回授業後に配付する「ハンド解説」「今週のトレッド」をよく読み、その日にプレイしたハンドをレビューし、その日のポイントを理解しておくこと。（60分～90分程度）
宿題として出された「プレイテクニックの確認」「ビディングシステムの確認」に取り組み、よく考える習慣をつけること。（20分～40分程度）

5　教科書

『ゼロからのコントラクトブリッジ』清水映樹（発行：エスアイビー・アクセス社、発売：星雲社）ISBN978-4-434-18379-9

6　参考書

『初歩からのコントラクトブリッジ』清水映樹（発行：エスアイビー・アクセス社、発売：星雲社）ISBN978-4-434-21262-8
『基礎からのコントラクトブリッジ』清水映樹（発行：エスアイビー・アクセス社、発売：星雲社）ISBN978-4-434-24029-4

7　課題に対するフィードバックの方法

宿題「プレイテクニックの確認」「ビディングシステムの確認」の答案を採点し解説資料を配布する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

レポート試験: 35%　第13回目にレポート試験問題を配付。第14回目に提出させ、授業内容全般に関し理解度を評価する。
平常点評価:　60%　授業に対する積極性および講義内容の理解度を実習の中で評価する。
その他:　5%　宿題としてパズル形式の問題やビッドの意味を問う三択問題を数回出し、翌週に提出させてプレイテクニックの習熟度およびビディングシステムの理解度を評価する。

9　その他

特になし

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
明治大学の歴史Ⅰ〔メディア授業〕			政治経済学部・冨澤成實	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
中野	2	春学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月12日	イントロダクション	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
【対面】講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月19日	明治大学の歴史・学部の歴史（明治・大正・昭和戦前）	所属・役職	法学部教授
			氏　名	村上一博
【メディア授業・オンデマンド型】明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
3	4月26日	明治大学の歴史・学部の歴史（昭和戦後・平成・令和）	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
【メディア授業・オンデマンド型】昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
4	5月10日	明治大学の創立者	所属・役職	文学部准教授
			氏　名	野尻泰弘
【メディア授業・オンデマンド型】明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
5	5月17日	留学生とグローバル化（１）	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
【メディア授業・オンデマンド型】1回目は台湾からの留学生を中心に講義する。あわせて、今日の国際化の問題について講義する。				
6	5月24日	留学生とグローバル化（２）	所属・役職	商学部教授
			氏　名	李英美
【メディア授業・オンデマンド型】2回目は韓国からの留学生を中心に講義する。				
7	5月31日	留学生とグローバル化（３）	所属・役職	商学部教授
			氏　名	三田剛史
【メディア授業・オンデマンド型】3回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
8	6月7日	明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
【メディア授業・オンデマンド型】1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月14日	映画界と校友たち	所属･役職	農学部教授
			氏　名	松下浩幸
【メディア授業・オンデマンド型】映画界で活躍した（または現在活躍する）明治大学の卒業生を監督・俳優を中心に紹介し、その業績を考察する。				
10	6月21日	キャンパスライフ	所属･役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
【メディア授業・オンデマンド型】学生たちの姿や視点から、明治大学の歴史について講義する。				
11	6月28日	校友山脈	所属･役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
【メディア授業・オンデマンド型】明治大学は卒業生を校友と称した最初の学校といわれている。特に経営面から大学を支え続けている校友会の歴史を講義するとともに、今日活躍する校友を紹介する。				
12	7月5日	明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属･役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
【メディア授業・オンデマンド型】生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
13	7月12日	阿久悠と阿久悠記念館	所属･役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
【メディア授業・オンデマンド型】明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
14	7月19日	総括と試験	所属･役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
【対面】全12回の講義を振り返り、対面による筆記試験を実施する。				

3　履修上の注意

第2回から第13回目のオンライン授業については、毎回小レポートの作成・提出を課す。学期末には対面方式での筆記試験を行う（ただし、教科書のみ持ち込みを認める）。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前に教科書を読んでおくこと。

5　教科書

明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』（DTP出版、2017年）

6　参考書

図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈　法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『同　アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同　法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『私学の誕生―明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、同編『明治大学小史人物編』（学文社、2011年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。

7　課題に対するフィードバックの方法

採点結果とその講評は、Oh-o!Meijiを通じて回答・発信する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

定期試験５０％、平常点５０％

9　その他

この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。この講義とあわせて、「明治大学の歴史Ⅱ」（駿河台・秋学期開講）を受講することが望ましい。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門	政治経済学部・勝悦子

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
中野	2	秋学期	火	3

1　授業の概要・到達目標

アジア、ヨーロッパ、アメリカで広く行われているカードゲーム「コントラクトブリッジ」の考察を通して、論理的な思考法など数理科学の基礎部分が理解できるようになる。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月16日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	勝 悦子
（講義と実習）トリックテイキングの基本的なルールを説明し、ソリッドアナーの価値を理解させる。 実習を通じて、カードプレイに慣れる。				
2	4月23日	ダミーの存在意義.オークションの実習とスコア比較による最終コントラクトの評価練習	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	清水　映樹
（講義と実習）オークションのルールとスコア体系について説明し、ゲームの目的を理解させる。 実習を通じて、ダミーの存在意義を実感させる。				
3	4月30日	ゲームの見通し。ミニブリッジによるハンドの価値の評価練習。その近似法	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	清水　映樹
（講義と実習）ハンド価値の近似法とキーナンバーについて説明し、HCPによる評価を理解させる。 実習を通じて、ハンド価値の近似法に慣れる。				
4	5月7日	スートエスタブリッシュの確率.トリックテイクの練習（ノートランプ・プレイ）	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	清水　映樹
（講義と実習）アナーの昇格やエスタブリッシュについて説明し、ウィナーの作り方を理解させる。 実習を通じて、ダミーと合わせて考えるトリックのとり方を実感させる。				
5	5月14日	トランプドローイングの確率.トリックテイクおよびコミュニケーションの練習（トランププレイ）	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	並木　亮
（講義と実習）ラフやドロートランプについて説明し、ルーザーの消し方を理解させる。 実習を通じて、ダミーとのコミュニケーションを実感させる。				
6	5月21日	カードロケーションの確率.ミニブリッジによるテクニック（フィネス）	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	並木　亮
（講義と実習）カードコンビネーションについて説明し、位置関係の意味を理解させる。 実習を通じて、リードするカードやカードを出す順番の大切さを実感させる。				
7	5月28日	HCPの分布。ブリッジのビッドとプレイの進め方.ビディングシステムの必要性	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	並木　亮
（講義と実習）ビディングシステムの成り立ちを説明し、ゲームの有無とトランプフィットの探し方を理解させる。 実習を通じて、インビテーションの判断やゲームビッドを実感させる。				
8	6月4日	ハンドパターンの確率.１スータハンドのビディングとプレイ	所属・役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	柳澤　彰子
（講義と実習）1スータハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。 実習を通じて、レスポンダーの判断と決断の必要性を実感させる。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月11日	スートフィットの期待値.バランスドハンドのビディングとプレイ	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	柳澤　彰子
（講義と実習）バランスハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。 実習を通じて、1NTオープンとステイマンの役割を実感させる。				
10	6月18日	最終コントラクトメイキングの確率.２スータハンドのビディングとプレイ	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	柳澤　彰子
（講義と実習）2スータハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。 実習を通じて、レスポンダーのリビッド以降のコミュニケーションを実感させる。				
11	6月25日	競り合いのビディング.売るか買うかの判断と確率計算。論理的な推論の練習	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	滝澤　淳
（講義と実習）オーバーコールとプリエンプトを説明し、コンペティティブなビッドを理解させる。 実習を通じて、競り合いとスコアの関係を実感させる。				
12	7月2日	ディフェンスの考え方。コミュニケーション.確率計算と論理的な推論の練習	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	滝澤　淳
（講義と実習）ディフェンスの約束事とセオリーを説明し、意味と役割を理解させる。 実習を通じて、ディフェンスにおけるコミュニケーションの大切さと効果を実感させる。				
13	7月9日	高級なプレイの説明.確率計算および推論.試合と分析	所属･役職	公益社団法人ＪＣＢＬインストラクター
			氏　名	滝澤　淳
（講義と実習）スラムアプローチをについて説明し、高得点の狙い方を理解させる。 ホールドアップやアボイダンスなどについて解説し、実習を通じて、高等テクニックの威力を実感させる。				
14	7月16日	総括	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	勝 悦子
（実習）競技会形式の実習を行い、成長を実感させる。 ハンドレビューを通じて実戦の結果を振り返り、総合的な理解と知識の定着を図る。 これからもブリッジが学べる環境を紹介する。				

3　履修上の注意

コントラクトブリッジの基礎の習得を目指し、1チーム4人で一緒に学んでいく。内容は「積み重ね」であるから、欠席すると以降の授業についていけなくなり、他の受講者にも迷惑がかかる。
やむを得ず休む場合は、その前の回の授業までに必ず相談すること。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

毎回授業後に配付する「ハンド解説」「今週のトレッド」をよく読み、その日にプレイしたハンドをレビューし、その日のポイントを理解しておくこと。（60分～90分程度）
宿題として出された「プレイテクニックの確認」「ビディングシステムの確認」に取り組み、よく考える習慣をつけること。（20分～40分程度）

5　教科書

『ゼロからのコントラクトブリッジ』清水映樹（発行：エスアイビー・アクセス社、発売：星雲社）ISBN978-4-434-18379-9

6　参考書

『初歩からのコントラクトブリッジ』清水映樹（発行：エスアイビー・アクセス社、発売：星雲社）ISBN978-4-434-21262-8
『基礎からのコントラクトブリッジ』清水映樹（発行：エスアイビー・アクセス社、発売：星雲社）ISBN978-4-434-24029-4

7　課題に対するフィードバックの方法

宿題「プレイテクニックの確認」「ビディングシステムの確認」の答案を採点し解説資料を配布する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

レポート試験: 35%　第13回目にレポート試験問題を配付。第14回目に提出させ、授業内容全般に関し理解度を評価する。
平常点評価:　60%　授業に対する積極性および講義内容の理解度を実習の中で評価する。
その他:　5%　宿題としてパズル形式の問題やビッドの意味を問う三択問題を数回出し、翌週提出させてプレイテクニックの習熟度およびビディングシステムの理解度を評価する。

9　その他

特になし

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
ASEAN Economy and Politics - focusing on Thailand and Vietnam 〔メディア授業（オンデマンド型）〕			School of Political Science and Economics, TAKEDA Takumi	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
Online Video Lecture	2	Fall Semester	—	—

1　授業の概要・到達目標

This course is designed to focus on current business, economic, political, and social issues in Thailand and Vietnam through online video lectures. Lectures will be given by four experts from our partner universities in Thailand and Vietnam. The language will be English. You will also be expected to submit four short term papers in English, so students with a sufficient command of English are encouraged to enroll in this course. The goal of this course is to provide students with a basic understanding of the current economic and political situation and the challenges facing the two countries, and to help students understand the growing economic and political importance of the region to Japan.

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月23日	Introduction (Explanation of course outline, grading methods, etc.)	所属・役職	Professor, School of Political Science and Economics
			氏　名	TAKEDA Takumi
The first lecture will introduce the four lecturers of the course, provide an overview of the course, explain the expected assignments, how your questions will be responded, and how grades will be assigned.				
2	9月30日	Business and Economy in Thailand (1)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Economics, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏　名	Dr. TANAMEE, Danai
What do you think of Thailand's economy: the origin of the 1997 Asian financial crisis, a major recipient of FDI from Japan, a flood of Japanese cars, many high-rise buildings in Bangkok, a tourism powerhouse, a middle-income trap, a widening income gap, a rapidly declining birthrate, etc.? The three classes will examine the country's current situation from different perspectives.				
3	10月7日	Business and Economy in Thailand (2)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Economics, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏　名	Dr. TANAMEE, Danai
What do you think of Thailand's economy: the origin of the 1997 Asian financial crisis, a major recipient of FDI from Japan, a flood of Japanese cars, many high-rise buildings in Bangkok, a tourism powerhouse, a middle-income trap, a widening income gap, a rapidly declining birthrate, etc.? The three classes will examine the country's current situation from different perspectives.				
4	10月14日	Business and Economy in Thailand (3)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Economics, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏　名	Dr. TANAMEE, Danai
What do you think of Thailand's economy: the origin of the 1997 Asian financial crisis, a major recipient of FDI from Japan, a flood of Japanese cars, many high-rise buildings in Bangkok, a tourism powerhouse, a middle-income trap, a widening income gap, a rapidly declining birthrate, etc.? The three classes will examine the country's current situation from different perspectives.				
5	10月21日	Thai Politics and Society (1)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Social Sciences, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏　名	Dr. NGARMKHAM, Nathiya
The political situation in Thailand is anything but stable. Since 1932, when Thailand became a constitutional monarchy, there have been 19 coup attempts. What is at the root of all this, and where is the country headed under the strong influence of China? The three classes will examine the country's current political situation, diplomacy and social issues from different perspectives.				
6	10月28日	Thai Politics and Society (2)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Social Sciences, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏　名	Dr. NGARMKHAM, Nathiya
The political situation in Thailand is anything but stable. Since 1932, when Thailand became a constitutional monarchy, there have been 19 coup attempts. What is at the root of all this, and where is the country headed under the strong influence of China? The three classes will examine the country's current political situation, diplomacy and social issues from different perspectives.				
7	11月11日	Thai Politics and Society (3)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Social Sciences, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏　名	Dr. NGARMKHAM, Nathiya
The political situation in Thailand is anything but stable. Since 1932, when Thailand became a constitutional monarchy, there have been 19 coup attempts. What is at the root of all this, and where is the country headed under the strong influence of China? The three classes will examine the country's current political situation, diplomacy and social issues from different perspectives.				
8	11月18日	Business and Economy in Vietnam (1)	所属・役職	Lecturer, Faculty of International Relations, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏　名	Dr. TRAN, Khang Nguyen
Vietnam has continued to develop rapidly with the introduction of Doi Moi in 1986, and the introduction of foreign capital, resulting in a booming manufacturing industry. The average age of the population is 33.3 years as of 2023, and Japanese companies continue to make inroads into the country. The three classes will discuss the current state of the Vietnamese economy and its prospects.				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月25日	Business and Economy in Vietnam (2)	所属・役職	Lecturer, Faculty of International Relations, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏　名	Dr. TRAN, Khang Nguyen
Vietnam has continued to develop rapidly with the introduction of Doi Moi in 1986, and the introduction of foreign capital, resulting in a booming manufacturing industry. The average age of the population is 33.3 years as of 2023, and Japanese companies continue to make inroads into the country. The three classes will discuss the current state of the Vietnamese economy and its prospects.				
10	12月2日	Business and Economy in Vietnam (3)	所属・役職	Lecturer, Faculty of International Relations, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏　名	Dr. TRAN, Khang Nguyen
Vietnam has continued to develop rapidly with the introduction of Doi Moi in 1986, and the introduction of foreign capital, resulting in a booming manufacturing industry. The average age of the population is 33.3 years as of 2023, and Japanese companies continue to make inroads into the country. The three classes will discuss the current state of the Vietnamese economy and its prospects.				
11	12月9日	Vietnamese Politics and Society (1)	所属・役職	Senior Lecturer, Faculty of Urban Studies, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏　名	Dr. SON, Tung Thanh
Vietnam is a socialist country with one-party rule by the Communist Party. While the economy is growing, it is necessary to focus on the disparities between urban and rural areas, poverty among ethnic minorities, problems in the informal sector, underdeveloped urban infrastructure, transportation problems and so on. The three classes will identify these issues and explore how to solve them.				
12	12月16日	Vietnamese Politics and Society (2)	所属・役職	Senior Lecturer, Faculty of Urban Studies, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏　名	Dr. SON, Tung Thanh
Vietnam is a socialist country with one-party rule by the Communist Party. While the economy is growing, it is necessary to focus on the disparities between urban and rural areas, poverty among ethnic minorities, problems in the informal sector, underdeveloped urban infrastructure, transportation problems and so on. The three classes will identify these issues and explore how to solve them.				
13	12月23日	Vietnamese Politics and Society (3)	所属・役職	Senior Lecturer, Faculty of Urban Studies, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏　名	Dr. SON, Tung Thanh
Vietnam is a socialist country with one-party rule by the Communist Party. While the economy is growing, it is necessary to focus on the disparities between urban and rural areas, poverty among ethnic minorities, problems in the informal sector, underdeveloped urban infrastructure, transportation problems and so on. The three classes will identify these issues and explore how to solve them.				
14	1月13日	Summary	所属・役職	Professor, School of Political Science and Economics
			氏　名	TAKEDA Takumi
The final lecture of this course will summarize the previous lectures by the four lecturers to ensure a solid understanding of the economy, business, politics, and society of Thailand and Vietnam.				

3　履修上の注意

This course is delivered via online video lectures in English. Therefore, students with a sufficient level of English are encouraged to take this course. In addition, students should ensure that they are able to take the course online. On-demand videos will be made available to students by 9:00 a.m. each Monday according to the schedule above. Questions and comments can be submitted using the Oh-o! Meiji system.

4　準備学習（予習・復習等）の内容

It is strongly recommended that each student conduct their own research on the topics presented in the syllabus.

5　教科書

Not specified.

6　参考書

Not specified.

7　課題に対するフィードバックの方法

The assignment is to write a short report (up to 2 pages, A4 size) on the content of each instructor's three lectures after the 4th, 7th, 10th, and 13th lectures. Each instructor will evaluate and comment on the submitted reports, and the comments will be posted on Oh-o! Meiji System.

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

After each instructor's lecture (a total of 4 times after the 4th, 7th, 10th, and 13th lectures), students will be asked to submit a short English report, and the content of the report will be evaluated (100%).

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
大学博物館の現場を実見する			駒　見　和　夫	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	月	2

1　授業の概要・到達目標

95年の歴史を持つ本学の博物館は、収蔵資料の充実や利用者サービスで大学博物館トップクラスの評価を得ており、その存在が明治大学の教育・研究活動を特色付けている。この講座では、学芸業務のケーススタディー、最先端の施設・設備の実見、アクティブラーニング型の課題制作（展示評価）などを通じて、博物館とその活動が大学の教育・研究活動において果たしている役割について理解を深めることを目的とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月　23日	イントロダクション（講座の概要、成績評価方法等の説明）／博物館の役割と機能	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	駒見和夫
近代のヨーロッパで成立したミュージアムの概念を紹介し、国際的なミュージアムの認識とわが国の博物館法での博物館定義を示して、博物館の目的と機能について解説する。またその比較から日本の博物館の特徴を述べる。そのうえで大学博物館の位置づけを示すとともに現在の博物館の多様な様子の一端を紹介し、これからの博物館の方向性と望むべきあり方を展望する。				
2	9月　30日	我が国における大学博物館の現状と明治大学博物館の歴史／期中課題（展示評価レポート）の告知	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	外山　徹
大学博物館の収蔵資料は、教育・研究活動の過程で学術資源として収集された資料が中心となるが、学外から受贈した個人コレクション、大学史関係資料、大学の教育理念に基づく資料など、その多岐にわたる性格について大学博物館全般の動向を検討する。そして、95年を数える歴史をもち私立大学では最も古い附属館の１つである明治大学博物館の歴史を概観する。				
3	10月　7日	博物館資料の形成１（考古資料：旧石器～縄文）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	島田和高
考古部門は、「明大考古学」の教育・研究の成果を、展示を通して体系的に公開している。1949年の岩宿遺跡発掘にはじまる「明大考古学」は、無言の遺物や遺跡から先史時代人の営みと文化の変遷を読み解いてきた。講義では、旧石器時代から縄文時代にわたるコレクションの形成を理解した上で常設展示を解説し、展示を「読み解く」作業を行う。				
4	10月　14日	博物館資料の形成２（考古資料：弥生～古墳）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	忽那敬三
日本列島における稲作の開始を追った調査で発掘された、壷形土器をはじめとする土器群からは、西から東へ稲作とともに土器の形が伝わっていくことがわかる。銅鐸・銅矛といった青銅器などは、技術革新をダイナミックに語る資料である。米作りの導入という生業の転換と、強い権力を持つ王の登場という弥生から古墳にかけての歴史の大きな変化を紹介する。				
5	10月　21日	博物館資料の形成３（商品関係資料：新素材標本から伝統的工芸品へ）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	外山　徹
商学部教員の研究グループによって1951年に設立された商品研究所が設置した展示施設「商品陳列館」をルーツに持つ展示室。当初は原材料標本や貿易商品、商品の製造工程を展示の眼目としたが、1950年代後半の地方物産品の収集を経て、非常に幅広い概念である“商品”の中でも、我が国の伝統的工芸品を収集・展示・研究の対象とするようになった経緯について解説する。				
6	10月　28日	博物館資料の形成４（刑事関係文献・歴史資料）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	日比佳代子
1929年に設立された刑事博物館のこれまでの歩みと、戦前・戦後の資料収集の方針や活動内容について論じる。刑事器物・古文書から構成される刑事部門の収蔵品体系を理解した上で、常設展示室で実際に資料を見ながら刑事部門の代表的な収蔵品について解説を加える。				
7	11月　11日	博物館の施設・設備	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	島田和高
博物館の施設・設備は、収集・保存、調査・研究、教育・普及という主要な機能に対し、最適な環境を用意する必要から一般の建築物とは異なった特殊な装置が随所に施されている。講義では、普段、一般来館者の立ち入りが制限されている収蔵部門や資料研究のための施設、また、来館者が普段目にする展示室や教室などにも備えられている様々な“しかけ”について実見する。				
8	11月　18日	博物館資料の保管と整理（考古資料・古文書資料）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	日比佳代子・忽那敬三
考古資料は、地中に埋まっていたものを掘り出し、土を洗い落とし、破損部分をつなぎ合わせて元の形に戻すという作業を経て初めて記録及び展示を行うことができる。破片からわかる特徴や、保管や展示が可能な状態に整理する方法を学ぶ。また、刑事部門が収蔵する古文書がどのように整理され目録化されていくのか、実際の古文書をみながら古文書整理の方法論について学び、古文書を保存・利用する前提として、どのような活動が行われているのかを知る。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月　25日	生涯学習と友の会活動	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	外山　徹
新世代の博物館は展示の観覧ばかりではなく、ギャラリートーク、見学会、体験型イベント、ミュージアムグッズなどさまざまな教育機会が考案されている。また、博物館は学習活動を通したコミュニティ形成の場としても考えられるようになっており、明治大学博物館における友の会活動を事例に生涯学習の場としての博物館利用のあり方について考察する。				
10	12月　2日	考古資料の発掘と調査・研究１（旧石器時代研究）／ 期中課題に対する講評１（旧石器・縄文展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	島田和高
現在の気候・植生・動物相とは異なる自然環境に適応していた氷河期の人類活動と歴史に焦点を当てる。ホモ・サピエンスの拡散や氷河時代の動植物や気候について、最新の研究データを紹介するとともに、明治大学博物館と明治大学黒耀石研究センターが取り組む先史時代のヒト―資源環境系研究（生活物資の開発とその変化）の成果を解説する。また、期中課題である展示評価レポートの内、旧石器・縄文展示分について講評する。				
11	12月　9日	考古資料の発掘と調査・研究２（埴輪研究）／ 期中課題に対する講評２（弥生・古墳展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	忽那敬三
筒形や人物、動物など様々な形をした埴輪は、墓である古墳の上に立て並べられ被葬者の葬儀の様子や生前の生活を表したものだと考えられている。館蔵資料である茨城県小美玉市玉里舟塚古墳から出土した埴輪を例に、周辺地域や関東、さらに近畿の大王の墓と考えられる古墳の埴輪などとの比較から、被葬者である地域の首長同士の関係や中央政権との関係について考える。また、期中課題である展示評価レポートの内、弥生・古墳展示分について講評する。				
12	12月　16日	古文書資料の調査・研究と資料公開／ 期中課題に対する講評３（刑事展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	日比佳代子
博物館は膨大な数の資料を持っているが、ただ持っているだけではそれらの貴重な資料は生きてこない。調査・研究を行って資料の性格を明らかにし、学術利用に適した形で資料情報を提供したり、展示などのより分かりやすい表現で市民向けに公開したりする事が必要である。ここでは、収蔵資料を素材にして、博物館における古文書の調査・研究のあり方について論じる。また、期中課題である展示評価レポートの内、刑事展示分について講評する。				
13	12月　23日	商品部門常設展の企画立案から制作まで／ 期中課題に対する講評４（商品展示）	所属･役職	博物館事務室・学芸員
			氏　名	外山　徹
博物館は現在３ヶ年計画で常設展示の刷新に取り組んでいる。2024年3月に完了した「商品」の展示を事例に、展示の原案、企画、調査・研究、新規展示資料の収集活動、展示列品計画など、展示刷新までの準備過程を紹介し、大学博物館における展示活動の意義について考える。また、期中課題である展示評価レポートの内、商品展示分について講評する。				
14	1月　20日	総括　ふりかえりと意見交換	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	駒見和夫
前回までの全13講の内容についてふりかえり、受講の成果を受講者間で共有化する。印象に残った点、受講によって新たに得られた知見について、受講者各人が個別に口頭発表し、今後、博物館・美術館とどのような関わりを持ってゆくべきかを討論する。				

３　履修上の注意

積極的に外部の博物館・美術館に関する見聞を広めるようにすること。
平常点を重視するので10回以上の出席を被評価資格とする。

４　準備学習（予習・復習等）の内容

駿河台キャンパス・アカデミーコモン地下２階にある博物館常設展示室の３部門の展示をあらかじめ見学し内容を理解しておくこと。授業に関わる印刷物をあらかじめOh-o!Meijiクラスウェブに掲載するので、当該回の内容に目を通しておくこと。

５　教科書

授業のそのつど必要に応じて印刷物を配布する。

６　参考書

倉田公裕・矢島國雄『新編 博物館学』東京堂出版、1997
駒見和夫『だれもが学べる博物館へ』学文社、2008
明治大学博物館『常設展示ガイドブック』明治大学博物館、2016改訂版

７　課題に対するフィードバックの方法

期中課題（第２回授業時に提示する展示評価レポート）に対し第10～13回授業で講評をおこなう。

８　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末レポート（期中課題を修正・再提出するもの）74%、授業各回のコメントペーパー記入による平常点26%。

９　その他

第８回「博物館資料の保管と整理」では汚れてもよい服装とするか、またはエプロンを持参すること。手が荒れやすい学生はゴム手袋を用意すること。また、ハウスダスト・アレルギーの心配のある学生はマスクを着用すること。施設の実見、また、収蔵資料の取扱いの関係から受講定員を24名とする。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
登戸研究所から考える戦争と平和	文学部・山田　朗

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	2

1　授業の概要・到達目標

明治大学生田キャンパスは、陸軍登戸研究所の跡地に立地している。この研究所が何故に設置され、そこではどのような兵器の開発が秘密裏に行われていたのかを多角的に検証する。登戸研究所の活動を知ることは、戦争には必ず存在する裏面（一般に秘匿され報道されない側面）から戦争の全体像を捉え直すことであり、戦争と科学技術との関係をあらためて検証することでもある。登戸研究所の全体像を伝え、戦争と平和、戦争と科学技術の関係性、過去の歴史を直視し、歴史の記憶を継承する取り組みのあり方について主体的に考える機会にしたい。登戸研究所と資料館に関する基礎的な知識を修得し、戦争と平和の関係について冷静に判断する能力を養うことを到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月26日	講座の概要、成績評価方法等の説明／平和創造のために戦争と登戸研究所を学ぶ意義	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗
平和を創造するためには、平和を破壊する国際的な緊張状態や戦争そのものの原因・構造・結果を知っておく必要がある。陸軍登戸研究所がかかわった〈秘密戦〉という分野は、戦争の裏面・暗部といえるところである。注目をあびないが、戦争には必ずこういった側面がともなうという点では、戦争の本質、国際政治の内実を示しているともいえる。				
2	10月3日	登戸研究所と科学者・技術者たち	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二
登戸研究所は、陸軍科学研究所が母体につくられた。第一次世界大戦から学んだ陸軍は科学を武器に活用するために優秀な科学者・技術者をそこに動員した。とりわけ登戸研究所はそのなかで秘密戦を担当する研究所だったため、日本国内の各大学から研究者、技術者などが勤務することとなり、同時に官・軍・産・学の共同プロジェクトが築かれた。その実相を考えたい。				
3	10月10日	登戸研究所の秘密戦（1）風船爆弾と電波兵器	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二
登戸研究所の研究・開発した兵器に風船爆弾がある。敗色が濃くなった日本は秘密兵器として、和紙の気球を水素ガスでふくらましたものを偏西風にのせてアメリカ本土に飛ばそうとした。爆弾としては、当初は生物兵器を使用することで登戸研究所で開発した。その他登戸研究所では電波兵器の開発も行っていた。こうした秘密兵器をどう開発してたか考えたい。				
4	10月17日	登戸研究所の秘密戦（2）スパイ用品と生物化学兵器□	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二
登戸研究所は陸軍中野学校出身の特務機関の要員が必要とする秘密兵器を研究・開発していた。第一科では無線機や盗聴器などの物理的な兵器、第二科では生物化学兵器や秘密カメラなどを開発していた。そしてこれらの兵器を使用しての防諜・諜報・謀略・宣伝などの作戦が展開された。こうした研究がどのような人によって、どう開発されたかを考えたい。				
5	10月24日	登戸研究所の秘密戦（3）偽札製造と偽札作戦	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二
登戸研究所で最も秘密にされていたのは第三科であった。このセクションは、板べいで囲まれ、他の科員にも秘密にされていた。ここでは日中戦争で泥沼化したことを打開するために中国国民政府の法幣の偽造紙幣を製造し使用した。その額45億元であった。どのような目的で、どのような形で使用したか、中国側はそれにどう対応したか考えたい。				
6	11月7日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ①　沖縄戦から米軍基地問題	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一□
第6回～第9回は、「戦争と社会～過去と現在をつなぐ」と題して、登戸研究所で扱われている戦争の過去の遺産がどのように現代の社会問題につながっているのかを考える。今年度は沖縄と核兵器問題をおもに取り上げ、戦争と平和の関係性を判断する能力を養っていきたい。第6回は、沖縄戦の教訓である「軍隊は住民を守らない」歴史的経験から、米軍基地の存続と集中の実相、そして「命どぅ宝」の思想に支えられた平和への想いと行動を振り返る。				
7	11月14日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ②　日米安保体制と憲法九条	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一
戦後75年以上経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害				
8	11月21日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ③　ヒロシマ・ナガサキから核兵器禁止条約へ	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一
2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、化学兵器や生物兵器などの大量殺戮兵器を禁止する国際条約の流れを振りかえることで、核兵器禁止条約のもつ可能性を探る。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月28日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ④　被爆者による反核運動のこれまでとこれから	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一
核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。				
10	12月5日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(1)：日本軍の軍事思想と兵器	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗
登戸研究所は陸軍の〈秘密戦〉用の兵器・資材を開発した機関である。そこで開発された兵器・資材には、日本陸軍のどのような軍事思想が反映しているのか。日露戦争によって形成された陸軍の軍事思想の〈基本路線〉（歩兵中心・少数精鋭・攻勢主義）とそれを補完する〈補助手段〉の関係性、〈補助手段〉としての〈秘密戦〉兵器のあり方について考察する。				
11	12月12日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(2)：日本軍の秘密戦の歴史	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗
近代日本における〈秘密戦〉の歴史について日清・日露戦争期からアジア太平洋戦争敗戦までを検証する。とりわけ、諜報要員による人的諜報（情報収集）・謀略（破壊・暗殺工作）に焦点をあて、1935-36年頃を契機とする世界的な〈秘密戦〉の活発化の中で、日本陸軍がどのような兵器・資材開発と人材養成に力をいれたのかを確認する。				
12	12月19日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(3)：民間人と産業の動員	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗
〈秘密戦〉は、民間人や一般企業と無縁な分野のように思われるが、風船爆弾の製造には多くの女学生が動員されたことから分かるように、実際には多くの民間人・企業が動員された。本講では、「紙と戦争」に焦点をあてて風船爆弾の製造に動員された民間人や一般企業の実態に迫り、そのようなことを可能にした国家総動員体制について迫りたい。				
13	1月9日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(4)：証拠隠滅と戦後	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗
敗戦直後、登戸研究所を始めとする軍施設では、大量に書類が焼却され、製造された兵器・資材が破壊・廃棄された。これは、多分に連合軍側に知られることを不利とされる情報・物的証拠の隠滅工作であった。しかし、米軍の尋問を受けた登戸研究所の多くの研究者たちは、情報提供とひきかえに免責され、場合によっては米軍内であらたに「任務」が与えられた。これらのことについて検証する。				
14	1月16日	総括：登戸研究所から考える戦争と平和	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗
授業の総括として、登戸研究所から戦争と平和について考察する。				

3　履修上の注意

講義途中の入室・退出は原則として認めない。私語が甚だしい場合など、退席してもらうことがある。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前にテキストを読んで、事実関係と論点を整理しておくこと。また、期末レポート提出までに、生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館を見学し、その展示内容について把握しておくこと。

5　教科書

山田朗・渡辺賢二・齋藤一晴『登戸研究所から考える戦争と平和』（芙蓉書房、2011年）、山田朗・師井勇一編『平和創造学への道案内』（法律文化社、2021年）

6　参考書

明治大学平和教育登戸研究所資料館編『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』（明治大学出版会、2012年）、その他の参考文献は、必要に応じて講義の際に紹介・解説する。

7　課題に対するフィードバックの方法

課題を出した場合には、Oh-o!Meijiによってフィードバックする。質問に対する回答も同様である。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

期末レポート（60%）と平常点（40%）によって評価する。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
シェイクスピアの現代的魅力			文学部　井上優	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
和泉	2	春学期	金	5

1　授業の概要・到達目標

劇作家シェイクスピア（1564－1616）が400年前のロンドンの劇場のために書き下ろした劇作品群は、時代を超えて現代でも愛読され、言語の壁も飛び越えて世界各地で上演が行われています。シェイクスピアの研究や上演に携わるさまざまな人たちを講師に招いてその魅力の源を探るのがこの授業の目的です。
また、この授業の受講生の中から有志を募って毎年秋に行っているシェイクスピア上演のプロジェクト（明治大学シェイクスピアプロジェクト）では、今年度、『お気に召すまま』を上演する予定ですので、それを前提に講座を設定しています。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月　12日	講座の概要、成績評価方法等の説明 および劇作家・演劇人シェイクスピアの概要の説明	所属・役職	文学部専任教授
			氏　名	井上　優
受講生の皆さんが「シェイクスピアをまったく知らない学生たちである」という前提で、この講座のイントロダクションをかねて、シェイクスピアとはいかなる作家で、どのような作品を残したのか、またいかにその彼の生きていた時代を超えて現代に至るまで愛され続けているかを講義します。また、この講座を受けるにあたっての準備について話していきたいと考えていますので、受講を考えている学生は必ず出席するようにしてください。 【講師紹介】井上は文学部教授。本講座およびシェイクスピアプロジェクトのコーディネイターでもある。専門はヨーロッパ演劇史・演劇理論。				
2	4月　19日	シェイクスピアの悲劇の楽しみ	所属・役職	開智国際大学　教授
			氏　名	安田　比呂志
ある国語辞典は、「悲劇」を「悲惨なできごとを描いた演劇」と定義している。しかし、この定義だけでは、常に人々の心を魅了する「悲劇」の魅力を知ったことにはならないであろう。本講義では、「悲劇」の魅力について考えることを目的とし、「悲劇」が本来持ち得る魅力について考える。その上で、シェイクスピアの特に四大悲劇が持つ独自性や魅力について考える。 【講師紹介】安田比呂志先生は開智国際大学教授。専門はシェイクスピア・イギリス演劇。				
3	4月　26日	シェイクスピアの歴史劇の楽しみ	所属・役職	元青山学院大学教授
			氏　名	狩野　良規
シェイクスピアの歴史劇は全10編、イングランド中世末期に起こったバラ戦争という内乱（1455－85）とその原因になった事件に取材した作品がほとんどです。よそ様の国の歴史でもあり、日本人には馴染みが薄いかもしれませんが、実はシェイクスピアの悲劇も喜劇も、その原型は歴史劇に見出せます。シェイクスピアの作家性を考える際に避けては通れないイングランド史劇の魅力について講義します。 【講師紹介】狩野良規先生は元青山学院大学教授。専門はイギリス文学・演劇・映画。				
4	5月　10日	シェイクスピアの問題劇の楽しみ	所属・役職	文学部専任教授
			氏　名	井上　優
シェイクスピア作品には「悲劇・喜劇・歴史劇」のシンプルな分類から洩れてしまうサブジャンルが、後世研究者によって規定されました。そのうちの一つが「問題劇」というジャンルですが、作品としては不人気で上演もあまりありませんでした。しかし、このジャンルは特に今日的な面白みを持ってもいて、近年見直しが進んでいます。その魅力を概観します。 なおこの日に『お気に召すまま』の内容に関する小テストを行う予定です。				
5	5月　17日	朗読で聞く『お気に召すまま』の世界	所属・役職	東京シェイクスピアカンパニー
			氏　名	江戸　馨
言葉の音楽性、想像力を掻き立てるドラマ展開など、シェイクスピア劇以上に朗読に適したテキストはありません。俳優さんたちの声を通して聞くと、キャラクターたちの姿が立体的に浮かび上がってきます。その様子をお楽しみください。 【講師紹介】江戸馨先生は劇団東京シェイクスピアカンパニー主宰。シェイクスピアの本格上演のほか、朗読公演も行っている。				
6	5月　24日	『お気に召すまま』を読み解く（仮）	所属・役職	文学部専任教授
			氏　名	野田　学
『お気に召すまま』の魅力について，主にシェイクスピアの言語・世界観の側面から読み解いていきます。 【講師紹介】野田先生は文学部教授，演劇評論家。専門はイギリス演劇。				
7	5月　31日	シェイクスピアの翻訳――『お気に召すまま』の場合 論家	所属・役職	翻訳家・演劇評
			氏　名	松岡　和子
シェイクスピア全作品の翻訳に取り組んできた経験から、シェイクスピアの英語を日本語に移し替える場合、どのような配慮が必要かを考察します。 【講師紹介】松岡和子先生は演劇評論家・翻訳家。2021年シェイクスピア作品全翻訳を完成された。				
8	6月　7日	『お気に召すまま』の上演①　イギリスの場合	所属・役職	商学部　専任准教授
			氏　名	今野　史昭

回	日　程	テーマ	担当者	
『お気に召すまま』』の上演史の概説を行います。主に英米の舞台で、この劇はどのように上演されてきたのかを概観します。 【講師紹介】今野史昭先生は本学商学部専任准教授。専門はイギリス文学・イギリス演劇。				
9	6月　14日	『お気に召すまま』の映画	所属・役職	東京工業大学准教授
			氏　名	小泉勇人
『お気に召すまま』の映画化作品の魅力を、“アダプテーション”という分析の視点から探ります。 【講師紹介】小泉勇人先生は東京工業大学准教授。専門はシェイクスピア、イギリス演劇。シェイクスピアの現代の翻案作品も含めての映画化作品を主に研究している。				
10	6月　21日	シェイクスピア喜劇を演出する	所属・役職	演出家（文学座）
			氏　名	鵜山仁
シェイクスピアの一連の作品を実際に演出した経験から，演出家の立場からシェイクスピア演出の面白さ・魅力について語ります。 【講師紹介】鵜山仁先生は劇団文学座所属の演出家。井上ひさしやシェイクスピア作品など，様々な作家の作品を手がけている。				
11	6月　28日	シェイクスピア喜劇の世界――『お気に召すまま』を中心に	所属・役職	文学部専任教授
			氏　名	井上優
シェイクスピア作品を題材とした映画は多数あります。しかし、何故か喜劇作品には成功作が多くありません。それはなぜでしょうか。その観点からシェイクスピア喜劇の面白さに迫っていきたいと思います。				
12	7月　5日	『お気に召すまま』と日本――翻案作品を中心に	所属・役職	文学部専任教授
			氏　名	井上優
『お気に召すまま』は明治期に宇田川文海により『汝所好』というタイトルで新聞連載された（1888年）。宇田川はそれ以前に『ヴェニスの商人』を『何櫻彼櫻銭世中』というタイトルで翻案しているが、こちらが徹底的に歌舞伎化したものであるのに『汝所好』はかなり原作を忠実になぞっている。その魅力を探りつつ、“翻案”というプロセスの面白みを探っていきたい。				
13	7月　12日	『お気に召すまま』を読んでみよう	所属・役職	俳優・ナレーター
			氏　名	西村　俊彦
舞台のために書かれたシェイクスピアのセリフの魅力は、何より実際に声に出して読んでみることで味わえるものです。授業の形態上限界はありますが、可能な限り多くの人に、『お気に召すまま』のセリフ・場面を実際に声に出してもらい、そこから立ち上がる情景を体感してもらいます。 【講師紹介】西村先生は俳優・ナレーターであり、明治大学リバティ・アカデミー講師も務める。				
14	7月　19日	総括	所属・役職	文学部専任教授
			氏　名	井上　優
春学期全体の内容を、試験の形式で振り返ります。前半に試験を行い、後半の時間を振り返り、答え合わせの時間とし、春学期全体の講義の要点を振り返っていきます。				

3　履修上の注意

8回以上出席しないと試験の受験資格はありません。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

開講後に教科書を購入のうえ、しっかりと読んでおくこと。5月以降の授業の理解につながります。また、授業にはテキストを持参し、読み返すようにしてください。

5　教科書

『お気に召すまま』（ちくま文庫）が望ましい。場合によっては角川文庫でも可とする。

6　参考書

適宜指示する。

7　課題に対するフィードバックの方法

最後の振り返りの回に質問・疑問に対応します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

平常点を50パーセント評価します。ただし、上記のように8回以上出席しないと試験の受験資格はありません。試験の成績を50点満点とし、平常点とあわせて100点満点で評価します。試験は持ち込み可とします。

9　その他

秋学期には、受講者有志による明治シェイクスピア・プロジェクトにより『お気に召すまま』の上演を予定しています。本講座の受講生の中から出演者・スタッフを募ります。関心のある学生の積極的な参加を求めます。

また、5月11日（土）に明治大学シェイクスピアプロジェクトの明大付属八王子高校での出張公演（『ロメオ、エンド、ジュリエット』）があります。一般観劇可能なので、任意ですが、こちらに参加してくれてレポートを書いてくれた方には出席点を加点します。
同様に、6月に、講師として出講していただく鵜山仁先生演出の文学座公演『オセロー』公演があります。こちらも同様の措置を取ります。
劇場でのシェイクスピアを、この機会にぜひ積極的に体験してください！

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
登戸研究所から考える戦争と平和	文学部・山田　朗

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	春学期	木	2

1　授業の概要・到達目標

明治大学生田キャンパスは、陸軍登戸研究所の跡地に立地している。この研究所が何故に設置され、そこではどのような兵器の開発が秘密裏に行われていたのかを多角的に検証する。登戸研究所の活動を知ることは、戦争には必ず存在する裏面（一般に秘匿され報道されない側面）から戦争の全体像を捉え直すことであり、戦争と科学技術との関係をあらためて検証することでもある。登戸研究所の全体像を伝え、戦争と平和、戦争と科学技術の関係性、過去の歴史を直視し、歴史の記憶を継承する取り組みのあり方について主体的に考える機会にしたい。登戸研究所と資料館に関する基礎的な知識を修得し、戦争と平和の関係について冷静に判断する能力を養うことを到達目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月11日	講座の概要，成績評価方法等の説明／平和創造のために戦争と登戸研究所を学ぶ意義	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗

平和を創造するためには、平和を破壊する国際的な緊張状態や戦争そのものの原因・構造・結果を知っておく必要がある。陸軍登戸研究所がかかわった〈秘密戦〉という分野は、戦争の裏面・暗部といえるところである。注目をあびないが、戦争には必ずこういった側面がともなうという点では、戦争の本質、国際政治の内実を示しているともいえる。

2	4月18日	登戸研究所と科学者・技術者たち	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二

登戸研究所は、陸軍科学研究所が母体につくられた。第一次世界大戦から学んだ陸軍は科学を武器に活用するために優秀な科学者・技術者をそこに動員した。とりわけ登戸研究所はそのなかで秘密戦を担当する研究所だったため、日本国内の各大学から研究者、技術者などが勤務することとなり、同時に官・軍・産・学の共同プロジェクトが築かれた。その実相を考えたい。

3	4月25日	登戸研究所の秘密戦（1）風船爆弾と電波兵器	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二

登戸研究所の研究・開発した兵器に風船爆弾がある。敗色が濃くなった日本は秘密兵器として、和紙の気球を水素ガスでふくらましたものを偏西風にのせてアメリカ本土に飛ばそうとした。爆弾としては、当初は生物兵器を使用することで登戸研究所で開発した。その他登戸研究所では電波兵器の開発も行っていた。こうした秘密兵器をどう開発してたか考えたい。

4	5月9日	登戸研究所の秘密戦（2）スパイ用品と生物化学兵器	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二

登戸研究所は陸軍中野学校出身の特務機関の要員が必要とする秘密兵器を研究・開発していた。第一科では無線機や盗聴器などの物理的な兵器、第二科では生物化学兵器や秘密カメラなどを開発していた。そしてこれらの兵器を使用しての防諜・諜報・謀略・宣伝などの作戦が展開された。こうした研究がどのような人によって、どう開発されたかを考えたい。

5	5月16日	登戸研究所の秘密戦（3）偽札製造と偽札作戦	所属・役職	登戸研究所資料館　展示専門委員
			氏　名	渡辺賢二

登戸研究所で最も秘密にされていたのは第三科であった。このセクションは、板べいで囲まれ、他の科員にも秘密にされていた。ここでは日中戦争で泥沼化したことを打開するために中国国民政府の法幣の偽造紙幣を製造し使用した。その額45億元であった。どのような目的で、どのような形で使用したか、中国側はそれにどう対応したか考えたい。

6	5月23日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ①　沖縄戦から米軍基地問題	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一

第6回～第9回は、「戦争と社会～過去と現在をつなぐ」と題して、登戸研究所で扱われている戦争の過去の遺産がどのように現代の社会問題につながっているのかを考える。今年度は沖縄と核兵器問題をおもに取り上げ、戦争と平和の関係性を判断する能力を養っていきたい。第6回は、沖縄戦の教訓である「軍隊は住民を守らない」歴史的経験から、米軍基地の存続と集中の実相、そして「命どぅ宝」の思想に支えられた平和への想いと行動を振り返る。

7	5月30日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ②　日米安保体制と憲法九条	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一

戦後75年以上経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害

8	6月6日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ③　ヒロシマ・ナガサキから核兵器禁止条約へ	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一

2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、化学兵器や生物兵器などの大量殺戮兵器を禁止する国際条約の流れを振りかえることで、核兵器禁止条約のもつ可能性を探る。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月13日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ④　被爆者による反核運動のこれまでとこれから	所属・役職	国際日本学部・客員講師
			氏　名	師井勇一

核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。

10	6月20日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(1)：日本軍の軍事思想と兵器	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗

登戸研究所は陸軍の〈秘密戦〉用の兵器・資材を開発した機関である。そこで開発された兵器・資材には、日本陸軍のどのような軍事思想が反映しているのか。日露戦争によって形成された陸軍の軍事思想の〈基本路線〉（歩兵中心・少数精鋭・攻勢主義）とそれを補完する〈補助手段〉の関係性、〈補助手段〉としての〈秘密戦〉兵器のあり方について考察する。

11	6月27日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(2)：日本軍の秘密戦の歴史	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗

近代日本における〈秘密戦〉の歴史について日清・日露戦争期からアジア太平洋戦争敗戦までを検証する。とりわけ、諜報要員による人的諜報（情報収集）・謀略（破壊・暗殺工作）に焦点をあて、1935-36年頃を契機とする世界的な〈秘密戦〉の活発化の中で、日本陸軍がどのような兵器・資材開発と人材養成に力をいれたのかを確認する。

12	7月4日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(3)：民間人と産業の動員	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗

〈秘密戦〉は、民間人や一般企業と無縁な分野のように思われるが、風船爆弾の製造には多くの女学生が動員されたことから分かるように、実際には多くの民間人・企業が動員された。本講では、「紙と戦争」に焦点をあてて風船爆弾の製造に動員された民間人や一般企業の実態に迫り、そのようなことを可能にした国家総動員体制について迫りたい。

13	7月11日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(4)：証拠隠滅と戦後	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗

敗戦直後、登戸研究所を始めとする軍施設では、大量に書類が焼却され、製造された兵器・資材が破壊・廃棄された。これは、多分に連合軍側に知られることを不利とされる情報・物的証拠の隠滅工作であった。しかし、米軍の尋問を受けた登戸研究所の多くの研究者たちは、情報提供とひきかえに免責され、場合によっては米軍内であらたに「任務」が与えられた。これらのことについて検証する。

14	7月18日	総括：登戸研究所から考える戦争と平和	所属・役職	文学部・教授
			氏　名	山田　朗

授業の総括として、登戸研究所から戦争と平和について考察する。

3　履修上の注意

講義途中の入室・退出は原則として認めない。私語が甚だしい場合など、退席してもらうことがある。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

事前にテキストを読んで、事実関係と論点を整理しておくこと。また、期末レポート提出までに、生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館を見学し、その展示内容について把握しておくこと。

5　教科書

山田朗・渡辺賢二・齋藤一晴『登戸研究所から考える戦争と平和』（芙蓉書房、2011年）、山田朗・師井勇一編『平和創造学への道案内』（法律文化社、2021年）

6　参考書

明治大学平和教育登戸研究所資料館編『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』（明治大学出版会、2012年）、その他の参考文献は、必要に応じて講義の際に紹介・解説する。

7　課題に対するフィードバックの方法

課題を出した場合には、Oh-o!Meijiによってフィードバックする。質問に対する回答も同様である。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

期末レポート（60%）と平常点（40%）によって評価する。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
明治大学の歴史Ⅰ［メディア授業科目］	文学部・高田幸男

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	春学期	金	4

1　授業の概要・到達目標

本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月12日	イントロダクション〔対面〕	所属・役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月19日	明治大学校歌〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				
3	4月26日	明治大学の創立者〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	文学部准教授
			氏　名	野尻泰弘
明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
4	5月10日	明治大学の歴史・学部の歴史（明治・大正・昭和戦前）〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	法学部教授
			氏　名	村上一博
明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
5	5月17日	明治大学の歴史・学部の歴史（昭和戦後・平成・令和）〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
6	5月24日	校友山脈〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	博物館事務室職員
			氏　名	阿部裕樹
明治大学は卒業生を校友と称した最初の学校といわれている。特に経営面から大学を支え続けている校友会の歴史を講義するとともに、今日活躍する校友を紹介する。				
7	5月31日	明治大学平和教育登戸研究所資料館〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	文学部教授
			氏　名	山田朗
生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
8	6月7日	阿久悠と阿久悠記念館〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属・役職	政治経済学部教授
			氏　名	冨澤成實
明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月14日	キャンパスライフ〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属･役職	博物館事務室職員
			氏　名	古俣達郎
学生たちの姿や視点から、明治大学の歴史について講義する。				
10	6月21日	映画界と校友たち〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属･役職	農学部教授
			氏　名	松下浩幸
映画界で活躍した（または現在活躍する）明治大学の卒業生を監督・俳優を中心に紹介し、その業績を考察する。				
11	6月28日	留学生とグローバル化（１）〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属･役職	商学部教授
			氏　名	三田剛史
1回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
12	7月5日	留学生とグローバル化（２）〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属･役職	商学部教授
			氏　名	李英美
2回目は韓国からの留学生を中心に講義する。				
13	7月12日	留学生とグローバル化（３）〔メディア授業（オンデマンド型）〕	所属･役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
3回目は台湾からの留学生を中心に講義する。あわせて、今日の国際化の問題について講義する。				
14	7月19日	総括と試験〔対面〕	所属･役職	文学部教授
			氏　名	高田幸男
全12回の講義を振り返り、対面による筆記試験を実施する。				

３　履修上の注意

第2回から第13回の講義動画については、講義当日の15時～22時に限り公開する。第2回から第13回までの講義では、毎回小レポートの作成・提出を課す（提出期限は当日23時）。学期末には対面方式での筆記試験を行う（ただし、教科書のみ持ち込みを認める）。

４　準備学習（予習・復習等）の内容

事前に教科書を読んでおくこと。

５　教科書

明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』（DTP出版、2017年）

６　参考書

図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈　法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『同　アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同　法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『私学の誕生―明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、同編『明治大学小史人物編』（学文社、2011年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。

７　課題に対するフィードバックの方法

採点結果とその講評は、Oh-o!Meijiを通じて回答・発信する。

８　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

定期試験５０％、平常点５０％

９　その他

この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。この講義とあわせて、「明治大学の歴史Ⅱ」（駿河台・秋学期開講）を受講することが望ましい。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
ローカルスタンダードをデザインする（環境人文学Ｉ）	理工学部・鞍田崇

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	春学期	水	4

1　授業の概要・到達目標

地球環境問題をはじめ、現代の社会問題は、多様性を損ない画一化へと邁進するグローバル化の「ひずみ」といえます。ひずんだ社会を変革する道筋を考えるのが「環境人文学」のねらい。でも、どうすればよいか。すでに多くの取り組みがなされています。何より多くの人が問題に気がついています。でも、動こうとしない。問うべき点はここにあります。人々を社会変革へといざなう駆動力となるもの、それをここでは、地域社会への共感を促す「ローカルスタンダード」の確立と、そうした共感の端緒となる「インティマシー」という感性に求めます。本学期はこのうち前者を扱い、そもそもなぜいまローカルかを考えます。＊インティマシーは秋学期に扱います。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月 10日	なぜいまローカルか?	所属・役職	ソトコト編集長 / コーディネーター
			氏　名	指出 一正／鞍田 崇

「ローカルスタンダード」は、地域固有でありかつ普遍的な価値。地域に徹底的にこだわることで、むしろ域外の人々からも共感される普遍性を獲得する、そういう意味です。しかしなぜいまローカルなのでしょうか。20年前「ロハス」という言葉を紹介し、代表的なエコマガジンと目されてきた『ソトコト』は、2012年から「ソーシャル」をエコと並ぶ基軸とし、現在は「関係人口」と「サスティナビリティ」「ウェルビーイング」の視点を踏まえ、ローカルな現場の様々な取り組みの紹介・分析を手がけてきました。今後こうした動向はどこへ向かうのか。編集長の指出さんといっしょに考えます。

2	4月 17日	タンザニアの商人から考える、これからの経済	所属・役職	立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授
			氏　名	小川 さやか

従来の資本主義システムのあり方が耐用年数に達しているように見えるいま、新たな経済・社会システムの構築が求められています。その一方で、とりわけ日本社会の現状を顧みると、既存のシステムの枠内での発想に囚われてしまい、袋小路に陥っているような感もあります。そもそも私たちは、いかなるスタンスや方法で経済活動とかかわっていくべきなのでしょうか？　小川さやかさんが深く入りこんでこられたタンザニアのインフォーマル経済の具体例から、いっしょに考えていきたいと思います。

3	4月 24日	庭の話――これからの「場」をどう設計するか	所属・役職	批評家 planets 編集長
			氏　名	宇野 常寛

インターネットはSNSプラットフォームの登場により、社会の基礎インフラとして定着しました。しかしその強すぎる力は人類を解放すると同時に縛り付けてもいます。では、どうすればいいのか？そうした問題意識に立ちながら現代社会と対峙されている宇野常寛さんと一緒に、この問題を実空間／サイバースペースの双方から考えていきます。

4	5月 8日	衣服と人の関係を考える	所属・役職	unisteps 共同代表
			氏　名	鎌田 安里紗

衣食住という言葉もあるように、人の生活において欠かせない存在である衣服。その生産過程で自然環境や労働者にかかる負荷や大量生産・消費・廃棄が問題となっています。一方で、衣服が作られる現場に足を運ぶと、その工程の美しさや工夫の積み重ねに、ものを生み出すことの尊さを感じます。衣服とどのように関わっていけば、私たちの生活や未来が健やかであれるのか、共に考える時間を持てればと思います。

5	5月 15日	日本のまちで屋台が踊る	所属・役職	カモメ・ラボ代表 橋ノ上ノ屋台共同店主
			氏　名	今村 謙人

仮設で実験的である屋台。昔から見るような屋台ではなく、もっと軽やかに屋台をひく人が増えています。屋台をやることで見えてくる新しい暮らしや働き方、社会のルールや人間の寛容性。屋台が「いる」ことで見えてくるまちの魅力や可能性。明日は「いない」かもしれない仮設的な屋台だからこそ見えてくるものがあります。そんなふうに自ら屋台を引く今村謙人さんといっしょに、小さな屋台での実践を通して見えてくる今後の社会やまちの姿を考えていけたらと思っています。

6	5月 22日	民藝という美学	所属・役職	日本民藝館 学芸員
			氏　名	古屋 真弓

100年前、それまで価値あるものと見なされていなかった日常の生活道具に光をあてた民藝運動は、風土や伝統に根ざした地域固有の生活文化のうちに新たな価値を探ろうとする試みでもあり、ローカルスタンダードをデザインする先駆例ともいえます。そのまなざしを突き動かしたものはなんだったのか。現代の私たちはそこから何を学びうるのか。日本民藝館学芸員の古屋真弓さんといっしょに考えていきます。

7	5月 29日	地域文化の蘇生の場としての博物館のしごと	所属・役職	福島県立博物館　専門学芸員
			氏　名	小林 めぐみ

地域固有の文化を保存、継承する既存の場として、各地の博物館をあげてもよいでしょう。いまその役割がさまざまに見直されています。なかでも、震災後に福島県立博物館美術分野が手がけてきた活動には、目を見張るものがあります。世代や地域の記憶の分断、断絶、放置、忘却。これらは、多かれ少なかれどの地域でも生じていることですが、いうまでもなく福島のそれは別格です。そうした厳しい条件をいかに乗り越えようとするのか。担当者のひとりである小林めぐみさんにうかがいます。

8	6月 5日	手のひらの旅――民藝とデザインの可能性	所属・役職	matohu（まとう） デザイナー
			氏　名	堀畑 裕之 / 関口 真希子

「日本の美意識が通底する新しい服の創造」をコンセプトにした服飾ブランドmatohu(まとう)。2018年にファッションショーの発表を取りやめ、全国の産地をめぐってその土地の人、手仕事、風土、歴史などを紹介するドキュメンタリー動画「手のひらの旅」へとシフトしました。そのリアルな旅を通して出会った工藝と現代に大切な気づきについて、デザイナー本人が動画や服をお見せしながらお話しします。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月 12日	コンヴィヴィアルな山水郷	所属・役職	日本総合研究所創発戦略センター エクスパート
			氏　名	井上 岳一

日本列島の各地にある山と水と人の恵み豊かな地域を、井上岳一さんは「山水郷」と呼んで注目しています。今、山水郷を目指す若者達が増えています。彼・彼女らは、かつてあった山と水と人の豊かな関係性を回復させ、新たな価値を生み出し始めています。なぜ山水郷を目指す若者が増えているのでしょうか。この先にはどんな社会が待っているのでしょうか。井上さん自身が関わってこられた多くの事例をうかがいながら、みなさんと共に考えてゆきたいと思います。

10	6月 19日	あるく きく みる	所属・役職	工芸 signal 店主
			氏　名	大前 公子

旅先で出会う景色、物、人に魅せられて、大前公子さんは、土地土地で見つけた生活用品を紹介する店を営んでいます。誰かの「翻訳」を通じて知っていると思いこんでいたことも、実際に訪ねてみると、まるでわかっていなかったことに気がつかされます。集落を歩き、ゆきかう声や音を聞き、自分の目で物を見ることの面白さ、そして大事さ。それはまた、お店を構える宮島が世界中から多くの人が訪ねてくる場所であることから、逆の立場でも実感する、そう大前さんは言います。世界と地方、現実とロマン、物や人が交差する日々の仕事で彼女が感じていることを一緒に聞いていきましょう。

11	6月 26日	会津鍛冶と、受け継ぐ「姫鍬」	所属・役職	姫鍬本舗 堤製作所
			氏　名	堤 万里奈

会津若松の堤製作所は、“鍬は土を切る刃物である”との信念のもと創業者堤章が開発した「姫鍬®」を職人の手仕事で作り続けています。当初は鍬に興味もなく使用したこともなかった孫の堤万里奈さんは、鍬を使う人々との出会いから、栄養-農-鍛冶の繋がりに心動かされ家業に携わることを決意しました。一方で、実際に仕事に携わったときに直面したのは、おおきく変貌した鍬を取り巻く状況でした。それでもなお姫鍬を通して受け継いでいきたい何かがある。堤万里奈さんのそんな思いをうかがいながら、これからの働き方と生き方についていっしょに考えていきましょう。

12	7月 3日	私たちという単位	所属・役職	F/style（エフスタイル） 共同主宰
			氏　名	五十嵐 恵美 / 星野 若菜

暮らしの中で商品が使われるようになるには、流通や販路の開拓まで担う存在が必要――エフスタイルの原点は、大学時代のそんな気づきにありました。以来、作り手と使い手の間に立ち、関係をつなぐこと、モノの入口と出口のデザインを仕事とされてきました。合理化・情報化が進み、モノの背後に人の姿を感じづらい現代だからこそ、”この人”と関わっているという責任と信頼を届けていくことが、作る喜び、使う喜びにつながっていくに違いない。自分、私たちという単位を見失わず、自らの暮らしや仕事の中から生まれる視点や手触りを頼りに、等身大のモノづくりを大切にしているという、おふたりの営みの実際をうかがっていきます。

13	7月 10日	生活を語ることばについて	所属・役職	詩人
			氏　名	大崎 清夏

感情は言葉にしがたいものです。語りえぬものを語るということ。一見矛盾したそんな試みを担うのもまた言語の役割。その代表的な例として、詩があります。しかしながら詩は誰のためのものなのでしょうか。私たちはそれぞれ自分だけの体験や意見をもっています。でも、詩を書くことは、それを自慢げに語ることではありません。詩はいつも、身近な自然や動物に、隣の人の声に、もの言わぬ建物や街並みに、「徹底的に耳をすますところから始まる」と、大崎清夏さんはいいます。聞いているはずなのに聞こえていない。そんな日常へのあらたな視点を考えます。

14	7月 17日	ローカルの先へ	所属・役職	graf 代表 / コーディネーター
			氏　名	服部 滋樹 / 鞍田 崇

「ローカル」が創造性を喚起していた時代はすでにおわったのかもしれません。すくなくとも「ローカル」という選択肢があることは、すでにデフォルトになっているのはまちがいないでしょう。そういう状況のなかで、あえてなおも「ローカル」にこだわるのはなぜか。いちはやく「ローカル」に注目し、かずかずのプロジェクトを実現してきたgrafの服部滋樹さんといっしょに、その先を探ります。

3　履修上の注意

これまであたりまえと思い込んでいたことに縛られない柔軟な思考をもって受講してもらえたらうれしいです。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

特に前もって準備する必要はありませんが、各回とも講義後半で、ショートディスカッションをしますので、そこでの積極的な参加を期待します。

5　教科書

鞍田崇著『民藝のインティマシー　「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会、2015）

6　参考書

適宜、授業内で指示します。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回のショートレポートについては、毎回講師と相談して優勝賞をセレクトし、選考理由とあわせて全体講評を共有します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

授業内レポート60%、平常点40%。
＊レポートについて：各回ひとつテーマを出しますので、任意に10件選択して書くこと。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
インティマシーをデザインする（環境人文学Ⅱ）	理工学部・鞍田崇

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	水	4

1　授業の概要・到達目標

現代社会のひずみを克服し社会を変革する道筋を考えるのが、「環境人文学」のねらい。人々を社会変革へと誘う駆動力となるものとして、春学期には、地域社会に寄せられる共感の深化とともに確立される「ローカルスタンダード」に注目しましたが、本学期はそもそもなぜいま共感なのかについて「インティマシー」という感性を手がかりに考えます。現代では、社会にせよ個人生活にせよ、ともすると他所事・他人事になってしまいがち。それらをあらためてリアルなまなざしのもとに我が事として取り戻す契機となるのがインティマシーです。辞書的には「親密さ」と訳されますが、むしろ「いとおしさ」という方がふさわしい。そうした感性を培うにはどうすればよいのか、そもそもインティマシーとは何なのか。本講義では、様々な視点から考えていきます。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月 25日	いまなぜインティマシーか	所属・役職	写真家 / コーディネーター
			氏　名	田村 尚子 / 鞍田 崇

インティマシーとは何よりもまず感情です。感情は、図と地の関係でいえば、地にあたるもの。表立って意識されるものというよりは、何かしようとする際にたえず背景として随伴しているものでしょう。そういうものの実際を知り、またそれを深めていくにはどうすればよいか。今回はシリーズ初回として、本講座の概要説明とともに、写真家の田村尚子さんをお迎えし、手がけられてきた活動をうかがいながら、いまなぜインティマシーなのか、その社会背景についても一緒に考えていきます。

2	10月 2日	複雑な世界に参与するためのデザイン	所属・役職	京都工芸繊維大学未来デザイン・工学機構 准教授
			氏　名	水内 智英

デザインのあり方はいま大きく見直されようとしています。非常に複雑で解決法が見当たらない課題(Wicked problem)の山積や、社会と技術との相互影響関係への着目を背景に、これまでデザインの理解や方法の前提とされてきた「人間中心」のデザイン観(Human Centered Design)に対し、様々な疑義が聞かれるようになってきました。そこには、モノや人や自然や社会技術の関係をどう捉えるべきかといった、今後のデザインを大きく問い直す観点が見え隠れしています。「複雑な世界に関わるためのデザイン」を手がかりに、今後のデザインのありようを探ります。

3	10月 9日	心の動きと言葉	所属・役職	広島大学 助教
			氏　名	川上 夏林

イライラしたり喜んだり、わたしたちの生活は心の動きとともにあります。では、そのような心の活動はどのように言葉で表現されるのでしょうか。心的現象はボールが転がったり、コップが割れたりする現象の言語化とおなじような仕組みで表現されるのでしょうか。言語学の視点から、心理現象を表す「動詞」に焦点を当て、いくつかの言語で観察される特徴を整理するなかで、心と言葉のつながりについて考えます。

4	10月 16日	小さな声を聞いてデザインする	所属・役職	グラフィックデザイナー
			氏　名	漆原 悠一

ブックデザインを中心に手がける漆原悠一さんが心を配るデザインは、決して大きな声で呼びかけるものではありません。コンテンツの内にある、小さな声に丁寧に寄りそい、耳を澄ませること。そうして自然に立ち上がってくるような佇まいが理想だと語ります。そんなスタンスが鮮明に反映されたのは、被爆地長崎の記憶にフォーカスした写真集『Ground』（2019）でした。同書では、はじめてみずから出版も手がけられました。土地の記憶という目には見えないものをデザインするとはどういうことなのか。漆原さんのお仕事を通して考えていけたらと思います。

5	10月 23日	日々を績む	所属・役職	渡し舟 共同主宰
			氏　名	渡辺 悦子 / 舟木 由貴子

いまもなお人の手で糸を績む人たちがいます。舞台は福島県・奥会津の昭和村、主役は“からむし”という植物。この植物をきっかけに、同村へ移住した女性たちがいます。彼女たちは土を耕し“からむし”を育て、繊維を取り出し、布を織りあげるまでの一連の工程とともに、人間本来の生き方を学ぶことになったといいます。その実際の体験をうかがいつつ、ものづくりと一体となった暮らしの意義を考えます。

6	10月 30日	共異体の知恵と芸術表現	所属・役職	秋田公立美術大学アーツ＆ルーツ専攻 准教授
			氏　名	石倉 敏明

現代の芸術実践は、異なる境遇に生きるもの同士が、互いの異質性や専門性を解消せずに複数の歴史を共有し、共生するための知恵を探求しています。この講義ではローカルとグローバルの対立を超えて、新しいエコロジーと芸術を結びつける現代のさまざまな取り組みを紹介し、集合的に土地の記憶を探る「共異体の知恵」について考察します。

7	11月 13日	土壌もデザインしてみる	所属・役職	建築家 宮城大学事業構想学群 特任助教
			氏　名	貝沼 泉実

2050年には世界人口の約7割が都市に居住し、3割が暮らすカントリーサイドには、急激な変化が起こるとされています。貝沼泉実さんは都市とカントリーサイドの両側面を持つ仙台に身を置く立場から、様々なプロジェクトを通して、地域におけるデザインの可能を模索しています。ここで求められるデザインは、必ずしも型があるものではなく、空間や中身以前の、土壌から耕す必要があるものもあります。表面的でなく、根っこの部分から空間を見るとはどういうことか、そこで求められるデザインの質とはどのようなものなのか。貝沼さんのお話を通して、いっしょに考えていきましょう。

8	11月 20日	わからないままの民藝	所属・役職	やわい屋 店主
			氏　名	朝倉 圭一

民藝店を営んでいると、民藝とはなんであるかと質問されることがよくあります。なぜ民藝はわかり難いのだろう？　それは民藝が、文武両道における「道」の思想と同義であるからなのではないか？　最近そう思うようになりました。茶道の目的が美しい所作を極めることに留まらないように、武道の目的が強さを求めるだけではないように、道の上には他者との交わりがあり、日々の暮らしがあります。そう考えると民藝の道とはなんであるのでしょうか？　そうした問いを考える時間をみなさんと共有したいと思います。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月 27日	暮らしと仕事を紡ぐ	所属・役職	修復家・漆作家
			氏　名	河井 菜摘

「暮しが仕事　仕事が暮し」これは民藝運動を支えた陶工の河井寛次郎の言葉である。その人の暮らしを見れば仕事の姿勢も見えてくるのではないでしょうか。仕事というと何か誰かに用意された事柄のようにも捉えてしまいますが、自らができることを紡ぎあげていくもののように実感しています。この言葉が意味するものが何なのか共に考えていきましょう。

10	12月　4日	映像のインティマシー	所属・役職	信州大学 学術研究院 総合人間科学系 教授
			氏　名	分藤 大翼

私は人を対象としたフィールドワークのなかで記録映画を制作してきました。私にとって映像は人と関わる手段であり、自分や社会を変えるための手段です。スマートフォンとSNSの普及によって、映像の制作と発信が日常化し、目を開けば無数の映像が目に入ってしまう生活のなかで、むしろ目を閉じた時に何が見えるのか。あらためて目を開くために、私たちと映像との関係について、映像のインティマシーについて、皆さんと一緒に考えたいと思います。

11	12月 11日	里山で、職人として生きる	所属・役職	タルマーリー　共同主宰
			氏　名	渡邉 格 / 渡邉 麻里子

資本主義の発展とともに世界が加速度的に変化している中で、持続可能な社会をつくるためのヒントが職人の技にはあります。職人は暮らしも仕事もすべて自分の時間を技の習得にそそぐ必要がありますが、利便性、利潤を追求するこの社会では職人の文化が廃れてしまいました。私たちは鳥取県智頭町という里山で、家族で暮らし、パンとビールという発酵食品を作り観察し、持続可能な物質循環を担う職人として生きてきました。その軌跡と技術を紹介します。

12	12月 18日	他人の家を継ぐ愉しみ	所属・役職	東京大学生産技術研究所 准教授
			氏　名	林 憲吾

ここ数年取り組んでいる自邸づくりについてお話しします。ある歯科医とその家族が住んでいた築およそ70年の近代建築を、自分の家として引き継ぐプロジェクトです。ともすれば、重荷になってしまう歴史の継承ですが、色々な専門家と協働すれば、どんな愉しみが生まれるかをお伝えします。

13	1月　8日	関係性のいとおしさを識る感性「インティマシー」	所属・役職	美術家
			氏　名	林 智子

私たちの生きている人間社会の中では普段隠れてしまっているピュシスを発見し、それらによりそうことで、全てのものは互いに関係し合い存在していることに気づくことができる。その関係性のいとおしさを識る感性を「インティマシー」というのではないだろうか。本年開催の個展で発表された作品群を手がかりに考察します。

14	1月 15日	インティマシーの先へ	所属・役職	東京大学大学院総合文化研究科 教授 / コーディネーター
			氏　名	梶谷 真司 / 鞍田 崇

人と人、人と物が「一緒にいる」とはどういうことなのだろうか？　一緒にいるために、何が必要なのだろうか？　共感や愛着、相互理解や寛容さが求められることが多いが、だとしたら、共感できない、理解できない、許容できない相手（物）とは、一緒にいられなくなってしまう。哲学とデザインの交差するところから見えてきた「共にいる場」の可能性について考える。それはインティマシーの先を見ることでもある。

3　履修上の注意

これまであたりまえと思い込んでいたことに縛られない柔軟な思考をもって受講してもらえたらうれしいです。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

特に前もって準備する必要はありませんが、各回とも講義後半で、ショートディスカッションをしますので、そこでの積極的な参加を期待します。

5　教科書

鞍田崇著『民藝のインティマシー　「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会、2015）

6　参考書

適宜、授業内で指示します。

7　課題に対するフィードバックの方法

各回のショートレポートについては、毎回講師と相談して優勝賞をセレクトし、選考理由とあわせて全体講評を共有します。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

授業内レポート60%、平常点40%。
＊レポートについて：各回ひとつテーマを出しますので、任意に10件選択して書くこと。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
先端医療概論			理工学部・工藤寛之	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
生田	2	秋学期	水	5

1　授業の概要・到達目標

iPS細胞や医療ロボットなど、近年の医療技術は飛躍的に発展しており、これまで治療困難とされていた病気に対する治療が可能となってきている。本講座では，医学を専門としない学生に対し、先端的な医療の現状に関する複数のトピックスを、聖マリアンナ医科大学の協力を得て医療現場の最前線で活躍する講師陣がわかりやすく解説し、医工連携をはじめとした医学と理工学・農学との連携の現状を理解する。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月　25日	イントロダクション （講座の概要，成績評価方法等の説明）	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	工藤　寛之
講座の概要、先端医療について学ぶための背景、明治大学における医工連携の現状などについて解説する。また各回の授業の進め方、成績評価について説明する。				
2	10月　2日	循環器のＭＥ(Medical Electronics)	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 総合診療内科学　特任教授
			氏　名	原　正壽
心電図、心臓超音波などの波診断装置、さらにペースメーカーや補助循環などの治療機器について、作動原理と医療機器の特殊性について最新の機器を例に解説する。				
3	10月　9日	反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)が切り拓く脳機能障害治療の未来	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 リハビリテーション医学　主任教授
			氏　名	佐々木　信幸
かつては脳は可塑性のない器官とされていたが、近年それが否定され、より積極的に脳機能を改善させるニューロリハビリテーションという分野が発展している。その中心の一つであるrTMSは、大脳皮質局所を外的に調整することにより様々な脳機能障害を改善させる新たな治療的技術である。脳卒中麻痺や高次脳機能障害、そしてコロナ後遺症におけるBrain fogまで、これまでの常識では考えられない発展性の高い次世代の治療技術を紹介する。				
4	10月　16日	医療におけるAI・ICT	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 大学院医学研究科　医療情報処理技術応用研究分野 大学院教授
			氏　名	小林　泰之
将来、医師が人工知能を活用して診断・治療方針の決定を行う時代が来ることは間違いなく、医学・医療は飛躍的に進歩するとともに、医師が時間的・精神的余裕を獲得することにより医療の原点“人を癒す”に立ち返ることができる。人工知能が医療を変革することによる最大の勝者が患者さんであることは間違いない。				
5	10月　23日	生体イメージング技術を用いた病態解明への挑戦 -生命現象を可視化しその謎に迫る-	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害動物学　主任教授
			氏　名	宮部　斉重
免疫細胞の遊走は体内へ侵入した病原体を駆除するために重要な生体防御機構である。しかし、免疫細胞が組織へ異常遊走すれば、自己免疫疾患などが惹起される。従来の形態学的手法では細胞の動きを捉えることが不可能であり、免疫細胞の異常遊走による疾患誘導メカニズムは不明であった。近年、リアルタイムに細胞動態を解析することが可能な生体イメージング技術の発達により、生命現象を可視化することが可能になった。本講義では生体イメージング				
6	10月　30日	薬や治療を作り育てる　～創薬・育薬の実際～	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 薬理学　主任教授
			氏　名	松本　直樹
薬には長い開発期間が必要である。候補物質が見つかってから、動物実験を経て初めてヒトに投与され、続いて初めて患者に投与される。発売されただけでは正しい治療は行えないので育薬も重要で、全ての経過で実施される研究によって多くの情報を蓄積するのが創薬・育薬の本質である。科学だけでなく倫理の問題も存在し、多方面の英知を集める必要がある。本講義で興味を持ってくれた人材が参画してくれれば嬉しい。				
7	11月　13日	光刺激の感受・細胞応答機構の解明と、骨折・骨粗鬆症治療機器への応用	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 難治性疾患病態制御学　大学院教授
			氏　名	遊道　和雄
非薬物・低侵襲的アプローチとして、光刺激に対する細胞応答に注目し、特定条件の光照射によって細胞内光応答蛋白の活性を修飾し、疾患患部の細胞活性を制御して治療に結びつける非薬物・低侵襲的な次世代光治療技術の研究開発を紹介する。				
8	11月　20日	ゲノム情報に基づくがんの診断・治療：基礎から最先端まで	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 バイオインフォマティクス学　大学院教授
			氏　名	山本　博幸
日本国民の2人に1人が、がんに罹患し、3人に1人が、がんで死亡する。一方で、がんや個人のゲノム情報に基づく個別化医療の時代を迎えつつある。ゲノム解析の基礎から、バイオメディカルインフォマティクスを用いた最先端解析まで、がんの6割を占める消化器がんを中心に概説し、診断・治療・予防への実用例を紹介する。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月　27日	造血器腫瘍の治療	所属･役職	聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科学　　主任教授
			氏　名	新井　文子
医学の進歩により、不治の病といわれていた造血器腫瘍、白血病、リンパ腫の患者の多くが「寛解」を得ることができるになった。本講義では、従来の抗がん剤から最先端の分子標的薬まで、造血器腫瘍の治療について広く学ぶ。				
10	12月　4日	腸内細菌叢メタゲノミクスの臨床応用について	所属･役職	聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害動物学　特任教授
			氏　名	清水　潤
腸内細菌叢メタゲノミクスは、菌ゲノムを次世代シークエンサーで網羅的に探索し、その種類・機能を明らかにする研究分野である。腸内細菌叢が生体に多大な影響を及ぼしていることを明らかにしつつある。最新の研究結果と、検討中の臨床応用方法を紹介する。				
11	12月　11日	乳癌診療の進歩と実際	所属･役職	聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科学　主任教授
			氏　名	津川　浩一郎
乳癌は日本人女性で最も羅患率の高いがん種である。手術、放射線治療、薬物療法など治療法が進歩し、さらにバイオマーカー、遺伝子検査などによる個別化医療も発展しつつある。最新のトピックスから、その進歩と実際について概説する。				
12	12月　18日	出生前診断・周産期医学　～超音波断層法による臨床診断から基礎的研究まで～	所属･役職	聖マリアンナ医科大学 周産期発生病態解明学分野　大学院教授
			氏　名	長谷川　潤一
妊娠・分娩に関わる産科医療において超音波検査はなくてはならないものである。昨今の、一般的な出生前診断の臨床的手法から、これらの機器を用いた発生や病態を明らかにする研究まで解説する。				
13	1月　8日	アンチ・ドーピング	所属･役職	聖マリアンナ医科大学 スポーツ医学　主任教授
			氏　名	藤谷　博人
近年、スポーツ界におけるドーピングの問題は社会的にも注目されている。本講義では、ドーピングの定義、検査様式、禁止薬物、禁止方法、そしてアンチ・ドーピング活動の最新の情報を交え解説する。				
14	1月　15日	総括	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	工藤　寛之

3　履修上の注意

履修前提科目などは無い。初心者でもわかりやすい講義内容である。
講義中には術中写真やビデオ等の視聴も含む。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

特に定めない

5　教科書

特に定めない

6　参考書

特に定めない

7　課題に対するフィードバックの方法

個別に対応する。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

平常点を50点満点、レポートの課題を50点満点として評価を行い、60点以上の者を合格とする。

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
データサイエンスAI概論〔メディア授業〕			理工学部・崎濱栄治	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
なし（オンデマンド配信）	2	秋学期	－	－

1　授業の概要・到達目標

現代は複雑なデータが高度に大量に流通する時代を迎えている。そのなかで、日常生活のなかの様々な分野でデータサイエンスや人工知能がカギを握ると言われている。本講座では、これらデータサイエンスや人工知能についてリテラシーレベルで最新知見を得ることを目標とする。また、そのうえで重要となる、人工知能に関する倫理・法整備、情報セキュリティなどの諸問題についての基本的な知識を得ることを目標とする。

関係する分野について、大学の専門家、企業の実務家に講演を依頼し、オムニバス形式の講座とする。内容は「ビジネスにおける人工知能活用と法律」「データサイエンスリテラシー」「自動車メーカー・中央省庁におけるデータサイエンスの活用」「自動運転と倫理」「自動車・モビリティとデータサイエンス」「経済学とデータサイエンス」「エンターテインメント」「サイバーセキュリティ」「ESG」などを扱う。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月20日	イントロダクション （講座の概要、成績評価方法等の説明） 身近なデータサイエンス	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	崎濱栄治

イントロダクションとして講義の全体概要について触れます。皆さんが日常的に利用しているスマートフォンを例に取り上げ、データサイエンスAIが生活の一部として組み込まれていることを感じてもらいます。検索行動、ECサイトでの購買行動、SNSなど身近な事例を通してデジタルマーケティングを軸としてデータサイエンスAIがどのように活用されているか考えていきます。

回	日　程	テーマ	担当者	
2	9月27日	ビジネスにおける人工知能活用と法律	所属・役職	弁護士法人RITA総合法律事務所　パートナー 株式会社シナモン 監査等委員取締役
			氏　名	伊東孝

この講義では、人工知能（AI）と法律の交差点に焦点を当てます。まず、AIに関する基本的な理解として、AIの技術的な定義と法的な立ち位置について確認します。次に、企業におけるAIの活用とそれに伴う法的リスクについて考察します。AIがもたらす著作権、プライバシー、データセキュリティなどの法的課題について検討し、これらの課題にどのような対応がなされているかを見ていきます。最後に、法的な観点から、AIの法律分野における役割と課題を通じ、法律分野におけるデータの重要性について考えます。参加者にAIと法律の関係についての概観を得ていただくことを獲得目標として講義を行います。

回	日　程	テーマ	担当者	
3	10月4日	データと知識の民主化のために欠かせないデータリテラシー	所属・役職	Exploratory,inc. CEO
			氏　名	西田勘一郎

データサイエンスとビッグデータが可能にするのは知識の民主化だ。これは教科書やメディアなどから得られる知識ではない。答えが明らかでない時、自らが探索し、真実に迫っていくことで得られる知識だ。コロナ、気候変動、国際情勢、これからやってくるであろうリセッションなど、どれも私達の毎日の生活に密接に関わることだが、様々な情報が飛び交い、明らかな答えがない。しかしそんなとき、自分の仮説を立て、自らデータを集め、分析することで自分自身の新しい知識を導き出すことができる。そのためには、データから知見を導き出すための能力であるデータリテラシーが必要となる。この講義では受講者のデータリテラシーを上げるために、具体的な例を元に解説、実演する。

回	日　程	テーマ	担当者	
4	10月11日	自動車メーカーにおけるデータサイエンスの活用事例	所属・役職	株式会社スバル　IT戦略本部 デジタルイノベーション推進部
			氏　名	小川秀樹

動車業界は100年に1度の変革期と言われております。代表的な変化として①ガソリン車（内燃機関）からEVへのシフト②コネクティッドデバイスへの変化の二つがあります。この講義では、日本の基幹産業である自動車製造業におけるデータ利活用の取り組みについて実例を踏まえ、ビジネス視点で考察することにより、これからの日本を背負う皆様にデータサイエンスが、日本が世界と戦う力になることをお伝えさせていただきます。

回	日　程	テーマ	担当者	
5	10月18日	自動運転と法律・倫理	所属・役職	多摩大学経営情報学部 専任講師、名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 客員准教授
			氏　名	樋笠尭士

自動運転の世界では、ついに2023年4月から、「レベル４」の無人運転が開始されました。事故時に誰が責任を取るかということも問題ですが、システムであるAIが、二者択一のようなジレンマ状況に陥った際にいかなる挙動をとるのか、AIが人命を選択するようになります。AIを使った分野のなかで、もっとも身近で生命に関わる自動運転の世界で、どのような規制がなされ、どのような問題があるのか、国際状況や日本の現状を学びながら、法的・倫理的な社会的課題である「トロッコ問題」の現実的な着地点を模索する講義です。自動運転のような人工知能の倫理問題を扱うため、我々人間の思考や文化、法律に立ち戻り、どこまでの意思決定が許されるのかを考え、権利や責任についての思考を養います。

回	日　程	テーマ	担当者	
6	10月25日	自動車・モビリティの未来とデータサイエンス	所属・役職	カリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院ハース・エグゼクティブ・フェロー　株式会社K&アソシエイツ代表取締役
			氏　名	桑島浩彰

世界のモビリティ産業ではいま、データサイエンスを活用した、最終ユーザーの価値を高めるためのサービス開発と基盤整備が、猛烈な勢いで進められています。この講義では、世界各国の自動車メーカーや自動車部品メーカー、また半導体やセンサーメーカーによる、データサイエンスを活用したモビリティサービスのケーススタディおよび基盤整備の状況を概観した上で、モビリティ産業の将来について議論します。

回	日　程	テーマ	担当者	
7	11月8日	経済学とデータサイエンス	所属・役職	サイバーエージェント 主席データサイエンティスト
			氏　名	安井翔太

世の中のDX化が推進されたことにより、ビジネスや行政など、社会の様々な場所においてデータが蓄積されるようになり、データサイエンスの重要性が高まってきました。しかし、人間の意思決定に関連したデータは、従来のデータサイエンスの想定している仮定を満たすことはほとんどありません。経済学は人間の意思決定を対象とした分野であり、このような意思決定に関連したデータを扱う上での方法論や注意点を整理してきました。本講義では、意思決定に関連するデータを取り扱う難しさやその方法に加え、計算機科学などの分野で発展してきた機械学習との技術的な融合に関して紹介します。

回	日　程	テーマ	担当者	
8	11月15日	中央省庁におけるデータサイエンティスト～ データを作る、データを使う	所属・役職	財務省財務総合政策研究所 研究官
			氏　名	吉元宇楽

近年、政策の中でデータや分析結果を活用するEBPM（エビデンスに基づく政策決定）が盛んに取りざたされています。官公庁におけるEBPMはデータや分析を利用するだけでなく、データを作るところから始まります。その最たるものがGDPです。一方で、それらのデータや指標を作り、その結果を分析し、解釈することは容易ではありません。本講義では、GDPにも使われている統計データ「法人企業統計」の集計を所管する財務総研に勤める研究官が世の中でも目にすることが多く、自らも活用できる「政府のデータ」について、その作られ方から活用方法まで紹介します。

回	日　程	テーマ	担当者	
9	11月22日	エンターテイメントとデータサイエンス	所属・役職	関西大学総合情報学部准教授
			氏　名	山西良典
音楽制作で活用されるボーカロイド、コミックにおけるキャラクターデザインを題材としてエンターテイメント分野におけるAI研究の最前線について理解を深める。情報処理とエンタメの概説(UMLでの情報整理、ベイズでの可視化、NLPでの分析)を目指す。				
10	11月29日	計算社会科学とデータサイエンス	所属・役職	インディアナ大学ブルーミントン校 ポストドクター
			氏　名	宮崎邦洋
近年、計算社会科学は、社会現象の理解と解析を進めるための新しいアプローチとして注目されている。そこではビッグデータの収集、解析、解釈や機械学習、統計的分析の活用というデータサイエンスのアプローチを多く使用している。この講義では、「計算社会科学とデータサイエンス」と題し、いかに社会現象の理解にデータサイエンスを用いているかについて、実例の研究を交えながら解説する。さらに、それらがどのように社会科学の伝統的な方法論を補完・拡張しているかも探求する。具体的なデータ収集技術からモデル構築、そして倫理的な問題まで、現代の社会研究におけるこれらの役割と重要性を理解するための包括的なガイドとなることを目指す。				
11	12月6日	データサイエンスで未来を創る	所属・役職	イグニション・ポイント コンサルティング事業本部 ディレクター
			氏　名	濱田美晴
ビジネスでのデータ活用は多岐にわたる。事業会社のマーケティングではデータを利用した判断が最重要とされ、それが経営企画に引き継がれ、経営に関してもデータサイエンスにより年々よりリアルタイムに近いデータでの判断が行われている。 事業会社や事業支援会社でのデータサイエンスのあり方、データサイエンス人材の活用とその未来について実例を元に考えていきます。				
12	12月13日	データサイエンスの社会実装	所属・役職	日本電気株式会社 サポートサービス事業部門長
			氏　名	山中豊
データサイエンス・AI技術の社会実装されることで、一般消費者の生活がより便利・豊かになることが期待されている。日本電気における取り組み事例を通して、現在・未来におけるデータサイエンス・AI技術の活用方法を考える。				
13	12月20日	サイバーセキュリティ分野におけるAI活用技術	所属・役職	サイバーリーズン合同会社　グローバルSOC　APAC SOCマネージャー
			氏　名	渡邊弘実
昨今のサイバー攻撃は高度化・巧妙化が進んでいます。従来のセキュリティ対策は、パターンマッチングを行なってマルウェア感染や不正通信を検知してきましたが、このようなパターンマッチングの対策では、攻撃パターンを少し変えただけで、検知をすり抜けてしまいます。そこでAIを使った次世代型のセキュリティ対策が注目を集めています。AIを使った検知ロジックでは、類似度計測によってマルウェアの亜種を検知したり、異常検知ロジックによりゼロデイ攻撃を発見するなどの事例を紹介します。				
14	1月10日	ESGにおけるデータ活用 総括	所属・役職	ラザード・ジャパン・アセットマネージメント シニアヴァイスプレジデント お茶の水女子大学ジェンダードイノベーション研究所・研究員/コーディネーター
			氏　名	福田智美/崎濱栄治
現在のESGを取り巻く社会的背景について理解の促進を図ります。ESG、SDGｓ、サステナビリティ経営などの言葉を最近では多く耳にすると思います。日本企業がどのようなESG経営を行い、機関投資家はどのようにそれらを評価しているのか？企業が行う情報開示を中心に「計量テキスト分析」等の手法を用いたデータを活用し読み解くことで、「企業価値向上に資するESG経営」を考えるヒントを探ります。				

3　履修上の注意

この授業はメディア授業科目として開講される。授業はすべて、講義動画をOh-o! Meiji システムを通じて配信するオンデマンド型で行う。
講義動画は原則毎週金曜日にOh-o! Meiji システムを通じて配信し、授業動画は当該学期中の視聴を可能とする。なお、毎回の講義動画に対して、小テストの実施やコメントシートの提出を求め、出席確認及び理解度確認を行う。また、Oh-o! Meiji クラスウェブのディスカッション機能を活用し、意見交換の場を設ける。教員への質問・相談窓口として、専用メールアドレスを履修者に通知する。小テストは期限内に必ず終えること。
配信スケジュール予定
・第1回9/20・第2回9/27・第3回10/4・第4回10/11・第5回10/18・第6回10/25・第7回11/8・第8回11/15・第9回11/22・第10回11/29・第11回12/6・第12回12/13・第13回12/20・第14回1/10
※講師都合により一部予定が変更となる可能性がある。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみることを強く勧める

5　教科書

特に定めない

6　参考書

特に定めない

7　課題に対するフィードバックの方法

各回の感想や質問について授業内で取り上げる場合がある。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

毎回の講義のあとに小テストを実施する。
また、意見・感想の提出を求める。

9　その他

授業実施日の12時頃に教材等を配信予定

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名	コーディネーター 学部・氏名
日本企業・産業のレジリエンスとイノベーション	経営学部・藤江昌嗣

開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	木	3

1　授業の概要・到達目標

「日本企業・産業のレジリエンスとイノベーション」をテーマに、各企業・産業におけるレジリエンスとイノベーションに関する歴史と具体的な課題やその解決に向けた取り組みについて講義していく。担当する授業科目に関連した実務経験を有している講師陣が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っていく。

明治維新以降の「近代化」（殖産興業）の中で発展してきた日本の企業・産業が、20世紀（1980年代）以降のグローバル化や金融の自由化、バブルとその破綻、20世紀末の「情報革命」、さらには温暖化や資源制約、COVID-19禍、そして「戦争」などの国際環境変化の中で自らの内部の変革を余儀なくされている。この「大きな転機と変革」の中身とその変化の方向性について、講師陣の講義を参考に、精確な認識と自ら考える力を身に着けることを目標とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション	所属・役職	経営学部専任教授（株）/ マロネイト代表取締役会長
			氏　名	藤江昌嗣/岡崎宏行
講座の概要、成績評価方法等の説明				
2	10月3日	「住宅・不動産分野の新たな潮流」	所属・役職	元(株)旭リサーチセンター上級研究員 住宅・不動産企画室　室長
			氏　名	川口　満
朝日化成（株）を中心に住宅・不動産分野の「大きな転機と変革」の中身とその変化の方向性について講義する。				
3	10月10日	企業・産業のレジリエンスとイノベーション　ーソニーの場合	所属・役職	元(株)ソニー 人事部長
			氏　名	山田　稔
（株）ソニーを例に、レジリエンスとイノベーション、すなわち、「大きな転機と変革」の中身と その変化の方向性について講義する。				
4	10月17日	企業・産業のレジリエンスとイノベーション　ー　東京海上ホールディングス(株)の戦略	所属・役職	元東京海上アジア取締役・CIO、医療法人財団医親会 顧問
			氏　名	東長邦明
長く東京海上日動（株）、同HDという損害保険業界の仕事に従事してきた講師が、 損害保険業界のレジリエンスとイノベーションについて講義する。				
5	10月24日	コンプライアンスから見た企業のレジリエンスとイノベーション　ー　金融・証券業	所属・役職	元ソニー銀行　コンプライアンス部 シニアマネージャー
			氏　名	小林正和
長く証券会社（山一証券）に勤務し、そして現在は、ソニー銀行でコンプライアンスを担当する講師が、 コンプライアンスという視点から、金融・証券業のレジリエンスとイノベーションについて講義する。				
6	10月31日	生命保険業界のガラパゴス化、そして、今後の課題	所属・役職	株式会社 Globee 常勤監査役
			氏　名	中村孝男
長く生命保険会社（日本生命）に勤務していた講師が、「生命保険業界のガラパゴス化」と今後の課題をテーマに、 生命保険業界の「大きな転機と変革」の中身とその変化の方向性について講義する。				
7	11月14日	人間のレジリエンスとイノベーション	所属・役職	レバレッジコンサルティング(株) 取締役社長
			氏　名	本田直之
長くコンサルタント業務に従事してきた講師が、人間のレジリエンスとイノベーションについて講義する。				
8	11月21日	企業・産業のレジリエンスとイノベーション　ー気象情報・ウェザーニューズの場合	所属・役職	元（株）ウェザーニューズ 監査役
			氏　名	戸村　孝

回	日　程	テーマ	担当者	
気象情報・ウェザーニューズを例に、気象情報業界に投じた大きな変革の中身と今後の変化の方向性について講義する。				
9	11月28日	「金融レジリエンスを身に付ける為に、本当に必要な金融リテテラシーとは」	所属・役職	元さくら銀行（旧太陽神戸三井銀行）市場営業部債券トレーディング室長 元 SMBC プライベートバンキング営業部部長（西日本統括） 執行役員管理企画部長
			氏　名	庄司正明
銀行、証券、工作機械メーカー等、様々な業務に従事してきた講師が、 企業・産業のレジリエンスとイノベーションについて講義する。				
10	12月5日	コンサルタントから見た企業・産業のレジリエンスとイノベーション（1）	所属・役職	（株）マロネイト代表取締役会長
			氏　名	岡崎宏行
長くコンサルタントとして多くの企業のレジリエンスとイノベーションに従事してきた視点から、企業・産業のレジリエンスとイノベーションについて講義する。				
11	12月12日	企業・産業のレジリエンスとイノベーション　ーBS・タイヤメーカの場合	所属・役職	元(株)ブリヂストン 技術部長
			氏　名	牛窪寿夫
BS　(株)ブリヂストンを例に、創業以降の転機・大きな変革、そして、今後の変化の方向性について講義する。				
12	12月19日	ビジネスイノベーションを阻む組織の壁と対応例	所属・役職	OFFICE SAKUMA代表
			氏　名	佐久間輝雄
長く自動車メーカー（日産）・同部品メーカーに勤務してきた講師が、自動車産業におけるビジネスイノベーションを阻む組織の壁と対応例について講義する。				
13	1月9日	コンサルタントから見た企業・産業のレジリエンスとイノベーション(2)	所属・役職	（株）マロネイト 代表取締役会長
			氏　名	岡崎宏行
長くコンサルタントとして多くの企業のレジリエンスとイノベーションに従事してきた視点から、企業・産業のレジリエンスとイノベーションについて講義する。				
14	1月16日	企業・産業のレジリエンスとイノベーション　ー和製ハッカの場合	所属・役職	北見ハッカ通商（株）代表取締役/ 経営学部専任教授
			氏　名	永田裕一/藤江昌嗣
1900年以国産・事業化に成功した北海道北見の和製ハッカ、ホクレンと北見ハッカ通商（株）の経験をベースに企業・産業のレジリエンスとイノベーションについて講義する。 また、課題についてのレポートについて説明も行う。				

3　履修上の注意

特になし。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

本講義はオムニバス方式で行う。各回の講師のテーマに関連する文献や資料について、事前に調べ、独習しておくこと。

5　教科書

岡崎宏行・佐久間輝雄・藤江『企業経営と人生設計のワークブック -経営はアート、管理はサイエンスー』芙蓉書房、2019年

6　参考書

特に指定しないが、講師のテーマに関連した文献や資料

7　課題に対するフィードバックの方法

メール(gmail)を用いて、フィードバックを行う予定である。アドレスは、開講時に伝える。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと

レポート（60%）、「平常点」（40%）

9　その他

特になし。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
広告と言葉の役割 ～変わりゆく社会でのコミュニケーションを考える～			経営学部・戸村佳代	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
駿河台	2	秋学期	金	2

1　授業の概要・到達目標

生成AIによるDX推進は、ビジネスの現場のみならず、人間の「考える」「計画する」「創造する」といった分野を侵食しつつある。これにより、社会システムはもちろん、人間個々の価値観やコミュニケーションのあり方にまで大きな影響を与えつつある。発信された情報が、個人のものなのか、生成されたものなのか。それらの情報をどう判断すべきか。また「個のクリエイティビティ」を発揮するにはどんな方法があるのか。こうした問題について、個人から国家まで、「情報」の「伝え方」「伝わり方」を問われる時代である。

その中で、広告会社も大きく変貌し「情報商社」と呼ばれることもあるほどに様々な領域へ活動の場を広げている。消費者がコンビニで商品を選択する買い物心理の分析から、国民にメッセージを届けようとする行政府の広報活動に至るまで、広告のコミュニケーション手法が情報発信の現場に活かされている。

本講義では、広告マンのみならず、広告主、コンサルティング企業、ネット系エイジェンシー、出版などの第一線で活躍するプロフェッショナルたちが、それぞれの視点から、コミュニケーション活動や言葉がどのような意味を持ち役割をはたしているかを提示する。

最も激しく変化する社会においては、各講師が現場で抱える課題、価値観、未来予測等が一致することはない。それだけ混沌とした状況であることを味わいつつ、各講師が情報社会の中で、自らの言葉によっていかに情報をつなぎ、加工し、生み出しているかを学んでほしい。最終的には、各講師の講義を参考に、ユニークで説得力のある思考力と文章力を向上させ、「個」を活かしたプレゼンテーションが実践できることをめざす。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	9月20日	イントロダクション	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	戸村 佳代
講座の概要についての説明、 成績評価方法等の説明				
2	9月27日	変わる言葉とタフコミュニケーション	所属・役職	（株）SmileWords 代表取締役 スピーチライター 大阪芸術大学 客員教授
			氏　名	蓁田吉昭
誰もがメディアを持ち、手軽に情報を発信できる時代。スタンプ、写真、動画と表現手段も増えた。しかし一方で、従来の文章構成、文体、語彙では思いが伝わらないケースを増えている。個人も企業も行政も効果的に伝わる言葉、タフコミュニケーションを模索している。この講義では、言葉が通じにくくなった社会の現状を分析した上で、「発信力」「受信力」「対話力」をつける技術を学ぶ。また学生に多くみられる「口下手」や「話べた」を解消する方法も伝授したい。				
3	10月4日	コピーという「言語化」	所属・役職	（株）博報堂第三クリエイティブ局　エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/コピーライター
			氏　名	佐々木貴子
コミュニケーション戦略をたてる・コピーを書く・映像をつくるなど、クリエイティブに構想しアウトプットする際に何がその源泉・根幹になるのか、実例を見ながら一緒に探ります。クリエイティブな仕事は特殊な人だけのものではありません。どんな仕事にも必要な能力であり本来誰にでもできることなのです。カギは「自分の視点」。これがあるかないか、これがユニークであるかどうかにかかっているのです。「視点」を言語化するには何が必要かを考え、体験しましょう。				
4	10月11日	発想体質の作り方	所属・役職	（株）博報堂 博報堂生活総合研究所　上席研究員
			氏　名	夏山 明美
博報堂の広告ビジネスにおける発想の原点である「生活者発想」。本講義では、生活者発想のフラッグシップ機関である生活総合研究所が約40年間の歴史を通じて実践してきた発想のノウハウを伝授。日常に溢れる発想素材の観察と自問から、次の時代の仮説を立てる、見えない人の欲求や価値観を浮き彫りにする4つの手口（言葉から発想する、場景から発想する、事実から発想する、数字から発想する）を実際の調査研究の事例や演習を通して学ぶ。				
5	10月18日	三太郎CMとその裏側 ～ブランド向上と効果最大化を目指して～	所属・役職	KDDI（株） ブランド・コミュニケーション本部　本部長
			氏　名	馬場 剛史
通信業界は、ブランドが乱立し、格安スマホも含め同質化。激しい競争環境の中で、「選ばれるブランド」になるにはどうしたらいいか？そんな状況から生まれた「三太郎」。 ８年連続CM好感度No.1の裏側で、コスト削減・若者のテレビ離れ、デジタルシフトなど様々な環境変化の中、「費用最小・効果最大」でコミュニケーションを通じて、選ばれるブランド目指した取り組みを紹介する。				
6	10月25日	広報の言葉	所属・役職	（株）博報堂　顧問
			氏　名	立谷 光太郎

<table>
<tr><th>回</th><th>日　程</th><th>テーマ</th><th colspan="2">担当者</th></tr>
<tr><td colspan="5">広告やいわゆるピーアール（ＰＲ）といわれている宣伝ＰＲと広報は違います。その違いについて、言葉に対する考え方や視点、言葉だけではない世論との関係から説明してみます。そして、広報の視点から報道という広報的な情報発信者をどのように見ているのか、その報道という情報発信回路に対して広報パーソンはどのように対応するのかについて、具体的な例を提示しながら説明します。この講義を通じて、広告と広報の違い、報道や世論に対する分析的な視点を知ってもらいたいと思います。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">11月8日</td><td rowspan="2">組織を動かす！
企業の意思決定を促すためのコミュニケーションとは</td><td>所属･役職</td><td>三菱商事（株）　素材ソリューション本部 産業素材DX部　次長</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>佐々木 惇</td></tr>
<tr><td colspan="5">ビジネスはコミュニケーションの連続です。組織やその中にいる人を動かし、望むアウトプットを得るために必要な要素は何なのか、そしてそれをどうやって相手に伝えれば良いか、講師がこれまで大企業、戦略コンサル、スタートアップ企業等、性格の異なる組織の中で経験してきた実例を交えて講義します。学生の皆様が社会人（または学生生活でも）になって直面するであろう場面をイメージしながら、明日から使える考え方・フレームワークをお伝えします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">11月15日</td><td rowspan="2">アイデアを決めるワン・ワード</td><td>所属･役職</td><td>(株)博報堂 MDX unit
エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>近山 知史</td></tr>
<tr><td colspan="5">言葉が持つ力の中でも、「ひとことで定義する力」について学びます。
グローバル規模の事例を中心に扱いますが、英語に自信がなくても問題ありません。
たとえばNikeが掲げるのはたったの３単語「Just do it」。
なぜあんな巨大な組織がこんなに短く自分たちの価値を定義できるのでしょうか。
世界中の最先端クリエイティブ事例をたっぷり浴びながら、
あなたの「言葉」を「武器」に変える。そんな100分を目指します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td rowspan="2">11月22日</td><td rowspan="2">ファシリテーションと言葉</td><td>所属･役職</td><td>（株）博報堂
博報堂ブランド・イノベーションデザイン局　ディレクター</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>岡田 庄生</td></tr>
<tr><td colspan="5">広告会社の最大の武器である「アイデア」は、チームでの議論から生まれる。議論を円滑に進めるには、ファシリテーションと呼ばれるスキルが必要だ。この講義では、チームのコミュニケーションを活性化する方法について学ぶ。特に、ファシリテーションにおいて重要なスキルである「質問」について取り上げ、参加者のやる気と知識を引き出す言葉について考える。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td rowspan="2">11月29日</td><td rowspan="2">インターネットサービスの
ハイブリッド型「コミュニケーション」設計論</td><td>所属･役職</td><td>（株）Gaudiy
プロダクトマネージャー、
ＵＸリサーチャー</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>宮田 大督</td></tr>
<tr><td colspan="5">インターネットサービス業界は、広告業界のように言語的な「クリエイティブ」の設計と、家電業界のように非言語的な「機能」の設計、その双方が重要な、ある意味ハイブリッドな分野であり、その結果、従来の産業にはなかったような、新しい、お客様との「コミュニケーション」手法が生まれてきている場所です。今回は、実際の現場での事例を紹介しながら、その背後にある思考法である「デザイン思考」「リーン思考」についてご紹介させていただきます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td rowspan="2">12月6日</td><td rowspan="2">グローバル社会での言葉</td><td>所属･役職</td><td>（株）CCCメディアハウス
コンテンツスタジオ
プロデューサー</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>浅賀 佐和子</td></tr>
<tr><td colspan="5">いまや誰もが世界に言葉を発信できる時代。だが真意を伝え、メディアの向こう側にいる人々に“アクション”を起こさせるような発信ができるようになるには、言葉以前に重要なものがある。ファッション誌、カルチャー誌を経て、政府系機関の国際広報を担当する講師が、20年を超える編集者としての経験から学んだ、さまざまな「グローバル社会で伝えるコツ」をレクチャー。複雑にも、シンプルにもなりうる、コミュニケーションの本質に触れる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td rowspan="2">12月13日</td><td rowspan="2">パワースピーチライティング・課題の書き方</td><td>所属･役職</td><td>（株）SmileWords 代表取締役
スピーチライター
大阪芸術大学 客員教授</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>蟇田吉昭</td></tr>
<tr><td colspan="5">ここまで学んだ講義内容を振り返る。ポイントを整理して上で、課題レポートとして提出する「プレゼン用スピーチ原稿」の書き方を指導する。従来の書き言葉のレポートとは異なり、自らがプレゼンターとして聴衆に語りかけるシナリオを作る。「キーメッセージの作り方」「相手を巻き込む文章の組み立て方」など通して、「話す力」を強くする。また、プレゼンテーションに必要な準備、心の整え方、相手を釘づけにする心理テクニック、質問の答え方なども身につけられる実践的な講義としたい。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td rowspan="2">12月20日</td><td rowspan="2">国の言葉と広告会社</td><td>所属･役職</td><td>（株）博報堂　顧問</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>立谷 光太郎</td></tr>
<tr><td colspan="5">国内外で政策を円滑に推進するために、国は様々なレイヤーを通じてコミュニケーション活動を展開します。何気なく見ている政治関連の報道、政策や制度を、私たちは国民として見たり、感じたり、利用したり、反発したりします。ここでは、この国とひとくくりにしていますが、実際に情報を発信する国側の主体者と国民の間にあるコミュニケーションレイヤーを事例を通じて説明し、そのレイヤーにおける広告会社あるいは社員の活動や役割について紹介します。</td></tr>
</table>

回	日　程	テーマ	担当者	
14	1月10日	総括・課題回収	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	戸村 佳代

最終課題レポートの確認、他

3　履修上の注意

(1) 遅刻は厳禁。私語・スマホを慎むこと。
(2) 授業毎に提出するミニレポート（リアクションペーパー）は平常点として採点の対象となる。
(3) 毎回出席を確認する。欠席数が５回以上の場合は、単位取得が極めて困難となる。
　やむを得ない理由で欠席の場合、所定の「欠席等理由届」に証明書類等を添付して提出すること。
　(原則として、欠席から２週間以内に提出)
(4) 春学期の履修登録期間に履修登録を行う。
　履修登録希望者多数のために抽選を行った場合には、秋学期での履修登録削除も新規登録も認められない。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各授業のミニレポートとして、クラスウェブ「アンケート」機能を使ってリアクションペーパーを提出する。
（授業翌日20時〆切）
リアクションペーパーに対して各講師がOh-o!Meijiに講評をアップロードするので、各自でその内容を確認すること。

5　教科書

特に指定しない。
　(授業毎に担当講師が資料を配付する)

6　参考書

ひきた よしあき (2019) 『５日間で言葉が「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本』大和出版、1650円

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o!Meijiのクラスウェブ「アンケート」機能を使って提出したミニレポート（リアクションペーパー）に対して、全体の講評を行う。特に必要な場合には個別のフィードバックも行う。
リアクションペーパーで寄せられた質問には各授業の講師が個別にフィードバックする。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

平常点（授業毎のミニレポート）：４０％
　※各授業の最後にミニレポートとしてリアクションペーパーを提出する
　※欠席理由届の提出がない場合、その回の授業の平常点は０点になるので注意すること
最終課題レポート　　：６０％

9　その他

ミニレポート（平常点の採点対象）として「リアクションペーパー」の提出を授業毎に義務付ける。
リアクションペーパー未提出（欠席理由届提出の日を除く）が５回以上の場合には単位を与えないので注意すること。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
中国の民営企業に生きる「日本的生産方式」 ～原田式マネジメントの形成と伝承～〔メディア授業〕			経営学部　カク　燕書	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
その他	2	春学期	水	5

1　授業の概要・到達目標

本講座は、中国の民営企業の生産現場に焦点を当て、中国の民営企業の経営者・管理者により講師陣を担当し、自社に生きている日本的生産方式の実態を語り、中国民営企業の成長と日本的生産方式の移転の関係性を明らかにすることを目的とする。

改革開放後、中国の民営企業は生成し、中国経済を成長させる重要な担い手となった。しかし、中国の民営企業、特に民営製造企業では、人材不足に悩まされている。そして、管理能力が低く、製品品質が劣悪等で、民営企業の成長を制約されている。中国民営企業のレベルアップするために、学ぶべき企業の経営管理モデルが必要としている。

一方、改革開放後、多くの外資系企業は中国に進出し、その中で、特に日系企業は高効率、高品質が実現する企業が多くその人材育成システムは、注目され民営企業の学ぶ対象なった。日本企業の中国での現地生産により、日本的経営・生産システムは中国へ移転し、中国の現地方式と融合することにより、日中ハイブリッド経営方式、生産システムが形成された。

本講座を聴講することにより、改革開放後の日中企業の関係史を把握し、日中企業の経営方式の異同点を理解し、日中産業界へのリーダーに成長するための諸君のキャリアデザインを考える上で大いに役に立てると確信している。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月10日	イントロダクション 「出稼ぎ労働者から社長へ」	所属・役職	コーディネーター/ 江蘇居友智能家居用品有限会社・総経理
			氏　名	カク燕書／羅　国兵
講座の概要、成績評価方法等の説明。　当初の農民労働者が深センで、原田経営哲学の教育を受け、会社の総経理に昇進する成長の過程を経験した。原田経営哲学の「人心管理」が企業文化の基礎であることをますます実感するようになった。講義には異なる企業の改革経験が示され、原田式の経営哲学をどのように継承し、適用するかが語られている。これにより、より多くの民間企業に参考になり、また学校を卒業したばかりの学生たちには、正しい人生と正しい行動を指導する手助けになることを期待している。				
2	4月17日	「管理の結果は信頼関係の構築」	所属・役職	高斯智能科技有限会社・総経理
			氏　名	郭　永福
″三現″から始め、問題を正直に分析し、解決すること。次に、努力すれば解決策はいつも問題よりも多いので、簡単に諦めないこと。最後に、信頼の構築が管理の結果であり、どこで働いているか、どの職業に従事しているかに関係なく、信頼できるパートナーになることが成功の基盤である。これを実現するために、積極的に業務に参加し、業務を熟知し、重要な業務プロセスやキーパーソンを把握すること、チームワークが成功の鍵要素であり、貢献できる力を結集すること、そして結果に責任を持ち、目標を達成するために全力を尽くすことが重要である。				
3	4月24日	「原田経営哲学は私の自社ブランドづくりにどのように役立ったか」	所属・役職	深セン市海納澤華財務サービス有限会社・総経理
			氏　名	胡　夢霞
原田経営管理時代の経験を共有し、基層から管理者に昇進した7回の異なる職務ローテーションの経験に焦点を当て、得られた成果をまとめて『原田経営哲学屋』を形成した。その後、起業の道に進み、その道のりが困難であることを振り返りながら、原田総経理の教えや会社経営、三不原則などの原田哲学に基づいて企業を運営し、中国の民間企業主や財税専門家に原田経営哲学を共有した。今後、原田経営哲学の実践と共有を続け、2024年から「財青藤」商学院を設立し、経営と財税の実務派の人材を育成する重点的な取り組みを始めることを計画している。				
4	5月8日	「人的資源管理における原田思想の活用と成果共有」	所属・役職	有点文化発展有限会社・パートナー
			氏　名	陳　静 / 闫　苗苗
Solid社の採用基準は「誠実で、向上心があり、他人に迷惑をかけない人」である。Solid社の企業文化は「公正かつ公平な企業文化」である。様々な教育トレーニング制度や内部昇進制度があり、明るく希望に満ちた労働環境が整っていた。そして何よりも、原田総経理の人間的な魅力と彼の「大愛の精神」は、従業員を子供のように教育し、幸せな労働環境を構築するために生涯をかけてきた。原田総経理の大愛と無償の奉仕の精神により、工場は活気に満ちており、機械工場ではなく、Solid社は夢のような工場であった。当時からこの不思議な種子が私の心に埋められ、今でも仕事や生活で大きな助けとなっている。				
5	5月15日	「人心至上――原田経営管理方法概論」	所属・役職	深セン市禾望電気株式会社・財務部長
			氏　名	陳　文锋
この講義は、原田則夫の企業経営哲学における人心の管理方法に焦点を当てている。自己信頼の構築、挑戦精神の醸成、工匠精神の培養、環境が人を変える、行動が人を変える、三公文化、持続的改善、感情管理、精緻な管理、従業員の成長への関心など、10の側面から原田の実務経験を交えて人心の管理理論と方法を解説する。同時に、ケーススタディ形式で、「人心管理」を如何に中国の企業で応用されているのか、どのような効果を取得したかについて説明する。				
6	5月22日	「人心管理」	所属・役職	深セン美爾佳個別指導センター・パートナー
			氏　名	袁　利桃
新卒で深センに移住し、最初の職場である企業では、原田総経理の経営哲学に触れ、教育と指導を受けました。内部採用制度を経て、普通の労働者から中間管理職、その後、高層管理職へと昇進した。その後、二度の独立起業を経て、企業経営と人間関係の中で人心の管理がいかに重要かを深く感じた。				

回	日　程	テーマ	担当者	
7	5月29日	「製造業における情報技術の活用」	所属・役職	宏海睿捷(武汉)ソフトウェア有限公司・総経理
			氏　名	潘　海平
企業目標に関する説明と、それらの目標を達成するための手段が含まれる。管理の目標は企業目標に奉仕することであり、管理プロセスにおいて、すべての要素がコントロール可能であることを確認する必要がある。また、管理と企業目標の達成に対する情報技術の有効性について、主にソフトウェアがどのように有効性を発揮するか、ソフトウェアが企業にとってどのような問題を解決しているかがポイントである。ソフトウェアが実現する中核は、データのプロセス化された管理を実現することであり、これにより企業の効率とプロセスのコントロール性（プロセスの防錯）が向上できる。				
8	6月5日	「出会いに感謝」	所属・役職	夷陵区小溪塔护颜坊美容室・パートナー
			氏　名	陈　鄂萍
SOLID社は、原田式経営哲学を実践し、62の規範を持っている。会社は公正かつ公平な人事原則を重視しており、誠実で上進心があり、他人に迷惑をかけないことを重視している。これにより、従業員は自己管理意識と良好な行動習慣を身につけ、従業員の帰属感を高めることができる。				
9	6月12日	「創業の道」	所属・役職	深セン久硕科技有限公司・総経理
			氏　名	朱　照久
創業の経験と心得について、プロジェクトの選択、十分な準備、誠実な人間関係、学びの重要性、忍耐と継続、品質重視という６つの方面から説明する。特に、原田総経理の思想に基づき、常に誠実な姿勢を貫き、ポジティブな人間関係を築くことが他者の助けを得る重要な要素となる。				
10	6月19日	「企業文化が私に与えた影響」	所属・役職	深セン市海納澤華財務サービス有限会社・副総経理
			氏　名	唐　闪亮
基層の従業員から成長してきた社会人であり、Solid社で原田社長の企業文化の影響を受け、会社の管理制度（内部登用制度、ローテーション制度、昇進制度）を通じて徐々に成長してきた。この間、企業文化の役割は人材の育成と成長を主導していることを認識した。企業文化は私たちに利益をもたらし、絶えず学ぶことを促す。そして、私たちの人格と品性を育んでいる。				
11	6月26日	「神は細部に宿る」	所属・役職	深セン市海納澤華財務サービス有限会社・副総経理
			氏　名	谢　蔚
Solid社の平社員、初級マネージャー、民間企業での中堅マネージャーと財務責任者、財務コンサルティング会社の起業という4つの段階を経験し、原田経営哲学がさまざまな方面で私の成長を助けた。思考の変化、企業改善の重要性、経営予算管理の実践的な利用、PJ文化の効果的な運用などの活用事例について紹介する。				
12	7月3日	「原田社長のリーダーシップと個人魅力」	所属・役職	深セン市本川科技有限公司・総経理
			氏　名	易　先
原田総経理の秘書として働いていたことから、原田総経理のリーダーシップに非常に尊敬の念を抱いている。彼は遠くを見据え、勤勉で自己規律があり、人を知り適切に任用し、公正で公平な管理スタイルを持っている。原田総経理と共同作業してい他時間がわずかだったが、彼は常に私の人生の中で導きの明かりで、喜びや失意のときには、彼の昔日の笑顔と教えを思い出すことができ、感謝の心を抱いている。				
13	7月10日	「原田社長から何を学ぶか」	所属・役職	深セン市　HMY 業主委员会・副主任
			氏　名	黄　宇
原田総経理と働く経験が最も豊富な部下として、Solid社および前の2社での経験について語る。原田式マネジメントおよび改革手法について、ゼロからのスタート、斬新なアプローチ、細部にわたる計画性とデプロイメントに焦点を当てる。「計画を練り、組織を最優先に」、一年以上かかって人員を半減させ、生産効率を4倍に向上させ、生産コストを絶えず低減させ、会社の優れた改革を達成し、多くの企業が訪れて学ぶことを魅了した。				
14	7月17日	総括「優れたリーダーシップ・従業員・企業～原田式マネジメントの伝承の意義～」	所属・役職	コーディネーター/ 文泰商学院 院长・院長
			氏　名	カク燕書/範大鵬
原田総経理の経営哲学は、彼がトップとしての影響と実践だけでなく、統一の価値観及び実行力がある管理者チームを形成したことにある。優れた従業員を育成し、結果として企業の業績と従業員の成長の両方を達成した。個人でも企業でも、学びを通じて成長するには、認知の向上、能力の向上、実践の具体化といった学習曲線に従う必要がある。この曲線は、こちらから向こう岸への道を示しており、特に管理職にとって強力な指針となる。				

3　履修上の注意

発言により企業人と積極的な対話を求め、双方向で授業を進め活発の議論により問題の理解を深める。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

指定した教科書を読み，中国の企業に関する人的資源の基礎知識を身に着け、企業人の話を聞くことにより、経営管理現場の人材マネジメンの実際を把握する。

5　教科書

李捷生等『日系企業の人事・労務管理―人材マネジメントの事例を中心に』白桃書房

回	日　程	テーマ	担当者

6　参考書

授業の時、適宜に指定する。

7　課題に対するフィードバックの方法

Oh-o!Meijiより、本人へフィードバックする。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

出席等の平常点30%、小レポート30%、最終レポート40%

9　その他

講師全員が中国語で講義を行う。通訳付きであるが、ZOOMの翻訳機能の活用も試みる。

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
ダイバーシティ＆インクルージョンと日本社会			国際日本学部　山脇啓造	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
中野	2	春学期	火	3

1　授業の概要・到達目標

この講座では、ダイバーシティ＆インクルージョン経営を担当する企業関係者やダイバーシティ＆インクルージョンの取り組みを進める自治体の担当者等を講師に迎え、具体的な実践例を伺い、取り組みの現状と課題について多様な観点から論じる。そのうえで、現代社会において、ダイバーシティとインクルージョンを進める意義や背景への理解を深めることを目的とする。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月16日	イントロダクション	所属・役職	コーディネーター
			氏　名	山脇　啓造
講座のテーマやその背景、到達目標を示し、各回の担当講師の略歴と講義概要を紹介する。また、成績評価方法の説明を行う。				
2	4月23日	成長戦略としてのダイバーシティ経営の推進	所属・役職	経済産業省経済社会政策室長
			氏　名	相馬知子
経済産業省は、2012年度から2020年度までダイバーシティ経営によって企業価値向上を果たした企業を表彰する「ダイバーシティ経営企業100選」事業を実施した。その後もダイバーシティ経営実践のための各種支援ツールをつくり、企業のダイバーシティ経営を支援している。その趣旨やこれまでの成果を示し、国による成長戦略としてのダイバーシティ推進の意義を論じる。				
3	4月30日	日本企業が直面するDEI課題と推進の意義	所属・役職	DEI総研 代表
			氏　名	伊藤義博
日本企業においてDEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）への取り組みが喫緊の課題といわれながら中々進展が見られない現状に鑑み、その問題点を領域別（障害、ジェンダー、多文化、年代）に検討する。後半では受講者参加のワークショップ形式で各領域における推進のメリットと障壁について議論し、企業活動におけるDEI推進の課題に対し問いを立て、解決の方法を模索する。				
4	5月7日	丸井グループのダイバーシティ＆インクルージョン	所属・役職	丸井グループ人事企画・多様性推進課長
			氏　名	後藤久美子
丸井グループは、「すべてのひとがしあわせを感じられるインクルーシブで豊かな社会を共に創る」のミッションのもと、「D&I」推進に取り組んでいる。「お客様」と「社員」のダイバーシティを両輪で推進しており、その取り組みと成果そして課題を論じる。				
5	5月14日	ANAグループ　ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンの取組み	所属・役職	全日本空輸DEI推進部
			氏　名	小川絵里子
人財こそが最大の資産であり、グローバル競争を勝ち抜く差別化の源泉と考え、グループ社員一人ひとりの可能性や個性の最大発揮を目指した多様な人財育成を進めているANAグループ。同グループが進めている ″Diversity, Equity, Inclusion″ の取り組みと成果そして課題について論じる。				
6	5月21日	楽天主義とダイバーシティ	所属・役職	楽天グループ執行役員
			氏　名	黒田真二
楽天は、1997年の創業からイノベーションの力を信じ大切にしており、「グローバル イノベーション カンパニー」になることをビジョンに掲げている。このイノベーションの触媒がダイバーシティである。楽天におけるダイバーシティ推進の意義とこれまで直面してきた課題や成果、そしてこれからの展望について論じる。				
7	5月28日	小さくてもキラリー中小企業だからこそできるヒト・ファーストのダイバーシティ	所属・役職	吉村　代表取締役
			氏　名	橋本久美子
ダイバーシテイは目的ではなく結果である。今、貢献してくれている社員が働き続けるために、一緒に知恵を絞りつつ新しい制度や働き方を作ってきた。社員数227名。一人ひとりの名前を経営者が言えて書ける距離感だからこその、泥臭い挑戦と失敗と成果を報告する。20年間出産退職ゼロ。全盲社員の活躍。高齢者は定年後は再雇用のための派遣会社を設立。				
8	6月4日	中小企業とダイバーシティ戦略	所属・役職	SALEFULL　代表取締役
			氏　名	鈴木隆史
中小企業がダイバーシティ経営を進めるのはなぜか？八王子市にあった栄鋳造所で、海外市場を取り込む為、戦略的に外国人を採用し、ターゲット市場である米国、欧州、アジアの大学からインターンを受け入れ、彼らが母国で活躍できる拠点設立を進め、「ダイバーシティ戦略を通じたイノベーション」をめざした講師が、その明と暗を率直に語る。				

回	日　程	テーマ	担当者	
9	6月11日	ダイバーシティとインクルーシブ・マーケティング	所属･役職	電通ダイバーシティ・ラボ代表
			氏　名	林孝裕
電通グループは2011年に、あらゆる場所に存在する「多様性」の課題と向き合い、企業や社会の取り組みを支援するため、「電通ダイバーシティ・ラボ」を設立した。2017年にリリースしたインクルーシブ・マーケティングという新たなマーケティング概念について紹介するとともに、様々な企業や団体、個人と協働しながらどのようなアクションを起こしていこうとしているのかを論じる。				
10	6月18日	インクルーシブ・コミュニケーションーやさしい日本語とやさしい英語	所属･役職	メルカリ Language Education Team マネージャー
			氏　名	親松雅代
社内のコミュニケーション手段として、「やさしい日本語」そして「やさしい英語」を活用している企業として注目を集めるメルカリ社の実践を通じて、インクルーシブなコミュニケーションのあり方について考える。講師は、日本語プログラムとスピーキングテストを開発するとともに、「やさしいコミュニケーション」の社内トレーニングを開発、主導している。				
11	6月25日	日本の課題を未来の機会へ	所属･役職	くりやホールディングス 代表取締役
			氏　名	栗岡大介
2050年に想いを巡らせてみよう。人口減、高齢・過疎化が課題として日々取り上げられる中、この課題こそ「ダイバーシティ＆インクルージョン」思考で日本の発展の機会にできるだろう。投資家として日本全国の様々な企業と対話してきた講師がその経験を活かし、企業のダイバーシティ経営の在り方を論じる。				
12	7月2日	「ちがいをちからに変える街。渋谷区」が実践するLGBTQのソーシャル・インクルージョン	所属･役職	株式会社ダリア　取締役
			氏　名	永田龍太郎
2016年に策定した基本構想で「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を掲げ、成熟した国際都市へと進化すべく、ダイバーシティ＆インクルージョンを根幹に据えた区政を推進している渋谷区。ルイ・ヴィトンジャパン、ギャップジャパンでの経験を活かし、2016年から2021年まで渋谷区男女平等・ダイバーシティ推進担当課長を務め、再び企業人となった講師が、渋谷区での5年間を振り返るとともに、これからの日本社会における実践の課題を論じる。				
13	7月9日	三重県のダイバーシティ社会推進の取組	所属･役職	三重県ダイバーシティ社会推進課長
			氏　名	太田和恵
三重県では、2017年に「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く（きらり）、多様な社会へ～」を策定し、ダイバーシティ社会の推進に取り組んできた。2021年3月には、「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」も策定した。三重県におけるダイバーシティ社会推進のこれまでと現状そして今後の課題について論じる。				
14	7月16日	総括	所属･役職	コーディネーター
			氏　名	山脇　啓造
前回までの講義を振り返り、ダイバーシティ＆インクルージョンの取り組みの現状と課題、そしてそうした取り組みが日本社会にとってどのような意義があるのか、総括を行う。				

3　履修上の注意

毎回の授業で、グループ討論を行ったり、講師との質疑の時間をたくさんとるので、積極的に発言すること。

4　準備学習（予習・復習等）の内容

各回の授業の前に指定された文献等に目を通すこと。

5　教科書

特になし。

6　参考書

尾﨑俊哉『ダイバーシティー・マネジメント入門―経営戦略としての多様性』（ナカニシヤ出版、２０１７）、荒金雅子『ダイバーシティ&インクルージョン経営: これからの経営戦略と働き方』（日本規格協会、２０２０）、岩淵功一『多様性との対話』（青弓社、２０２１）、電通ダイバーシティ・ラボ『みんなで知りたいダイバーシティ 第1巻 ダイバーシティを知ろう』（文研出版、２０２３）

7　課題に対するフィードバックの方法

毎回の授業の最後に講義に関するコメント(400字以内)を提出してもらいます。それらのコメントの中で重要なものを選び、次回の授業の冒頭に取り上げます。

8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は，それらの割合を明示のこと

各回の授業での発言40%、授業後のコメント30%、小テスト30%

9　その他

２０２４年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講　座　名			コーディネーター 学部・氏名	
データサイエンスＡＩ概論［メディア授業科目］			総合数理学部・中村和幸	
開講キャンパス	単　位	開講期	曜　日	時　限
なし（オンデマンド配信）	2	春学期	－	－

1　授業の概要・到達目標

（概要）現代は複雑なデータが高度に大量に流通する時代を迎えている。そのなかで、日常生活のなかの様々な分野でデータサイエンスや人工知能がカギを握ると言われている。本講座では、これらデータサイエンスや人工知能についてリテラシーレベルで最新知見を得ることを目標とする。また、そのうえで重要となる、個人情報などのデータ倫理の問題や、人工知能に関する法整備、情報セキュリティなどの諸問題についての基本的な知識を得ることを目標とする。
（内容）関係する分野について、大学の専門家、企業の実務家に講演を依頼し、オムニバス形式の講座とする。実務家教員については、その実務経験を十分に活かしつつ実践的な内容を講義する。内容は「データサイエンス・人工知能についての法務」「経済統計」「政府の公式統計」「電子政府・電子行政」「会計と人工知能」「化学とデータサイエンス」「SNSと人工知能」「ネットゲームと人工知能」「芸術・メディア表現と人工知能」「アドボケイトというキャリアパス」「セキュリティ研究」などを扱う。

2　授業内容（日程・テーマ・担当者）

回	日　程	テーマ	担当者	
1	4月15日	ガイダンス、 人工知能の基礎知識	所属・役職	明治大学総合数理学部・教授
			氏　名	阿原　一志、中村和幸（ガイダンス

コンピュータによる情報技術が発達して、近年「人工知能」というキーワードで呼ばれることが多くなりました。初回の講義では、現状の人工知能とはどのようなものか、どのように利用可能なものかを解説しながら、本講座を理解するための基礎知識を身につけます。

2	4月22日	データ社会の法制度の全体像	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	佐々木 秀智

データサイエンス・人工知能にとって、様々な機関・団体等が保有するデータの利活用がスムーズにできる必要があります。最近、データ利活用のあり方に関する法整備が進められています。そこでは、2016年に制定された官民データ活用推進基本法を出発点として、医療ビッグデータ法等の新法の制定、情報銀行事業の導入等が試みられています。この授業では、官民データ活用推進基本法に規定されている基本理念・基本施策等を概観したうえで、具体的事例を示しつつ、データ社会における法制度のあり方について考えてみたいと思います。

3	4月29日	データ社会とプライバシー・個人情報保護	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏　名	佐々木 秀智

データ利活用を推進すると、プライバシー・個人情報保護に関する懸念が多くの国民から指摘されます。プライバシー・個人情報保護なしのデータ社会への移行はきわめて危険です。ですが、これらを保護しすぎるとデータの利活用が進みません。そこでこれらの調整が必要となります。この授業では、わが国のプライバシー・個人情報保護の歴史を概観し、2015年個人情報保護法改正において明確にされた個人情報の「保護」と「利活用」の調整の必要性（同法第1条）を、実際のデータ利用の場面を想定しつつ、考えていきたいと思います。

4	5月13日	データリテラシーとしての経済統計入門（その１）	所属・役職	日本経済研究センター・首席研究員
			氏　名	小野寺 敬

この授業では鉱工業統計、GDP統計などの時系列データを題材に、景気分析などで必要とされる基本的な経済統計の見方やデータの取り扱い方法を2回にわたって講義します。これらは近年、急速に進み始めた機械学習やオルタナティブデータを使った経済分析でも生きる基礎知識となるはずです。1回目は原数値と季調値、期種、伸び率計算と期種変換の‘お作法’などを具体例を示しながら解説します。理解を深めるため、計算問題を演習として取り入れますので、電卓（スマホの電卓機能で十分）を手元に用意してください。

5	5月20日	データリテラシーとしての経済統計入門（その２）	所属・役職	日本経済研究センター・首席研究員
			氏　名	小野寺 敬

2回目は、寄与度の考え方と計算方法、GDP統計の実質・名目・デフレーターの関係、名目と実質の使い分け、比率で見ることの有用性などについて具体例を示しながら講義します。1回目と同様に計算問題を演習として取り入れますので、電卓（スマホの電卓機能で十分）を手元に用意してください。

6	5月27日	政府による公的統計とその活用について	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏　名	加藤 久和

政府による公的統計は「統計法」によってその作成や提供に関する事柄が定められています。講義では最初にこの統計法の概要を紹介し、政府統計の体系等について説明します。また、基幹統計とされる主要な公的統計、主として人口・就業・社会関連に関わる統計を概観します。次いで、公的統計の活用例として、人口統計の比較、労働・就業関連統計の役割分担、また国民生活に関わる基礎統計の内容などを具体的に示します。最後に、総務省統計局が公表している「SSDSE（教育用標準データセット）」とその活用方法について紹介します。

7	6月3日	電子政府・電子行政について	所属・役職	明治大学大学院ガバナンス研究科・教授
			氏　名	湯淺 墾道

従来のIT基本法に代えてデジタル社会形成基本法が制定され、行政のデジタル化が推進されようとしています。その概要について解説し、オープンデータや官民データなどのデータに関する政策、AIの行政における利用例などを紹介します。また、AI自体のガバナンスやセキュリティについてどのような課題があるかについても検討します。

8	6月10日	企業ビジネス・証券市場と人工知能	所属・役職	同志社大学商学部・教授
			氏　名	田口 聡志

新しいテクノロジーの進展が、証券市場やビジネスに大きな影響を与えています。たとえば証券市場における株式投資の中心をなすのは、いまや人間ではなく、アルゴリズムであるし、また、企業不正を監査する会計監査の領域においても、人工知能が導入されつつあります。さらに、COVID-19問題を背景として企業のDX(Digital Transformation)化が進んでいる中で、このような流れはますます加速しており、企業経営や証券市場のあり方が、今後大きく変わっていく可能性は高いです。そこで本講義では、これらの実務・研究の動向を整理するとともに、未来の経済社会のあり方を探るこ[illegible]

9	6月17日	化学分野におけるデータサイエンスの活用	所属・役職	明治大学理工学部・准教授
			氏　名	金子 弘昌

化学において、例えば医薬品となる分子を設計することを考えます。まず、これまでの多くの実験結果（この化学物質は薬になった、この化学物質は薬にならなかった、といったデータ）を使用して、薬となる化学物質がもつ共通の分子の構造的な特徴を理解する人工知能を、データから作ります。その人工知能を使い、未知の医薬品となる分子を設計します。今回は、化学の分野で活躍する人工知能の作り方や使い方、実際の使われ方について講義します。

10	6月24日	SNSデータを用いたデータサイエンスのビジネス応用	所属・役職	株式会社ホットリンク・R&D部部長
			氏　名	榊 剛史

SNSの普及に伴い、SNSを通じたマーケティング（SNSマーケティング）という事業領域が拡大しています。本講義では、SNSマーケティングの特性を解説しつつ、いくつかの具体例を紹介します。また計算社会科学やデータサイエンスなどのアプローチをSNSマーケティングをどのように活用していくか、について説明します。

11	7月1日	ゲームデザインとゲームAI	所属・役職	ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
			氏　名	築瀬 洋平

ゲームデザインとはゲームを設計することです。コンピューターゲームは情報処理技術によって作られた誰もが理解し楽しめるよう設計された遊びです。今日ではゲームを設計するために知能があるのあるかのようなふるまいをするエージェントや機械学習などの技術が欠かせなくなってきています。この回では講演者の作ってきたゲームを元にゲームデザインとゲームAIについてお話します。

12	7月8日	芸術・メディア表現、創造性と人工知能	所属・役職	アーティスト 株式会社Qosmo代表取締役
			氏　名	徳井 直生

テキストから絵やイラストを生成するAIモデルが大きな話題を呼ぶ一方で、「所詮は過去に人が作った作品の模倣でしかない」といった声も聞かれるようになりました。本当にAIはただの道具なのか。AIは創造性を持ちうるのか。そもそも、創造性とは何か――。
本講演では、この両面の視点から講演者自身のAIを用いた音楽・アートに関する取り組みを題材に、AIが人間の創造性に与える影響について考察します。また、AI研究が文化の発展やアーティストの表現活動にどう寄与できるのか、そのヒントを探ります。

13	7月15日	Responsible AI - 責任あるAI	所属・役職	日本マイクロソフト株式会社 シニア・クラウドソリューション アーキテクト
			氏　名	畠山 大有

ChatGPTに代表されるAI技術の進化は社会や企業でのAIの組み込みをより加速させています。スマートフォンで写真をとって送信するだけで済む処理などはその典型と言えます。便利な反面、その技術の限界ともいえる機械学習は中で何をやっているのかが分からず、製造物としての説明責任がつかない、という問題をはらんでいます。
この講座では、安心・安全にAIを使えるようにするための現在の課題や、課題への取り組みの最新の状況をお伝えします。

14	7月22日	IoT時代に向けた情報セキュリティ研究、 ガイダンス	所属・役職	三菱電機株式会社・主席技師長
			氏　名	河内 清人、中村和幸（ガイダンス）

家電や工場の機器がインターネットに接続するIoT(Internet of Things)が進化を続け、いずれはサイバー空間と現実の物理空間が高度に融合した超スマート社会が実現されると考えられています。本講義では、このようなIoT時代を見据えたサイバーセキュリティに対する研究動向について、当社の取り組みを中心に紹介します。また近年、次代の革新的コンピュータ技術として脚光を浴びている量子コンピュータに対抗する、新たな暗号技術の研究動向についても紹介します。

3　履修上の注意
オンラインで受講できる環境を確保すること。上記の日程に従って、月曜日21時にオンデマンド動画の公開を行う。また、原則的にオンデマンド動画の収録は同じ日（月曜日）の5時限（17時10分～18時50分）に行い、この模様を履修者は視聴することが可能である。アンケート機能を用いた質問・意見を募る。
4　準備学習（予習・復習等）の内容
シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみることを強く勧める
5　教科書
特に定めない
6　参考書
特に定めない
7　課題に対するフィードバックの方法
課題は各回の講師が指定する内容について400字程度でレポートを書くことである。これらのレポートについて、各回の講師にコメントを依頼し、そのコメントをOh-o! Meijiシステムで共有する。
8　成績評価の方法　※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと
各回の講義のあとにレポートの提出を求め、そのレポートの内容を評価する。（100パーセント）
9　その他